



# せんがわ21

特集●仙川共和国—21Cへのシナリオ

'95.夏

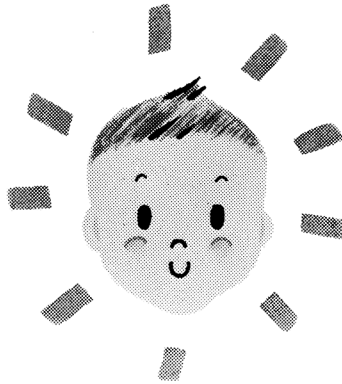
# WAKODO

あっかるい笑顔、はぐくみたい。

お母さんと赤ちゃんのあったかい関係を応援する。  
やさしさが基本のパートナー、和光堂。



おしほりウェットティシュー  
旅行に、ドライブに、ピクニックに。いつでもどこでも、簡単にスッキリ拭けるのがうれしい。



ベビーフード

赤ちゃんだって味にはうるさい。育ち盛りの赤ちゃんにうれしい離乳食、充実のラインナップ。



和光堂株式会社 東京工場 東京都調布市若葉町2-2 TEL (03) 3300-0111

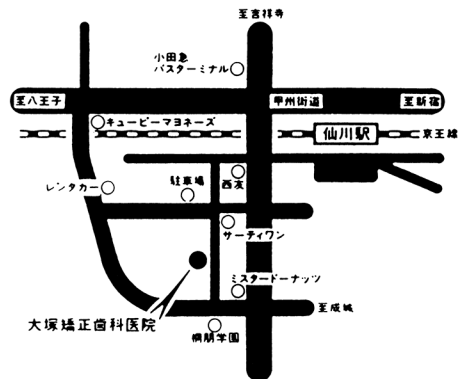
# 大塚矯正歯科医院

歯並びに関するお問い合わせ  
御予約はお電話にてお願いいたします

TEL 3308-0707



Ohtsuka  
Orthodontic  
Office



休診日 日曜・祭日・金曜日  
診療時間 10:00~13:00 15:00~18:30

健保組合推薦・生保指定機関・各病院御用達

# 東京博禮社

低価額で立派な御葬儀を!!

¥28万より個人葬・自宅葬・大型社葬迄

クレジットカード取扱

24時間受付・☎ 03 3331-7100 FAX 03 3331-0585



写真（2号飾り）

華燭から  
御不幸時まで

冠婚葬祭共済

資料請求は本社まで御連絡下さい

※一口メモ 各デパートの無料結婚式場相談センター御利用に成りますと結婚式場で5%UP成ります※

〈株式会社 東京企業グループ・チェーン〉

本社：〒182 東京都調布市仙川町1-1-1-D2 TEL 03(3300)9999 FAX 03(3300)9000 国際部：TEL 03(3300)5115 飲食部TEL 03(3200)1515

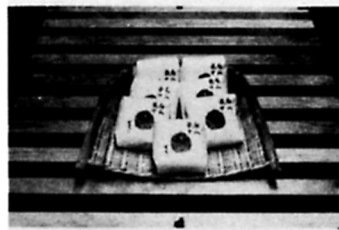
## 御祝用菓子・御仏事用菓子 ご注文承ります

仙川で生まれた

かぼ ちや

# 南瓜最中

(菘あん求肥入最中)



銘菓  
深大  
柚子

南瓜  
菓子



実業家印

仙川商店街中央・藤屋ビル1F

☎ 3300-0416

南瓜最中本舗

# 藤屋

真知夫人の  
安部公房・



ねりさんの桐朋小運動会にて

真知夫人・ねり・母ヨリミさん 一人娘・ねりさんと (69年1月)

64年4月



▲講談社写真提供

# 写真帳から

写真提供 真能ねり氏



PHOTO TAZUKO MORI



▲▼新潮社写真提供



“安部公房スタジオ”の結成  
仲代達也氏と73年1月



名誉人文科学博士授与 (75年5月)  
ドナルド・キーン氏と米・コロンビア大学にて

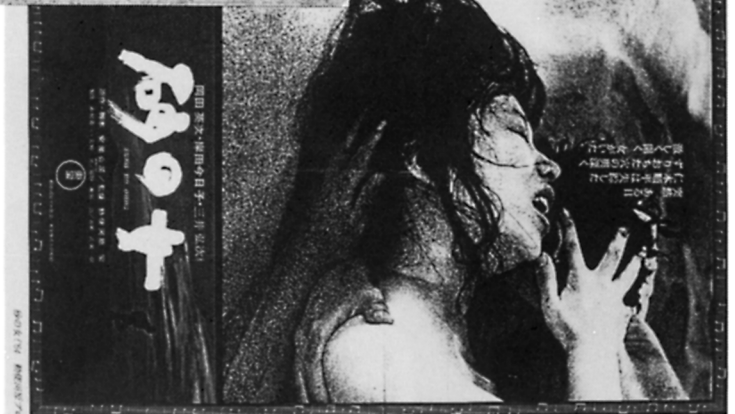
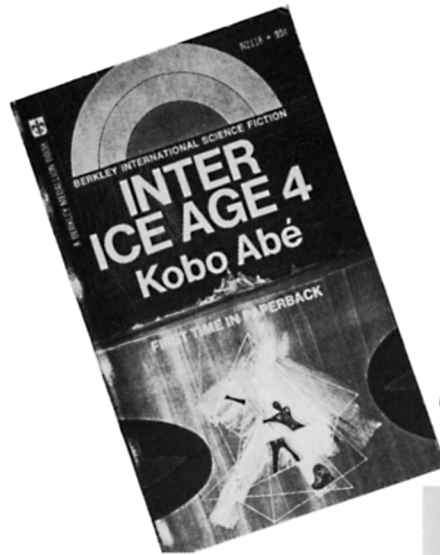
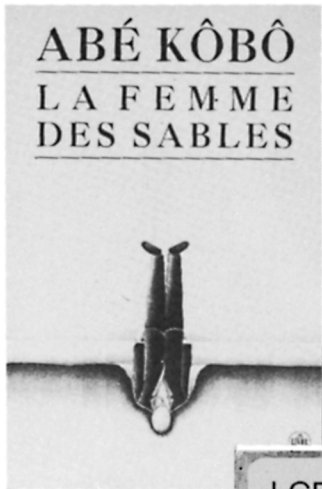


石川淳・真知夫人・千田是也



安部邸のいま

安部作品は世界で  
多くの読者を持っている!!



# 「仙川」寸想

作曲家・桐朋学園大学音楽学部長 飯沼 信義

私が「仙川」という地に初めてお伺したのは昭和三十七、八年頃のことです。当時、私は芸大の学生でした。その頃、芸大（主に作曲科）と桐朋（音楽科）で野球の交歓試合というものがあり、我軍は、かの小林研一郎氏など気鋭の投手陣を擁立して敵地仙川に遠征し、華々しく戦いを挑んだのでした。地の利を楯に、わんさとおしよせた桐朋の学生の盛大な応援のせいで我軍は無残な敗戦となり、憂さ

晴らしに商店街の某お寿司屋さんで深夜まで痛飲し、メタメタに酔って空元気を放逸し、散会した次第でした。その二、三年後に凶らずも桐朋学園に奉職の身となり、今日までの三十有余年、教師として雨の日も風の日も仙川に通うことになった次第です。

三十年間も、毎日同じ町を往きつ戻りつしていますと、その時々の変化を差程気にすることもなく、すべてを緩やかな連続として捉えてしまうものです。が、ふとした機会に、町の風景や人々の生活ぶりなどを撮ったその当時の写真などを見ると、その変化に驚きます。あの場所にあった筈の店がすうっと消えていて、新しい風景が出現したりしているのです。祝敗会（？）で痛飲した商店街のお寿司屋さんも数年後には無くなってしまいました。学園の同僚や学生たちと頻繁に出入りした喫茶店や食堂も、思えば数年ごとにその姿を変えたり消したりしています。しかし私たちはそれをさも当然のことのように受容し、新しい風景の中に自然に同化しながら過ごし

ているということです。こうした変化変貌はとりもなおさず地域全体が活性していること、つまり自らの盛んな体内活動の証と言えますでしょう。

しかし、私にとって仙川が特別懐かしく、またいとおしいと感じられるのは、そのような体内活動を支える町のフレームが基本的にずっと変わっていないことなのです。つまり、例えば都市計画などでその構造が跡形もなく大変貌を遂げるといったことがなく、同じフレームの中で、町が時代の風に応じ息づいているという安堵感と優しさがあるからです。平行する甲州街道と京王線、それに対して南北に直角に伸びた商店街、その二辺に架けられる「学園前通り」。この三角形は仙川の地図の構造線のように思えます。また、それらの周辺にはまるやかな坂道と年月を偲ばせる古木があつて、その日その時の光に映えながら爽やかに風の音を奏でています。それはあたかも自分が生まれ育った故郷の風景を見るような、心休まる何物かを秘めているようにも思えるのです。

迷路がある方が楽しい。道草したくなるような不思議な一角がある方がいい。よく解っているようでいて、ふと気付くとハツとするような発見や出会いがあるような、そんな日々を送ることができる町。私にとって「仙川」はそんな人なつっこさで語りかけてくれる町なのです。

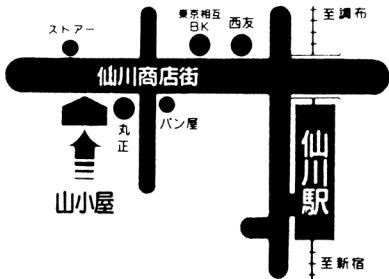


生鮮食料品のビックストアー

# 新 宿 **MARUSHO** 仙川駅前店

年中無休 10:00~22:00

☎ 3300-1415



おいしい和牛を、お安くご奉仕するお店  
ご家族連れや、ご宴会にお座敷をご利用下さい。  
(4名様~40名様迄)

## 焼肉レストラン山小屋 (仙川店)

サービスランチタイム

午前11:30~午後3:00日祭日は除く 午前11:00~深夜3:00

☎ 3308-4980

## PHOTO **TECHNIKA**

テ ヒ ニ カ

カラー・モノクロ  
撮 影 一 般

# D.P.E

03-5313-1949

A.M.9:00~P.M.9:00

仙川郵便局前

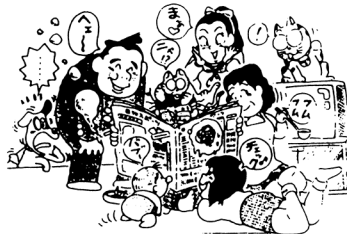
## いま！スポーツ新聞がおもしろい。

◎一般紙

朝日新聞  
日本経済新聞  
東京新聞  
サンケイ新聞

☎ 3326-4693

調布市若葉町2-4-25 神代高校信号入る



◎スポーツ紙

日刊スポーツ  
サンケイスポーツ  
中日スポーツ  
デイリースポーツ

**A S A 仙川**  
所長 橋本 功

会員制総合フィットネスクラブ

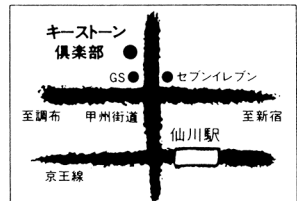
## キーストーン倶楽部 仙川

### アフター5会員募集中！

体験利用、ご見学随時受付中

☎ フリーダイヤル

0120-55-7011



営業時間 火~金曜 10:00~22:00

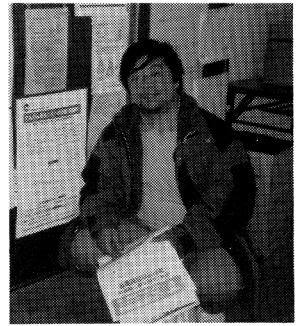
(月曜休み)土曜日 10:00~21:00

日,祝祭日10:00~18:00

□巻頭言	「仙川」寸想／飯沼信義	1
■特集 1	「新しき街・せんがわ共和国～21世紀へのシナリオ」	6
	阪神大震災から仙川を考える／佐藤陸雄	
	仙川人（びと）9人からのメッセージ	8
	仙川人（びと）12人と生徒たちからのメッセージ	17
○まちづくり		
	定期借地方式による“いえ・まち”づくりの提案 佐美 佑	24
	ミサワホームの定借住宅への取り組み 川名三喜男	25
	『歩行者憲章』	22
■特集 2	野川流域地図 大西友幸	29
	マップ 2 1 野川流域の植生（若葉町・入間町）	31
○口絵写真	安部公房・真知夫人の写真帳から	G2
○グラフィア	変わりゆく仙川駅とその周辺	34
	ちょっとおじゃまします“町田理彩さん”	G5
	チーム紹介 調布市消防団第十二分団	G6
	調布市消防団第十三分団	G7
	まちコミあらかると	G8
○せんがわギャラリー	「静岡大空襲」 栗田行雄	表IV
■特集 3	安部公房と仙川	
	安部公房先生・真知夫人との出会いと思い出／岡部敏英	40
	仙川時代の安部公房とめぐる人たち／編・伊藤綽彦	42
	安部公房略年譜	48
■シリーズ	10人の意見「私のボランティア 一行&考」	4
	私論公論 ウェル・エージング／岡部宗雄	27
	人と仕事 中国と友好交流三十年～福井肇さん／劉 雲	52
□えっせい	コミックエッセイ	
	和光堂（株）東京工場を描くの記／中島りえ	50
	クラブ&サロン テーブルを囲む／高山 宏	38
	オカリナとの出会い／佐藤一美	56
□インフォメーション		
	桐朋学園シアター 平成7年公演スケジュール	57
	ショッピングモール	58
	読者のひろば	61
	せんがわ21 人財&カンパ大募集!! 編集後記	63
□資料室	定借方式のポイント／仙川地区の高齢化の推移	26

表紙・口絵及びグラフィアデザイン	／加藤純一郎 木下 仁+1
表紙写真	／加藤純一郎
写真提供	／真能ねり 新潮社写真部 講談社写真部
資料提供	／調布市（株）タクトコンサルティング本郷事務所
レイアウト	／劉 雲+1
ワープロ	／劉雲
写 植	／今待幸男（ワークス）
題字・イラスト	／こやまきょうへい 小沢基弘
校 正	／大久保信昭 劉雲
広告版下制作	／木下 仁
本文版下制作	／劉雲 丸藤成康（シーダープラン）
印刷総務	／陰山俊憲（和幸印刷）
雑誌配布	／社会研究フォーラム

# ボランティア



三好清隆さん  
—都立神代高校教諭

●今までの社会は、「強者の論理」でつくられてきたように思います。より効率を追い求め、より高くより早いもの競ってきました。二週間程、神戸に入ってきました。それら競ってきたものが、一瞬のうちになくなっている様を見ました。今後のことをあえてひとことと言うなら、「共生」ということではないでしょうか。



山口宮子さん  
—「ひと葉」

●私は盲人の方に本を読むボランティアをしています。ボランティアをするのにあたって大事なことは、相手の望んでいることをすばやくキャッチすることだと思います。そしてその要求を満たし、要求以上の余計なお節介や親切の押しつけをしないことです。当たり前のことですがむずかしいことだと思います。



大脇正昭さん  
—調布を耕す会

●「調布を耕す会」(福祉作業所などを運営する民間非営利福祉団体)の職員として、『移送サービス事業』を担当しています。登録運転ボランティアの方々の協力を得ながら、リフト付きワゴン車を用いて、車椅子利用者、歩行困難者など現在の公共交通機関を利用しにくい人たちの外出を支援しています。ぜひ、あなたのご支援、ご協力を！



山口 毅さん  
—第四中学校教諭

●本校生徒会が「楽しみながら人の役にも立とう」という企画を立てた。空き缶や書き損じ葉書をチケットに、古本市やアトラクションを楽しみ、集めたものは寄付に役立てるというムシのよい内容である。それでも、「これ、役に立つんではない」と、役立つことの喜びを感じる心が見え隠れする嬉しいひとときであった。



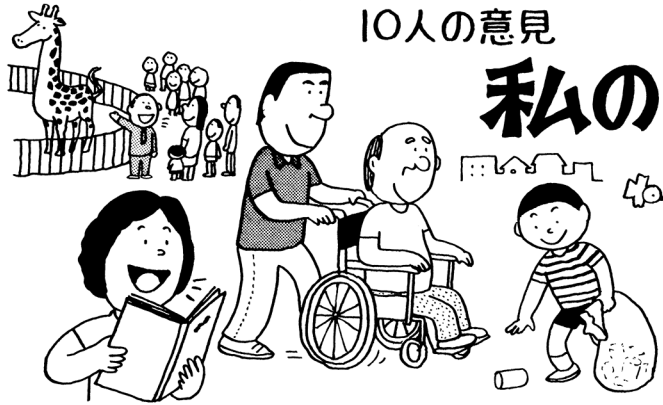
伊藤清子さん  
—入間町・老人給食

●53年より老人給食ボランティアを始めた。70歳以上の一人暮らしの方が週一度地域福祉センターに集まれ、私たちの手作りのお食事を共にしながら、旅行や趣味のこと等を話し、昼のひとときを過ごします。お腹も胸も一杯になってお帰ります。次回の給食をお楽しみに、いつ迄もお健かでありますよう……。

ehime | **Elégance** boutique  
CHOFU SENGAWA 1-12-12 TEL 3326-2476

10人の意見

私の



小田原昌則さん  
一和光堂

●会話と動物が好きなので、動物園で説明のボランティアをやっています。大変ですけれどよく言われますが、やりたいことをやっているだけなので苦には思いません。ボランティア活動は、まず自分が楽しまなきゃ、と思っています。多摩動物公園で青い制服を見たら声をかけて下さい。楽しんでる人達がそこにいます。



大城英代さん  
—リフレッシュクラブ

●私にとつてのボランティアは生活の一部。学生時代、社会人、家庭を持つてからは一市民として、人にかかわる活動を続けてきた。素敵な人との出会いや学びの積み重ねの上にリフレッシュクラブが作られた。クラブには心と体の健康づくりに関する様々なボラが必要。貴方の持てる力のほんの一部を提供して下さい。



高橋正美さん  
—滝坂小学校教頭

●滝坂小学校では、毎年四年生が、市のボランティアセンターの人を招き、手話や盲人ガイド体験、車椅子介助等の体験学習を行っています。これは、身近にいる障害を持った人やお年寄りの方に気軽に声をかけ、手を差し伸べることができ、一人でも多く育てたいという願いからスタートしたものです。



飯塚 馨さん  
—ボーイスカウト調布第九団委員長

●仙川の商店街を南に通り抜けた右側、明西寺がボーイスカウト調布第九団です。小学校一年生から「身体を鍛え、心を健やかに、徳を養う」を目標に、青少年の育成を行っています。非常時の食事、テントの張り方、寒空での保温の仕方、応急手当等々、即社会に役立つ技能修得に努力をしています。備えよ、つねに。



緒方 修さん  
—日本トルクメニスタン友好親善協会事務局

●ボランティアのせいでモノは売れず、病院には患者が来ない、と言った社長様がいらつしやいます。バカヤロー。そんな奴等がこの国をダメにしたのだ。江戸末期、お家大事の暗愚な家老どもが立ちはだかり、対して変革を目指す脱藩者たちが未来へつき進んだ。脱藩者の情熱が再び日本を変える！

アダルトハウス キクヤ

アダルト紳士洋品専門店



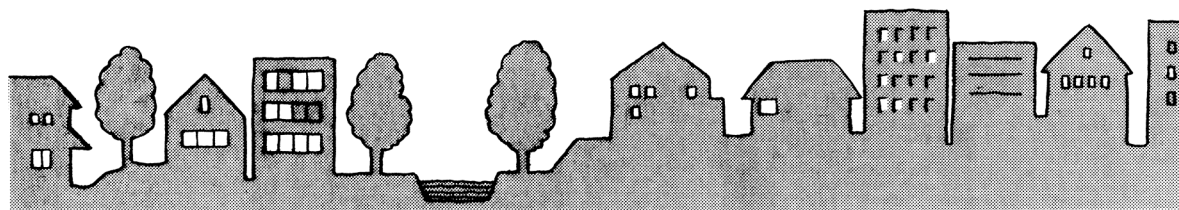
ミセス プティック

キクヤ

〒182 調布市仙川町1-11 電話 3300-4835 (仙川商店街)

# 新しき街・せんがわ共和国

～ 21世紀へのシナリオ～



戦後50年の1995年、大震災、オウム・サリンそして長引く不況と、大世紀末を実感!!  
グローバル21世紀では、人口爆発に伴う食糧危機、地球環境破壊の進行による生命環境  
危機と、厳しい大状況が山積。そして仙川の街も今、構造的変貌をとげようとしている。  
有史以来、多くの波山越えてはるかに来た我人類たち。千年のターニングポイント宜しく  
我ら仙川人も、スツキリ・さわやかに新社会システムによる「共和国」を目指しGO!!

## 阪神大震災から仙川を考える

街づくりの主役は住民だ

佐藤 陸雄



闇の中で、ガチャンと大きな音がした。海に浮かぶ船のように、部屋全体が右に左に大きく揺れた。寝ぼけまなこで飛び起きて、立ち上がるうとしたがうまく立てない。へたりこんだところへ、枕元の机が板敷の床を手前に滑ってきた。体のバランスを取りながら、あわてて手で押し止める。

阪神大地震の起きた日、私は大阪にいた。

昨年の四月に単身赴任し、一人暮らしをする五階建てのアパートの1DK。もうそろそろ起きなければ、という気持ちと、もう少し眠りを貪

ろうという気持ちが交錯する至福のまどろみの中だった。最初の大きな揺れが遠のき、テレビをつけようとしたら電気は停電、ガスも止まっていた。本だから本が飛び出し、額縁が落ちてガラスが割れている。前の晩に掛け金を掛け忘れたせいか、ベランダに出る硝子戸もひとりで大きく開いている。壁には、小さいながらもいく筋ものひびが入り、風呂場では天井のタイルがはげ落ちた。これまで経験したことのない大きな地震だった。

が、地震が神戸を始めとする阪神間に、未曾有の被害と甚大な損害をもたらしたことを知ったのは、それ

から数時間経って、勤め先の学校でテレビを見てからである。さらに、地震のエネルギーのものがすこさを肝に銘じて実感したのは、それから二週間後、二日にわたって、被災地を見て回った時だった。倒壊した大きなビルや高速道路の橋げた、灰燼と帰した商店街や住宅地、機能を停止した大都市の惨状を目の当たりにし、被害を免れた自らの幸運をかみしめずにはいられなかった。

同時に、生活の基盤を根こそぎに奪われた被災者たちが懸命に努力している事は一体何か、ということをしきりに考えた。救援、復旧、復興、再建という一連の行動、活動、計画、

事業は、当然ながらそれに当たる人がだれであるかによって、その見方・ビジョンは大きく異なっている。興味深いのは、その議論の中で、もっとも基本的でしかもこれまでは、もっとも無視されがちであった一つの視点がはつきりと浮かび上がって来たように思える事実である。

たとえば、立命館大学の高田昇教授（都市計画）は、三月二十四日付毎日新聞の「阪神大震災まちづくり特集のページ（大阪毎日）で、次のように語っている。

『阪神大震災の復興計画をめぐって三極の発想がある。専門家は、この際「理想都市」を白紙からつくるような提案をし、行政は、土地区画整理に代表される「制度」を取り急ぎ適用するところを探しあてる。住民の多くは、実は「早くもとの街にもどしてほしい」と願っている、という具合だ。（中略）今回の大地震のもっとも本質的な原因は、「経済大国」にあるまじき貧弱な都市住宅と都市環境にあったことを考えると復興の基本は、ごくあたりまえの上質の都市を地域の街区ごとに積み上げていく、地道な街づくりにあるはずだ。』

また、自分自身も被災者となった作家の藤本義一氏は同じ新聞の別の面で体験談を統一地方選挙にからめて、こう話す。

『阪神大震災で兵庫県西宮市の自宅の内部が損壊した。被災者の一人として感じたのは、行政と住民が遊離していることだ。行政は救助、救援物資、医療対策など急がねばならないことは後手後手になり、すべてボランティアの力に助けられ、頼りきりだった。半面、区画整理など住民の意見をじっくり聞いて進めなければならぬことを急ぎすぎた。住民との対話をしないまま私的な土地を強引に動かそうとするため、住民の感情は一層逆なでされた。住民がいて町があるのであって、町があつて住民がいるのではない。』

高田教授が「ごくあたりまえの上質の都市」といい、藤本氏が「住民がいて町があるのであって」その逆ではないという主張に、大震災だけれどもこれまでになかった新しい展開と目を見張った若者たちの広範なボランティア活動とを重ね合わせると一体、どうなるか。そこに浮かび上がってくるのは、町づくりとは、何よりも住民を中心に、人々の参加を交えて、より優れた町の機能

と環境をつくっていくプロセスである、というこれまたごくあたりまえの理念である。

被災地の各地では、地震で町の基盤と機能が根こそぎに破壊されたことよって、普段見過ごされ、日常性の中に埋没していた、日常性そのものの美しさと不可欠性に、住民たちはいま改めて気付き、そのうえでその再建と再構築、さらにあるべき日常性の再認識と見直し、開発と発展、という新たな問題と取り組んでいる、といえるように思う。

さて、「わが街」仙川の場合を考えてみよう。それにはまず、仙川の下さを再認識することから始めなければならぬ。

十年前、仙川に居を定めることに決めたのには二つの理由があつた。一つは、売りに出ていた建売りの家の近くに武蔵野のなごりをしのばせる林があつて、オナガが群れをなして空を横切るのが見えたことである。神田で生まれ、育った私にはおおげさなといえば、大自然との出会い、とてもいえるような感激だった。もう一つは、駅から南北に伸びる商店街の賑わいと売っている品物の物価の安さ。魚を焼く匂いが通りに流れ、

家を見た帰りに魚を買った。夫婦、家族でできりもりする店が軒を並べていて、懐かしいような雑踏がそこにあつた。

ところが、都心に近い郊外の沿線に比べ、圧倒的に豊かだった自然はわずかここ数年の間に急激に姿を消してしまつたのである。つぶされて住宅や、アパート、社員寮が変わりつつある。商店街の風景も変化が著しい。スーパーは繁盛しても、小規模の店は歯が抜けるように店を閉じ、或は今風のチェーン店となつた。家を見た帰りに焼き魚を買った魚屋さんは、先代が死んで、魚屋さんやめ、店の奥で飲み屋さんをしているだけとなつた。十年一昔というが、すでに、自然は昔の自然ではなく、街は昔の街ではない。

この変化には、好ましい要素がないわけではないのかもしれない。なくなった店のかわりに洒落たパン屋さんやできたし、若者相手の飲み屋さんも増えた。大きな店ができて、商店街は以前にもまして繁盛しているようだし。町全体が若返つた。自然の方も、背の高いケヤキやシラカシ、シイノキなどの屋なお暗い林が切り開かれて、「痴漢注意」の看板がこっけいに見えるくらいに明るく、

安全になった。そう評価する人もいるだろう。

はたしてそうだろうか。私には、こうした変化が残念でならない。仙川は、私の目には、明らかに、そのよさが非常な勢いで失われていつていよううつつ。いま、一番残念なのは、電車を利用するたびに、ホームから見上げて、何か誇らしい気分

分に浸ることができた駅の北側にあった林がすっかり消えてなくなったことである。進行中の工事から推測すると、四季折々に利用客の目を和ませていた緑豊かな線路脇の法面がなくなるのも時間の問題だろう。一方に、個々の土地利用者のエゴがあり、他方に行政当局の独りよがり都市計画がある。住民の意思は一体どこに反映されているのだろう

か。ある日、大災害に突然襲われたような形ではなく、仙川の誇るべき緑と街は、それと気付かぬ間にすこしづつ破壊されているのではないのか。気恥ずかしいことではあるが、私自身を含めて住民はもっと積極的に発言し、街づくりに参加すべきだ、と思うこのごろである。

(三月二十七日記 四天王寺国際  
仏教大学教授／若葉町一)

## 仙川人(びと)9人からのメッセージ

### ■アンケート PART I

#### ●萩原安生子

- 1 世界に誇る(?) 高速道路が長い区間、船のように倒れ、コンクリートの支柱が根元から折れ曲がっていた。
- 2 あれだけの災害に遭われたのに、ボランティアの方々等に、皆「有り難うございます」と言う言葉。
- 3 ここに住んで35年、人生の半分を過ごしました。やはり駅に降りたつた時、周辺に島、植木島、桜等の樹々が目に入りホッとします。
- 4 「買い物は一応何でも間に合う便利な街よ」。狭いところに手作り

の店(お菓子、お惣菜屋さん等)があるが良い。

5 新しい街と古い良き時代が何時までも共存している事。

7①商店街は道が狭いのに自転車が多くて歩けない(商店街の近くに自転車置場がほしい)。車はどの時間も原則として通さないでほしい。

②大きなマンション群で駅の西側は段々とアスファルトの道路、駐車場になり、緑が少なくなつて行くように思える。

③駅前のメインストリートは結構賑わっているが、一本裏に入ると(桐朋の正門の通り等)、あまり人通りが無い。もう少し各店で宣伝したら

④仙川アヴェニュー、折角良い建物が出来たのに、余り宣伝もない為か知らない人が多いのでは(駅前等に掲示板の大きいのを作ったら)。図書館、実篤公園等の公共施設も掲示板が目立たない。

⑤重復するかも知れないが、駅周辺に緑の公園(避難場所にもなる)を計画してほしい。

⑥親・子・孫とそれぞれに程良く対応していると思えますが。

#### ⑦賛成

⑧仙川駅から南側にある店やマンション、アパート等は他の駅周辺からみると一段と賃貸料が高いように思う。

8⑧実篤公園 武蔵野の面影を残し、何故かホッとする場所。

⑨キュービー(滝坂から登り切つた所)から仙川交番辺りまでの狭い通り車が多くて怖い。

(女・66歳／入間町一)

#### ●元木キサ子

1 消火もできず、ただ焼け広がっていく街の姿。

2 避難所の無言の表情。「あたたい飲み物が欲しい。」

3 どこまでも広がる田園風景(50年前)

4 「生活しやすい街よ!」

5 遅いけれど、緑を残して、まちづくりを!

6 樹々とみどりによそ風とビルはもういらない。

7①地形、人の行動を考えた上での対策を。若葉小、四中が避難所になっていますが、急な坂、階段の利用が可能か? 考えたことありますか? 都立だ市立だと言わず、神代高もぜひ緊急時に利用できるようにと願っています(以前、市に提案したが回答なし)。

②誰かが仙川を石の街に変えていく(この話を知っていますか)。恐

アンケート項目

- 今回の「阪神大震災」で、一番脳裡に焼き付いている映像シーンは？
- 今回の「阪神大震災」で一番、心に残っている「言葉」は？（誰の、どんな発言）
- あなたにとっての「せんがわの原風景」は？
- あなたが友人・知人に「せんがわ」の街を紹介する言葉は？
- これから仙川の街にとって大切なことは？
- 仙川の街づくりのキャッチフレーズは？
- せんがわのまちづくりへのご提案を具体的に!!
  - 地震などの防災
  - 住宅づくりや住環境
  - 商店街や商業の活性化
  - 芸術・文化・情報分野のニュー産業振興
  - 都市農業や公園などのオープンスペース
  - 少子・高齢社会への対応
  - 「愛輪コミュティ」づくり（No16—16頁での「駐輪場有料化」提言のご感想）
    - 賛成 反対 分からない その理由は？
- せんがわの街の「点検」と具体的な「提言」（別紙のせんがわマップに該当箇所をマークしてください）
  - ④好きな場所とその理由
  - ⑤嫌いな場所とその理由
  - ⑥こんなこんな風にしたというアイデア
- 『せんがわ. 21』誌今後の企画へのご助言を！（こんなテーマで書いてもらったら…）

ろしい事です。もっと、「いなか」でいい。  
 ③いま、それぞれのお店が一生懸命やっていらっしやる、それで十分。  
 ④できれば、駅のそばに広場と芸術の場、ハーモニータウンの根拠地。  
 ⑤一つの提案 相続問題で土地が石の建物に変わっていくのを止めた。税として支払う分の土地を、国がその地方自治体の安全スペースと

して、公園・広場とする、もちろん緑と一緒に。管理はその街の若者、手伝うのは誰でもいい。  
 ⑥定年になってから……、そういう考え方は好きではない。人間として、今その人にできること、沢山あるはず。年をとろうと若かろうとそれが出来るような世の中のしくみ、それをみんなで考える場、窓口をつくるのが大切。あちこちに若い老

人のエネルギーがうとうとしていらっしやる。生かしたいと思いますね。  
 ⑦読んでいないのでわからない。  
 ⑧良く分からないが、駅周辺で工事が始まっている様子。何とかホッと出来る空間になって欲しい（出来れば仙川文化の拠点に）。  
 ⑨昔の仙川駅からつつじヶ丘方向へ線路沿いに夕方歩くと、晴れている日には正面に美しい富士山がありました。  
 ⑩今の仙川駅からつつじヶ丘方向へ何と、つつじヶ丘の心ない地主さんがビルを建て、富士山が半分かくれています。通るたび、心の中を風が通ります。  
 ⑪まちの中、あちこちよく見える所に、時計があつたら嬉しい（風景の邪魔にならないように）。例えば仙川駅の四方、⑫の広告塔のところとか。  
 ⑬仙川を幾つかに分け、そこに住んでいるお年寄りに昔の話をお聞きして、仙川むかし話マップをつくる。など（今までも読ませて頂いていますが、まとめてみるのも楽しいと思います）。仙川駅が改善される様子、それにかけて特急をちよっと止めていただきたい提案など。お

忙しい中、どうぞ頑張ってくださいませ。次号お待ちしています。  
 （女・60／若葉町二）  
 ●佐野 敦  
 1 高速道路の倒壊現場と、危うく落下を免れた帝産観光バスの二場面です。なぜか、あの凄まじい火災シーンが一番目には出てきませんでした。  
 2 残念ながら直接聞いた言葉ではありませんが、被災者の方が報道陣に向けて発した「写真撮ってる暇があつたら……」  
 3 桐朋学園へ通っていた頃、毎日眼にしていた、一步裏手に入れば、畑や雑木林がいたるところに広がっており、さらに切通し部を走る電車を上から眺めることのできる、のどかな風景といったところでしょうか。  
 4 「少しずつ着実に変化を遂げてゆく街。」  
 5 どのような計画に際しても、決して背のびせず、真の人間サイズの街」とでも言うべき、気軽につきあえる雰囲気や大事にしてゆくことではないでしょうか？ 例えば、変にキレイキレイしているよりも、どこかちよっとした野暮ったさが残っ

ている街といったイメージかな？

建築物、広場等のスケールもあまり大きなものでなく、短時間でひとまわりし把握できるぐらいの規模（あまり具体的ではないのですが……）がよいと思います。

6 前項をまとめて、背のびしない街づくり、というのはどうですか？

7 ①防災といえ、やはり防災対策が第一だと思いますが、防火帯のようなものを設けるとすると（仮に土地の手当てができるとして）、街が分断されてしまうような気がします。今さら新しい考えではないが、地域の防災拠点を兼ねてポケットパーク的なものを随所に配置する、地域毎の防災訓練に役立てるなどして、意識の改革を徹底すると共に体にも覚えさせることが必要かもしれません。（頭では分かっているけど、いざという時に行動できるかどうかは決め手でしょう）。

②相続税問題などとのからみか、最近は大い敷地だった家が細分化されたり、敷地目いっぱい建物が建ってしまったといった光景をよく見るようになりました。

前段の問題とも関連しますが、こうした広い敷地（緑・自然スペース・

オープンスペースの確保）を、そのまま残してゆけるような制度の検討が必要ではないでしょうか？

③例えば、自由ヶ丘に見られるような迷路的な広がりを持った商店街というのはどうでしょうか？

メインストリーートの両側に並ぶ商店街という基本型はあってもよいと思いますが、そうした中心軸がはっきりし過ぎると面的に広がってゆきにくいのでは？

④誰もが気軽に使えるようなギャラリースペースがあるとよいのではないのでしょうか。

⑤野外ミニコンサートなどが開けるようなスペースを核とし、いくつかの地域毎にテーマに共通性をもたせたポケットパークを分散させて配置し、それぞれをプロムナードで結べると、よいのではないのでしょうか。

⑥難しい問題です。少子で社会活力が低下してゆくということは分かりますが、反面人間が多過ぎることで起きてくる様々な問題を考えると、余り人口が増えるのもどうかと思うのは驕った考えでしょうか？

⑦賛成 無料にしてしまえば「どうせタダだから……」的な意識下での利用となり、施設が大切に扱われなくなる怖れがあります（悲しいこ

とですが、現時点の公德心のレベルを考えると……）。あとは「使う人達で維持管理してゆく」という意識をわずかずつでも高めて行く効果に期待したいですね。

⑧ これまでに書いてきたことは思いつきばかりで、具体的な実現性の裏づけを考えているわけでもなく、またそれぞれの内容が矛盾しているものもあるかもしれませんが、無い知恵を絞りに絞っての上でのことゆえお許して下さい！ 箸にも棒にもかからぬことばかりでも、せめて僕かでも前向きにものごとが進んでくれたら、という心意気だけは汲みとっていただければ幸甚です。

8 ④仙川駅 跨線橋をあがらずに電車が見下ろせる非日常的な視点のおもしろさ。

仙川アヴェニュー 適度な空間的な広がり心地良い。

和光堂構内 正門から見えるノスタルジックな構内風景は味がある。

中央学園通り 桜並木のトンネルは小規模ながら程よい高さで、ちょっとしたカーブが気持ちよい。

入間公園脇の道 未舗装の坂道は自転車や徒歩者に最適！ 両側が林と公園というのも良い。特に公園は手が加わってない感じが良い。

⑩ 仙川商店街 ムチャクチャ嫌いということはないが、なんとなく歩きにくいのが難点。活気を感じるのはよいのだが……。

都道274号の狛江に向かう坂道 桜並木はよいが、両側の金網が無粋ですね。歩道部分にもひと工夫ほしいところ。

桐朋学園 言ってもしょうもないことだが、コンクリートの校舎ばかりになってしまい、開放的なスペースばかりで言ってみれば「缶蹴り」がやりにくくなってしまう感じがあり、淋しい。

⑨ 私的な意見で恐縮ですが、キュービーから桐朋学園、和光堂に至る都道278号の拡幅をして、バス路線を復活させたいですね（小田急バス本社が仙川に移転してきたことですし……）。

9 限られた時間、資力、人力のなかで、不定期ながらも立派な成果を発行し続ける努力には頭が下がります。いつもいろいろ声をかけていただきながら、なかなか参加できずに心苦しく思っています。

（バスの話でしたら写真込みで2〜4ページぐらいで、軽いものならまとめられると思います……）。

（男・40 / 上祖師谷六）

### ●三本迦代子

- 1 震災直後の火災。
- 3 鳥や緑が侵略されていく。
- 4 「都心に近いけど、まだまだ武蔵野が残っている」と胸を張って云いたい。
- 5 緑を残したい。
- 7 ①道がせまい。消防自動車が通りやすいようにしたい。
- ②家を建てる時にはセットバックして、道を広くしよう。
- ③充分だと思ふ。
- ④実篤公園、桐朋学園など仙川の誇りにしている。



⑤狭くならないよう、他の建物などに許可をおろさないようにして守る。

⑦賛成 土地が高いから有料にするのは当たり前と思う。

反対 たまに利用する人、急いでいる人のために。

8 ④寺町・大坂・実篤公園のコース、ゴミを捨てないように、美しく保ちたい。

⑥電柱の道、狭くて通るのも恐ろしい。  
(女・67/若葉町一)

### ●馬場保夫

- 1 ドスンと横倒しになった阪神高速道路神戸線。成す術もなく燃え続ける長田町の街並み。瓦礫の前に茫然と立ち竦む被災者。頭に血の滲む包帯を巻いたお婆さん。倒壊した家屋の隙間に頭に突っ込んで、家族を呼んでいる少年。そしてスーパの前に黙々と長く列を作って並ぶ人達。そのほか数多くの悲しい叫びが聞こえるテレビの映像シーンに、一番・二番の優劣はなく、何れも脳裏に焼きついている。
- 2 頭に血の滲む包帯を巻いたお婆さんが、未だ恐怖の残る顔で口籠った。「病院がいっぱいで入れない。」

川商店街通り 狭い道路を自動車が通るので、大変に危険である。  
(男・64/入間町二)

### ●江藤直子

- 1 畑に見られた断層の写真(北茨城町)
- 2 ライフ・ライン
- 3 森、畑がふんだんに残っている町。夕刻は通るのが怖いぐらいだったが、道にウズラがいたり、子供とカブト虫を捕るのに夢中になった。
- 4 学校が集まっていて、文化人が結構多い町。電通学園の桜の季節には、毎年友人を案内する。
- 5 緑をこれ以上なくさないこと。
- 7 ①私の町内会は、10軒の内、8軒は子供が巣立って、ご夫婦一人のみや老人を抱えた家庭である。災害で避難する時、その方達のこととも考えておかなくてははいけないと思う。
- ⑤公園などもあまり整備しすぎず、子供の冒険心を満足させられるような場所も欲しい。子供の心が解放できる場を残してほしい。
- ⑥年々高齢化している入間町界隈、ライバシも程々に保ちたいが、いざという時、助け合えるネットワークづくりが必要だと思う。

⑦分からない。

8 ⑥若葉の森を通ると、気分がリフレッシュするし、子供の頃の気持ちになれる。

⑨ 都道118号の仲島医院のところお年寄りでも安心して渡れるような工夫はできないでしょうか。手押し信号でもと思うのですが……。

9 仙川の歴史を分かる範囲で調べてほしい。(女・48/入間町一)

### ●武田梅男

1、2 赤く燃える大火と、夜明けて焼野原となった街角で呼び止められた人が、「そこに、そこに(人が)埋まっているんだ」と、ハンマーなどを持って急いで走り去ったシーン。

3 小さな駅。小さな街並みに続く畑と林。線路沿いの小路や土手の眺め。

4 鈍行しか止まらない小駅なのに女性の乗降客やお店の多い街並。畑と学校と田園風景が重なり合って、京王線は道の下を通り過ぎていく。

5 ゴミ、不法駐輪、自販機、ハテナ看板をなくし、林・畑・生垣を残し、美しい町づくりをすること。

6 来てみればホットするきれいな街

7 ①駅近くの畑や駐車場を避難場所として、食料なども備蓄する。防火用水、街や道に水道、消防車の通れる道路整備。公園づくり。

②倒れない、燃えない家づくり。ブロック壁、自販機、違反駐輪、はみだし看板や商品展示などを撤去してゆく。

③駅近くの商店、住宅を中高層化し、空いたスペースを駐輪、駐車場公園、公共スペース、芸術スペースにしたらい。

④商店会や桐朋学園などの協力を得て、住民の集会、カルチャーセンターづくり、懇談会、清掃会などのネットワークづくりをしたらどうか。お互いに住民同士が知り合い、親しみ合う街づくりができないものか。

⑥保育園、高齢者(カルチャー)センター、特別養護ホーム、リサイクルセンターを駅周辺に作る。バスが駅前まで乗り入れられる広場を作る。

⑦賛成 駐車より駐輪に住民は迷惑している。不法駐輪は強制撤去すべきです。そうされたくない人は有料駐輪にするのは当然です。

⑧駐車禁止車をチェックするパトカーや撤去車は来ないでほしい。特にマイクでどなりたてるのは止めて

ほしい。寝ている病人や赤ちゃんは特に困る。静かな街がいい。駐車にわれわれ住民は困っていない。そんな暇があったら不法駐輪自転車警察は撤去せよ。駐輪に住民は困っている。

8 ⑧駅周辺の不法駐輪区域を抜け出した線路ぎわの道路 春夏秋冬、線路両側の土手と周囲の草花や風景の移り変りが心をなごませる。

⑨不法駐輪の道路、駅周辺 歩く度に危険を感じる。特に幼児や老人。

⑩駅周辺の不法駐輪は市・警察が撤去せよ。さもなくば、その道路ぎわの商店主、住民、駅長、銀行などが片づけて清掃せよ。特にRというパン屋の経営者は自転車も片づけないし、清掃もしない、ねずみは通るし、ゴミは汚いまま放置している。食料品を扱う業者として不適合、廃業すべし。せめて人が普通に歩ける道にしてほしい。

9 地区別に希望者の代表で座談会を開いたらどうですか、テーマ別に(男・67/仙川町一)

### ●なべくらすみ

1 校庭に並んで、救護物資を受け取る行列の人々。

2 テレビの解説者が、この行列を見て「国際人の多い神戸の人達だから順序よく並んで物資を受け取ることが出来た。東京の人達はこの規律良さは真似出来ない」と言っていたが、私は「冗談じゃない、東京の人々はもつと行儀が良い」と言いたかった。

3 細い商店街を抜けると、目の前に広がるのは畑と空だった。

4 「小さいけど、活気にあふれた美しい街。きれいで暮らしやすい所」

5 モタンで新しくはあっても、いくらかの素朴さが残っていたら良いのだが……。

6 知的でおしゃれな街

7 ①日時を決めて、街ぐるみの防災訓練も。

②中央の商店街、またその近い周辺には、余り高い建物がないので、圧迫感がない。今後もそうであって欲しい。

⑦賛成 駐輪場整理のためには、数人の専従の人が必要。そのためには有料化も当然。

⑧桐朋学園正門通り 静かでした。れた店が多い。

⑨キュービーから交番までの都道118号 世田谷方面への重要な道であるのに、車のすれ違いばかりか、

人と車の通過も危ない狭い道。歩く時は遠回りして商店街を通ることも出来るが、車の場合は大変通りにくい所です。

9 人物点描的なこと、インタビューなどは出来ます。

(女・55/三鷹市中原町)

### ●青木史世

1 トラック運転手(だと思ふ)をしている次男(だと思われる)が震災のニュースを聞いて、わが家の前付近に戻ってきたときのもの。どこに向けていか分からない怒りを近くのものにけっ飛ばして表現していた。

2 建設省建築研究所国際地震工学部応用地震学室長石橋克彦氏の「最悪のケース」あるいは「都市型災害のすべての要素が出た」というコメントを聞きました。とても不幸な災害でしたが、このコメントは正しくないと思います。今回の地震は、東京にとつてきわめつきの教訓を残してくれたとは思えません。

3 緑が多く起伏のある武蔵野。

4 「東京にあつて、なおかつ『田舎町』でいいところよ。けつこう緑が多いし、買い物はしやすいし、それでいて新宿に二十分ちよつとだも

んね」

5 再開発という名の乱開発をされたくない。大きな道路が何本も走り高層ビルが建てられ、「ふれあいの場」というようなロータリー(これは他の町から遊びにくるにはいいけど、住民にとってホントのふれあいにするのは難しい)があるような仙川はきれいです。

6 21世紀先取りのまち

7 ①開店休業中ともいえる町内会と消防団を結びつけ、その中からボランティア等のグループも育成する。各町会毎にテント等備蓄(毎年一枚づつ買う等)し避難所に保管。この資金は町会費から捻出。

②開発されてしまった(人間がとり上げてしまった)土地を有効利用し、これ以上は林などを減らさない。  
③フツの品はスーパーで買えるので、各店が「どこにでもある店、品ぞろえ」をやめて、個性を出す。例えば、干物兼食料品店は無添加の惣菜を出すなど。

④芸術文化 仙川にある各芸術関係サークルの連合を作る。月一度手作りの作品等を売る場を設ける。その企画実行を請け負う。また、ジャズなどは試みられているが、ロック等のライブも企画。既存の店舗で生

演奏可能なところを発掘する。

⑤休耕している畑等を家庭菜園に会員制とし、オーナーにお金が入るようになる。

公園 おしつけの遊具を極力置かない。3カ月に一度ぐらいはそこでイベントをする。「仙川人が挑む土器制作」などの、参加者全員で創っていくものとする。

⑥防災のところでも述べたが、町の活性化。ただし以前の「隣組」にならないように。プライベートを尊重しつつ、近所での連帯をして、老人家庭を補助したり、核家族の赤ちゃんを共に育てる。

⑦賛成 支払うことで自分のスペースを確保できる。

⑧仙川の駅が変わるといふ。あのこじんまりした田舎風の駅は大好き。京王電鉄さんが建てるのだから、文句は言えないにしても、チョットは緑に似合う駅にしてほしい。あまり無機的、合理的な外観にしてほしくない。

⑧若葉小学校に至る坂道 タイムスリップしそうな感じが好き。でも最近ちよつと雲行きがアヤシイゾ。木を切らないで!

⑩仙川商店街の「駅から甲州街道」部分 特に夜になると、遊び人が多

いように見えちゃつて。違つていたらゴメンナサイ。

⑩三菱銀行から駅へ至る通り 駅前の再開発とか道路計画のせいなのか、「とりあえず」っていう店舗が多い。奇妙な色でペイントした建物もある。2〜3店、いい店もあるから、もったいない。上記の計画がないなら、うかぶアイデアもあるが……。

9 「せんがわ21」誌の若手・ボランティアを総動員で……、「店長・オーナーさんに聞く」企画。お店に来るお客さんの年齢層、地元の人が多いか、違う町から来る人は何割かお客さんに求めること、求められること等を取材し、仙川人が何を日常的に欲しているかをさぐる。

(女・47/若葉町三)



珍味、新鮮さで評判——築地・気仙沼より直送  
〈四季の特別メニュー〉

- 春・磯の香りいっぱいのおかひが  
白魚のおどり喰い
- 夏・殻ウニ
- 秋・サンマの刺身
- 冬・殻がき(生食)

すしの磯春

〈出前承ります〉

仙川保育園前

☎ 3300-1710, 5002

水曜定休

内科 神経科 漢方 良導絡

## 飯田 医院

診療時間 平日・午前8:00～午後9:00まで  
休診日時 ・日、祭、火、金(昼間)、土(夜間)

入間町2-11-14 ☎ 3488-6061

一枚の写真に心をこめて...



HIGH QUALITY in GOOD TIME

# sunrise photo house

(株)サンライズ現像所 東京都調布市仙川町1-18-2 telephone.03-3300-6808

いつでも、どこでも、24時間年中無休で、

あなたをお待ちしています。



## セブンイレブン調布仙川店

甲州街道沿い、仙川駅入口

☎ 3305-0711

◎注文紳士服 ◎洋服リフォーム 寸法直し、修理 リフォーム、カケハギ

## テラー・いしとび

日曜定休

甲州街道「たちばな」裏

☎ 3307-1015

# 聖教新聞

## 仙川販売店

岡村英夫


仙川町 2-11-23

☎ 3307-7343

お気軽にご相談下さい

# むさしや質店

仙川駅前森の中 ☎ 3300-6348

 ハクビ京都きもの学院

仙川教室

生徒募集中ノ (トーマツボール内)

毎週木曜日 10:00-12:00 14:00-16:00

夜の部 / 18:30~20:30

入学金 3090円 受業料 4120円

維持費 (3ヶ月分) 1545円

☎ (3309) 5014

日本テレビ・週刊文春にて紹介されました

味の店

# どんかつ仙川

各種宴会40名様迄御相談下さい

仙川駅前東国書林横 ☎ 3309-0144

ティールーム

# チャティー・ず う

落ちついた雰囲気でのティールームで、憩いのひとときを...

仙川商店街入口 (西友前) ☎ 3308-9278

BOUTIQUE

# QUEEN

仙川商店街 (西友前) ☎ 3308-3819

桐朋学園交番前

和風ラーメン

甘味処

# 伊那

☎ 3326-1586

東八道路三鷹Jマート隣りの

ラーメン エノ もよろしく

☎ 0422-34-7155

パーマをかけるたびに健康毛になるバイオパーマ  
着付、アップ、美顔術、メイク  
山野愛子山の実会

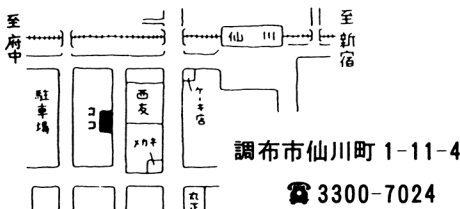
# 堀内多賀子美容室

営業 AM9:30 ~ PM6:30 まで受付

火曜日定休、第3火水曜日休み

予約優先 東光電気2F ☎ 3309-0676

# 仙川寿司



高級呉服 京染 手洗

和服の御手入には専門店の当店へ

# 富士屋染物店

桐朋学園前 ☎ 3300-2572

飯店舗つつじヶ丘 1-17-3

# 中華料理 萬來軒

ご宴会30名様まで承ります  
京王線仙川駅ホーム前  
☎03-3308-9288

いわし料理各種・天ぷら  
うな重・鍋物(冬)・その他



ご宴会25名様まで承ります  
京王線仙川駅ホーム前  
☎03-3308-9457

## 英修塾

“どの子も伸びる、どの子も伸ばす”  
厳しい指導と暖かい塾風

小4～高3・受験と補習

仙川商店街のはずれ、“小さきこと”にこだわり続けて、15年、  
☆互いの目を見合いながらの学習指導が、進路への決意と自信を切り拓きます。

☆深く徹底して子どもを信頼することが、他人への優しさと自分への厳しさを育てます。

これからも自立する若い知性を熱く応援しつづけます。

調布市若葉町1-42-5 TEL.03-3305-4040

毎度有難う御座います



※米穀・宅急便取扱



鋼屋

## 斉藤米店

甲州街道仙川駅入口角

☎3300-4709 仙川町3-2-1

味の店《午前11時～午後10時》

伝統が生んだこだわりの味 <出前迅速>

# 一富士



京王線仙川駅前

(ホーム上) 金曜日定休

でんわ 3309-5510  
イトン

白生地、京染、京呉服、名入り物  
洗張り、生洗シミヌキ

きもの乃店

創業120余年

## 上原屋染物店

調布市仙川町3-9-7

仙川駅際 ☎03-3300-6968

仙川郵便局前入る、仙川駅1分、新宿寄ホーム際

## 田村耳鼻咽喉科

院長 田村 博

医師 田村博美

■診療時間■

月・水・金

火・木

9時～12時 14時～18時半 9時～12時 14時～17時

土

9時～13時 日・祝休診

☎3309-2884

柔道整復師 栗山新一郎

## 栗山接骨院

若葉町2-19-2

☎3326-1206  
0346

太田市場仕入

有機栽培重点仕入

味を売る店 SSストア一内

## はせがわ青果

☎3300-1471

診療時間・AM9:00～PM7:30  
・祭日、9:00～12:00  
・日曜、休診

## 仙川獣医科病院

〒180 調布市仙川町1-34-13 ☎03-3300-4927

# 仙川人(びと)12人と生徒たちからのメッセージ ■アンケート PART II

田谷から続く40年前近くの農村地帯のイメージ。

## ●森田英子

公園があれば最高ですね。

- 1 高速道路の倒壊……、近代文明の脆さ……、そしてそれへの疑い。
- 2 毎日新聞の記事、核心インタビューでの瀬戸内寂庵さんの言葉。「おごりすぎていた社会、人間の非力、不条理、この世の無常、……でも絶望しない」

⑥少子 人口は減ってもいいと思います。高齢社会 元気な高齢者が弱い高齢者を支えることです。そして高齢者も出来る限り自立することです。だから生活的自立の出来ない男性は困ります。

- 3 人、人……人で溢れる街。
- 4 「学生と庶民の街」
- 5 学生と住民、商店街の人達、人と人の交流がある街。
- 6 人間が生きている街
- 7 ①普段からの人の輪を……。それと情報を……。

⑦分らない 有料にした方がマナーがよくなるかとも思いますが、僅かなお金の負担も困る人たちがいるのかナと思うと……、難しいです。一度マナーの悪い人を含めて、仙川駅付近に駐輪する人の実態調査をして、有料か無料かを決めてはどうでしょう。

- ⑧都心へ出ても、買い物は仙川へ戻ってからです。小さなお店がゴミゴミありますが、その「よさ」を生かして、もう少し整備できたらと思います。防災のためにも。

⑧学生のいる街。特に音楽や演劇の学生のいる街の特色を、最大限生かしたらどうでしょう。

- ④例えばサッポロ・ファクトリーのような、上がホテル、下がシアター……、どうぞでしょう。

⑨仙川駅周辺 自転車のマナーが悪いから。  
◎調布駅前の南口広場が、あやういのですから、仙川駅前を市民の

- 広場にしたいですね。桐朋があるのですから、野外音楽会、野外オペラも夢でないでしょう。交流の場にもなるのでは……。
- 9 緑ヶ丘の人は調布市民という意識が少ないです。何かというと、新宿、吉祥寺へ行き、調布には行きません。「せんがわ・21」に調布市民意識の育つ記事があったらと思います。(女/緑ヶ丘二)

## ●伊藤恭二

- 1 安全性が高いと思われるいた構造物。(高速道路、建築物等)の倒壊した姿の街を焼きつくす、特に長田地区の火災現場。
- 2 活断層 専門家から初めて知った人まで、その恐怖と一緒に忘れられないものになった。人間の思考サイクルが短いことへの啓示か。

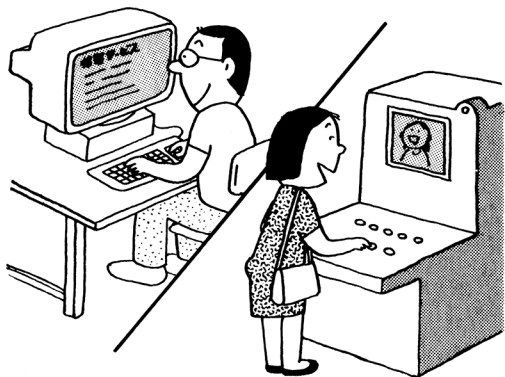
復興 政治家に対して、「東京で使われている復興には縁遠い状況」という被災者の発言。

- 3 残念ながら、私には原風景はありません。空想する原風景には、世

- 4 「少しローカルの匂いを残しながら、他所から来る若者たちがその活力と感性によって、独特の雰囲気(バランス)をつくっている街」ということになりそうですでしょうか。
- 5 仙川に定着(住む)する人達が、心から「仙川」を大切にしている気持だと、これをよく理解するリーダーの存在(育成)だと思えます。
- 7 ①建物の耐震診断、密集地の防火、耐火建築化。避難路・避難場所の確保。消火水の確保、川や水路も有効です。コミュニティの育成。防災訓練。マニュアル作成。行政の危機管理システムづくり。

②どの様なまちにすべきかという「方向性」、これに基づく「適正な人口規模、密度の想定」。無定見な人口増加、過密状態は相隣関係を悪化させ、まちへの思いを希薄なものにする恐れがあります。このことがコミュニティ崩壊に影響することも考えられます。何世代にもわたって住み続けられ、住み続けたい街が、広がりを持ったフレキシビリティのある住環境、またはヨーロッパの都市部にあるカタイ建物。

- ③都市間・地域間・店舗間のサバ



イバルゲームのなかで、大型店が郊外に進出している状況があります。まちの中心部の機能が郊外部にシフトすることによってまちの空洞化が気になります。それは、弱者（シルバー等）の利便性、快適性を疎外することにかなりかねません。「まち全体として、どうする（生き残る）のか」という全体観に立って、規模、業種構成、魅力施設について考える必要があると思います。

④ 地方自治や地域振興もあって、情報ネットワークが実に拡充されようとしています。これまでのハードに頼ったものでは、一極集中の問題が解消できないという考え方です。

これからの「地域社会」は『わざわざ出向かなくても』情報やサービスを受けられるようになります。一方、余暇時間の拡大や高齢化社会の本格化が始まろうとしており、これらのことから地域社会に様々なストック（ソフト&ハード）がされ、地域情報を含めた情報の発信が重要になってきます。長期的な視点に立った「文化」についてのストックは、より地域と密着して必要になってくるものと考えます。

⑤ これらも、将来に向けての都市のストックと言えます。ただし、個人的には中期的なものと考えています。無いより良い。あれば可能性を残す（少し否定的な言い方過ぎますが）という意味では、有効ですが、本当に必要なものはきちんと確保することも必要だと思います。

⑥ 郊外型店舗の増加等による、地殻変動の傾向が多く見受けられます。それは中心部の危機であり、弱者にとって不便になることも考えられます。大型化が進めば、広域化につながり、交通手段も車や鉄道に依存することになります。まちレベル、コミュニティレベル（居社会）の視点に立った規模の施設、地域社会を考えていくべきではないかと考えています。

ます。

⑦ 賛成 受益者負担の考え方による（原則）。自治の基本になる考え方として、「喜び」と「痛み」を共有する心が大切。ただし実際の運営や費用のことについては、検討の必要がある可能性もあります。

⑧ 地区単位で、まちづくり委員会（勉強会）のようなものができないだろうか。これを支援する「まちづくり基金」のようなもの、専門家の派遣制度の活用等が弾力的にできる母体ができないものか……などと考えています（町会長や商店会長など既にいるリーダーが参加することも考えられないか）。まちづくりには、多くの時間とエネルギーと愛着が必要です。利害を超えたコンセンサスづくりができるリーダーと、影響を受ける人達への支援措置（現行制度だけでは不十分）を民間レベルでできないだろうかと思ひ悩んでいます。

⑨ 車の量の割に、歩行者の安全性が確保されていない道路（特に都道二〇号）（男・46 / 川崎市）

### ● 高橋まき子

1 燃え上がり、燃え広がっていく下町の商店街と、間近かに立ってな

すすべもなく見ている町の人々。

2 神様が戸を開けて、多過ぎる問題を抱えこんでしまった日本に、神風をふかせたのだというように前向きな原動力にしていく一つの機会と考えられる。（竹村健一——あるセミナーでの講演）

3 畑に囲まれた砂利道が神代書店のところから仙川駅へつづく。今のナカヤのあたりに駐在所があり、笹本肉店であげたてコロッケを買った。40数年前のこと。

4 「若い人の集まる街、シモキタ、ジョウジにつづく街」

5 商店街から電柱をなくす。

6 21世紀は仙川から

7 地主さんの協力を得るために、行政側にもっと働きかけて、税金軽減などにより、土地を確保する。

⑦ 賛成 秩序を保ち、きれいに使うには当然管理費が必要。

⑧ 犬の糞を減らすためのアピール。センスの良い看板やカードを犬の散歩道につける。

⑨ 実篤公園周辺 落ち着いたたたずまい。

⑩ 若葉町三船通り 舗道がない、雑然としている。

◎ 駅前商店街とその周辺から電柱をなくす。（女・50 / 入間町一）

## ●松本慎一

- 1 大火災のシーンです。
- 2 特に誰のどんな発言というのはありません。ただ被災した人たちが意外に冷静(そう感じた)だったのが印象的でした。
- 3 仙川駅周辺。木造の小さい駅舎と質屋さんの森と小さい駅前広場。
- 4 「学生の多い街(特に女子学生)」。ただし各停しか止まらないので注意を要する。」
- 5 時代に取り残されないこと。
- 6 街づくりは、人づくり。
- 7 ①基本的には、自分の身は自分で守るということを念頭に置いて、備蓄なり対策を考えるべき。また普段から隣近所とのつき合いを密にすることも必要。
- ②道路を広くするとか、公園を造るとか、緑地帯を設ける等は、将来的には必要。だがその前提として、道路を広く使う工夫(道路に物や自転車を置かない。非常時には車を使わないなど)を普段からするべきである。要は個人のモラルの確立だと思ふ。
- ③買い物に来る人の立場になって考えるべきだと思う。駐車場や駐輪場の整備や、商店街のあちこちにベ

ンチが置ける様なちよつとしたオープンスペースが必要だと思う。そしてそのオープンスペースを使って催し物などを行ったら……。

- ④分かりません。ごめんなさい。
- ⑤農家の人には悪いと思うけれども、仙川で農業を行うことの必要性というか、必然性はあまり感じられないと思うのですが。それよりも買い物に来た人が休んだり、子供が遊ぶことができる公園が商店街の近くにもつとあれば良いと思う。
- ⑥高齢社会への対応としては、これからは段差の少ない道づくりや階段よりもスロープを広くとる等の対策が必要でしょう。
- ⑦分からない。
- ⑧要は人(仙川を良くしようとする)だと思えます。それも情熱を持った人。

- ⑧④仙川商店街 人通りの多い、活気のある商店街を見るのが好きです。
- ⑩四中へ下りる坂道 部活でこの坂を何度も走らされた。結構つらかった。(男・38/緑ヶ丘町二)

## ●鈴木俊一

- 1 世界各地から「ボランティア」の人達が来てくれたが、今後は各地

域ごとにボランティアバンクを作つて、万一の時のため、登録者を募つては如何でしょうか? これからの新築の家は震災などの基準を法で厳しくする必要があると思う。

- 4 「文教と学生の街」
- 5 若い政治家の育成(現在は皆無)。市議・都議・衆参各議員の誕生。
- 6 マザータウン仙川(大きいなる母の街)。
- 7 ①五百〜六百メートルおきに井戸設置。
- ②理想は一戸建て住宅街、共同住宅街、商店街が区画整理され、美しい街に変遷すること。
- ③駅周辺や商店街は一戸建てのものでなく、ステーションビルの様に区画整理が必要と考えられる。
- ④回覧板(現在はなし)や市庁舎内を基地として有線放送などの新設。
- ⑥高齢者用のホスピタル(専門)の建設。
- ⑦賛成 有料化により、それだけの設備をして放置自転車を整理する。
- 9 質問をしぼって、10代、20代、30代、40代、50代、60代の年齢別にインタビュー等をした記事を、時折掲載して貰いたい。(仙川町一)

## ●久万辰雄

- 1 ある父親が語る映像のシーン。建物の下敷となった息子を父親独りではどうしても救出出来ず、火が迫ってきた時、息子は父親に感謝と父の幸せを祈る言葉を残して焼死した。
- 2 感動、悲しみの言葉はあまりにも多く、特にとりあげるには困難を感じます。悪い意味で心に残った言葉としては、村山首相の月並みのシラケタ見舞いのコトバ。
- 3 入間町へ住居地を移して36年、その前数年間、近くの勤務地へ仙川を通って通いましたので、私の仙川の原風景はあまりにも古いもので商店はマバラ、ネオンもなく、現在の商店街も空き地だらけ。それでも学生が多いせいか、京王線準急停車駅でした。その後、仙川は駅の拡張工事ができないせいか、(小生の推量)快速をつくり出し、つじヶ丘駅に停車させ(仙川は停車しない)準急は期間をかけてなくした(ウマク京王電鉄にヤラレタ感じ)。準急廃止反対運動も起きなかった。いつの間になくなった感じである。
- 4 近くの野川を中心とした自然風景、武者小路公園等。
- 5 あまりよく分かりません。ただ

道路やスーパーなどにその店の買物のためだけでなく、自転車が置かれている。住民のエゴを感じる。これは何とかなくさなければならぬ。6 分かります。

7 ①私は関東大震災の経験から、先ず第一に火災を発生させないこと。直下型の地震は、活断層の比較的少ない関東では可能性は少ないし、あってもそれほど大きくはないようである。先日の茨城県を震源地とする地震も大きくなかった。ただ火災が多く発生した場合、消防車の数、水の便、道路の交通不能等により、燃えるままの状態になるのではないかと心配している。ストーブ（特に石油）の自動消火は完全か。消火器は十分各家庭に備えてあるか。関東大震災では、学校、研究所等の発火性薬品が棚から落ち、瓶が破損して火災を発生した。火災発生防止について、徹底的対策が欲しい。

⑥高齢社会の対応は先ず、高齢者が健康であることです。病的老化（異常な老化）を来たさず、自然的老化（生理的老化）のみで老いてゆけば、他人の厄介にならず、自然死を迎えることが出来ます。このことのでかなりの問題が解決されると思う。

⑦賛成 前掲の資料を読んでおり

ませんので、確たる解答は申し上げられませんが、一般論として賛成です。駐輪する人は、その程度の負担はすべきです。また、この方法以外に解決の方法はないと思います。

⑧実篤公園付近から野川にかけての1帯 自然の環境が多く残されている。

（男・75／入間町一）

### ● 仲田 えみ子

- 1 火事のシーン。
- 2 天災は忘れた頃にやってくる。
- 3 雑木林、けやきの大木、れんげ畑。
- 4 「都会の中の田舎。まだ空気がきれい」
- 5 自然を残しながらの街づくり。
- 6 緑を残そう。
- 7 ①コミュニティをしっかりと作る。隣近所の大切さを知る。消防車は大丈夫でしょうか？ 道に入れますか？

②なるべくブロック垣をなくして

垣根にしたい。

③なるべく商店街に自転車で乗り入れないで欲しい。

④小さなコンサートを時々身近で楽しみたい。

⑤公園をふやして欲しい。

⑥コミュニティづくりをしっかりとすること。

⑦賛成 あまりに野放し状態で危ないから。

⑧仙川の街の住民も随分増えましたが、交番は足りているのでしょうか？ おまわりさんが忙しすぎませんか？ 緑ヶ丘の方面に交番ありますか？

⑧実篤公園 昔の仙川を見ることが出来るから。大好きなカタクリの花が見られるから。若葉小への坂道40年前と変わらないから。

⑨桐朋前の通り、和光堂の前のバス通り 自動車がこわくて歩けないから。

⑨編集部は本当によく頑張っていると思います。心から声援を送ります。お医者さんの紹介は本当に役立ちました。ありがとうございます。

（女・64／若葉町一）

### ● 久保 全

1 タイム誌アジア版の表紙。ニュースウィーク日本版震災特集号の写真。

2 「あんた、来るだけではだめなんヨ」。村山首相が見舞いが訪れた際の被災者の言葉。

3 特になし。

4 「田舎の商店街」

5 新しい「インテリジェンス」

6 どういう街にしたいのか？ が不明。街づくりのコンセプトを文章化しなければ……。

7 ①どれだけ上手に、あるいはシステマティックに行政とコンタクト出来るのかにかかっていると考える。

③かなり活力はあると感じているのですが……。

④芸術や文化は、産業として成り立たせるのではなく、そこに住む市民、まさにインテリジェンスが盛り上げるものと考えます。

⑤私有地、公園より先に一般道路の整備を優先すべきだと思います。特に駐車・駐輪を一般道からなくすべき。

⑦賛成 公共の土地（道路など）に駐輪などは、道路の私物化に等しい。

8 ④寺町通りから大坂に至る道、東部公民館から若葉図書館に至る道車も少なく、とにかくのんびり歩ける。

⑤仙川郵便局からニッポンレンタカーに至る道、フェリカインテリアから目黒齒科に至る道 とにかく人がのんびり歩ける道が欲しい。

9 トータルなAD(オートディレクションを)ぜひ！  
(男・54/東つつじヶ丘三)

### ●香川草平

1 阪神高速道路の倒壊。

2 なし。

3 いなか。

4 「下町の明るい雰囲気のある活気ある街」

5 あまり高いビルを建てず、空の広さを大切にすること。

6 落ち着きのある、それでいて活気のある街

7 ①道路の拡張。

②道路の拡張。

④コミュニティセンターの建設。

⑦分らない。通学の人は無料に。

⑧街灯が暗い(特に実篤公園のあたり)。

8 ⑧駅周辺 清潔でコンパクトな駅

と桜の木が美しい。

④都道二〇号沿い 車が余りに混み合っている。

◎京王スーパーから仙川アヴェニューにかけて 散歩のできる公園  
(男・47/仙川町二)

### ●市原幸子

1 高速道路落下。

2 ボランティア。

3 ゴミが少ない汚れていない街。

4 「いくつかのスーパーがぐるーと廻っても、5分とかからないところにある便利な街。」

5 地域に親しまれる街。

6 若い人も、老人も共に楽しく仲良く生きていける街

7 ①自転車等の置き方が乱れているので、整理して道を広くしておく。

⑥お互いに思いやりのある社会にする。

⑦読んでいないので分からない。

8 ⑧好き嫌いはありません。今はすべて好きです。

(女・66/若葉町一)

### ●高橋正美

1 高速道路が切断されて橋桁が折

れていたところ。

2 こんな震災に負けてたまるか、「がんばらなくちゃ」

3 中央商店街に小さな個人商店がたち並び、昔ながらの呼び声で客を呼び込んでいる。

4 東京名物・栄太楼鮎本舗がある。キュービーマヨネーズの工場がある。

小さいながら学園都市であり、桐朋学園があり、白百合女子大がある。狭い場所に小さな店が所狭ましく立ち並び、ちよつとした下町風。

5 文化の町としての風格と、小さな個人商店と大型スーパーとの共存をはかる。

6 文化の薫りと、下町の風情をもった町

7 ①駅周辺の、特に中央商店街の所は、意外と地震には強いのではないかと。ただ道が狭く、密集しているの

で、火事災害が大きいと思う。防災に強い町づくりといっても簡単にはできないので、一人ひとりの自覚が一番大切。

②住環境としては、隣近所のつき合いが大切だと思う。町会・自治会に協力的な環境づくりが大切。隣に誰が住んでいるかわからないというようでは「よい町づくり」、「人にやさしい町づくり」はできない。そ

れから物価は安いことも大切。

③個人商店が大型店にくわれてしまふようではダメ。お客も街に魅力を感じなくなる。今のよう個人商店がそれぞれ店の持ち味を出し、良さを出し合い、互いに刺激し合い、共存していく道を探ることが大切。

④「せんがわまちニティ情報センター」のような活動が大切。広くその街の文化や歴史、伝統を知らせる機関があることはとてもよいこと。また、桐朋学園や白百合学園などを大いに利用して、公民館等でコンサートなどをやることもよいと思う。

⑤オープンスペースは、いざという時に大切な場所。広域避難場所としても大切にしておくべきである。

⑥少子化で一層子供に手がかけられる状況が増え、塾やおけいこごとがさらに盛んになる。一方、競争原理が薄くなり、弱い子どももふえる。また、子どもに手がからなくなり、





# 歩行者憲章

S・プライネス氏らによる  
(一九七四年)

- 都市は歩行者を傷つけてはならない。
- 道路はすべての人間のものであり、自動車のためだけに奪われてはならない。
- 人々は安全に自転車に乗ることのできる権利を持つ。それはトラック、バス、乗用車から分離された広い自転車道を持つ権利である。
- 自動車への依存度を減らすために、人々には都市でも、郊外でも、便利で清潔で安全な公共交通機関を持つ権利がある。
- 人々は職場の近くに住み、毎日の通勤労働から解放されるべきである。
- 都市の住民は公園とは別に、集会や儀式のためのゆとりのある広場を沢山持つべきである。
- 歩行者は自動車の排ガスに毒されない清涼な空気を吸う権利を持つ。
- 腰を降ろすこともできない街に終止符を打つべきだ。くつろげるベンチを街に。
- 自動車の騒音が消え、人々の話声があふれる街に。
- 足下の舗装から、ストリートファニチュア、サインに至るまで、こまかな配慮を。それが歩行者に対する福祉ということである。
- 緑の木々や草花を街に。それも市民の権利である。
- 都市は人間、そして歩行者全員の希望と文化のためにある。

『歩行者革命』所収

## ●海輪 恵

1 震災直後の上空ヘリコプターか

- ⑥とくにない。
- (男・46/滝坂小学校教頭)
- 桐朋学園付近 なんとなく文化の薫りがして、雰囲気が良い。
- ⑦賛成 放置自転車追放にはやむをえない措置。
- ⑧中央商店街近く 下町の風情が残っている。

- らの映像シーン。各所から火災が起こり、広がっていく様子。
- 2 朝日新聞に寄せられた歌の数々。特に調布市の方が詠んだ歌。未明裂く阿鼻叫喚に遠くいて義援金では済まぬと思えど。
- 4 ほっとできるやさしい街。
- 6 文化と緑の街づくり。
- 7 ①放置自転車等により商店街の道巾が狭くなるなど、迅速に避難できない等の解決策を。
- ⑤畑でとれたてのなす、花を買ったことがある。広いスペースでの朝市(昼市)の企画。
- ⑦賛成。
- (女・48歳/杉並区浜田山)

## ●調布四中二年生徒たち

(男女混合)

- 1 倒壊した高速道路。燃える商店街。激しく揺れる室内と立ち上がない男性(設置カメラの映像)。潰れかけた地下鉄駅。焼け跡で肉親の骨を拾う老人等。
- 2 「神戸が燃えています」というヘリコプターからのリポート。地震後の避難所で「家を建ててほしい」等。
- 3 今とあまり変わらない。分からないなど。
- 4 商店街。京王線が通っている。何急行が止まらない。混んでいる。何
- でも売っている等。
- ⑧若葉町図書館 夏でも冷房が効いている。
- 学校調布四中 自分の学校だから。若葉の森 自然がいっぱいあるから。
- ⑥裏道 狭くて、曲がっていて、夜になると明かりが少ない。
- 商店街 人がいっぱいすぎる等。
- ⑥坂道にエスカレーターをつける。
- 仙川駅にも急行や快速が止まるようにする等。

魚貝料理と釜めし



なみはな

営業時間 AM 11:30~PM 2:00 (ランチタイム)  
PM 5:00~PM 11:30

仙川町 1-4-28

☎ 3307-9854



仙川町1-4-24

Tel 3326-8323

カットサロン

たけし

完全予約制 厚生省公認毛髪診断士

仙川駅徒歩2分 桐朋学園通り ☎ 5384-6274

佐龍の味・ふじの味 手打そば処

家族庵

営業時間 11:00~21:00 火曜定休

桐朋学園通り

☎ 3326-9456

遊んでいる本は有効に生かしましょう

古書

訪文堂書店

桐朋学園通り

☎ 3308-6455

画材・額縁

mottet

お蔭様で20周年を迎えました。

仙川町 1-9-61

☎ 3300-8287

美しい歯と歯肉の健康のために

イチカワ歯科

GENERAL DENTISTRY・ORTHODONTICS

仙川クリニック TEL 03-3308-8241

広尾クリニック TEL 03-3486-8266

ひゃーっと冷たいかき氷  
みつめ、ところてん  
冷しうどんもあるよ!

甘処よしきり

仙川町 1-16 3300-8481

冠婚葬祭・御料理仕出し承ります。  
御宴会等に御座敷60名まで承ります。



大衆割烹 三進

☎ 3300-5655

くすり  
各病医院処方箋調剤  
アトピー用品

サンモール薬局

仙川町 1-8-1

☎ 3307-7708

## 定期借地方式による

### “いえ・まち”づくりの提案

佐美 佑

定期借地権は、従来の借地借家法の抜本改訂により、新たに創設されたもので、平成4年8月施行後の10月には、仙川まちづくりサロンのテーマに加え、早速勉強会も開催しました。それから、2年半余、動向を注目しておりましたが、運用面や意識面で大きな前進がありました。

平成5年6月、建設省の「定期借地権活用方策検討委員会」報告を引き金に、パブル後の土地・住宅政策面での「切り札」として位置づけられ、税務上の具体的な優遇措置が確定し、活用への途が加速されました。そして、各地での取り組みが重ねられ、地代の算定や保証金の扱いなど、契約実務上の諸問題も見通しがつき、新しいルールが確立しつつあります。

しかしながら、地主側、借主側の双方にとって、土地への新たな意識改革を伴うものであります。とはいえ、「所有から活用へ」は、すでに時代の必然ともいえる一大潮流であり、この定期借地方式は、今後、着実に育ち育てられていく、大きな可能性を持っておりです。首都圏の中でみても、郊外部から始まり、昨年には隣の三鷹市でも実施例が始まりました。

この住宅問題は、仙川の街に住み続けたいと願

っている人達の共通の課題であります。今までも仙川で知り合った友人の何人かが、子供の成長に伴い、共稼ぎをやめる時点で、去ることをおしみながら仙川を離れていきました。仙川の街に愛着を持つものが、この街で住み替えながら安定的に暮らし、人間づきあいを積み上げながら、生活を豊かに全うしていただけるまちは、新しき街・活動の目標そのものでもあります。

さて、仙川のまちづくりにおいて、駅周辺の地区整備が、この間、重点的に取り組まれてきましたが、その周辺及び仙川全体における良好な「いえ・まち」づくりとコミュニティ生活の充実が、今後、一層重要なこととなっております。

①昭和30年〜40年代に移り住んできた人たちの高齢層化に対応した、まちづくりや社会・福祉サービスの確立。また世代交替に伴う宅地の細分化への対応

②農地からの、今後の宅地化に伴う、新しい社会的なストックとなりうる良質な「いえ・まち」づくりの工夫

③仙川地区全体の居住環境と自然景観を保全するためには、戸数や人口密度を余り上げないかたちで、中堅世帯層を軸として、成熟型の世帯構成バランスを追求する

といったことが、大きな課題としてあり、これらを実現できないと、仙川の街の総体としての魅力と活力の低下は否めないと思います。

特に、多摩地区で、今後、急増する優良な宅地供給を考えると、仙川地区においても、高地価をストリートに反映させないかたちで、一定規模以上のゆとりある土地・建物面積を確保した（ミニ高級住宅でない）良質な住宅づくりが必須であり、そのための「切り札」は、まさに、定期借地権方式といえましょう。

そして、以上の様な努力の上に立って、良質な居住環境と愛着をもつ住民たちといった豊かな市民生活に支えられてはじめて、仙川駅周辺の新しいまちづくりの内実が生み出されてくるものと考えます。仙川の地政・風土・人情、実篤公園や桐朋学園、白百合女子大、電通学園の資源を生かしたまちづくりは、まさにこれからだろうと思えます。調布市も仙川も、もっと深く開かれた交流をと、おしまれること大です。

芸術文化、マルチメディア、生涯学習、健康と食、女性パワー、生活文化、福祉、ウエルエージングといった、これからの時代のテーマを織りこんだ、新しい業務機能やサービス業を仙川駅周辺に誘致し、構築していく、特色あるまちづくり戦略が求められております。昨年5月には、実篤記念館に資料館が増築オープンしておりますが、実篤と新しき村、派の小生としては、将来は、埼玉・毛呂山の新しき村を都会的に継承した、仙川・新しき街、といった、芸術



## 定期借地（利用）権方式のポイント

佐美 佑作成

〔地主（貸主）側のメリット〕

1. 「手放さず」に、土地の有効活用ができる。
2. 資本の投入（借入れ等）や管理・経営上の面倒やリスクがない。
3. 賃貸事業に比べ、地震や災害など建物被害への心配不要。
4. 保証金の運用益と地代で、「安全・安定・確実」な収入。
5. 保証金で農地宅地化のインフラ整備が実現。
6. 土地の小口商品化で、いつでも売却・換金も可能。
7. 節税対策（固資産税1/6、都計税1/3、地価税0）。
8. 相続税対策（2割の評価減、物納可能）。
9. ミニ・乱開発を防ぎ、美しく質の高い街づくりに貢献。
10. 買取・賃貸事業も含めた複合土地活用の第三の方式。

〔ユーザー（借主）側のメリット〕

1. 分譲住宅に比べ、4～5割安で取得が可能。
2. 過重なローン支払から解放される。
3. 土地代を住宅の「広さ」と「質」の充実に回せる。
4. 二世帯・三世帯住宅の広さも可能。
5. 増改築・建替、譲渡・転貸、相続も期間内は自由。
6. 資金余力が出来た時、土地購入への切り替えも可能。
7. 期間満了後、建物を地主に無償譲渡し、賃貸契約に切り替えることも可能。
8. 期間満了後、新しい条件で定借の再契約を結ぶことも可能。

追記▼（株）タクトコンサルティング本郷会計事務所の久保田佳吾  
税理士他の助言をもとに取りまとめた。

## 仙川地区の高齢化の推移

1995・5・25 「せんがわ21」作成

	平成2年1月1日				平成7年1月1日					
	総数	高齢者 (65才以上) 人数	%	内数(75才以上) 人数	%	総数	高齢者 (65才以上) 人数	%	内数(75才以上) 人数	%
入間町	7,007	587	8.4	222	3.2	7,027	808	11.5	268	3.8
一丁目	2,856	259	9.1	98	3.4	2,812	365	13.0	119	4.2
二丁目	2,734	189	6.9	66	2.4	2,683	259	9.7	87	3.2
三丁目	1,417	139	9.8	58	4.1	1,532	184	12.0	62	4.0
仙川町	4,886	443	9.1	146	3.0	5,097	580	11.4	210	4.1
一丁目	2,830	239	8.4	85	3.0	2,858	322	11.3	119	4.2
二丁目	1,292	102	7.9	33	2.6	1,406	153	10.9	51	3.6
三丁目	764	102	13.4	28	3.7	833	105	12.6	40	4.8
緑ヶ丘	7,521	803	10.7	295	3.9	7,643	1,072	14.0	395	5.2
一丁目	2,889	290	10.0	109	3.8	2,779	339	12.2	127	4.6
二丁目	4,632	513	11.0	186	4.0	4,864	733	15.1	268	5.5
若葉町	5,015	508	10.1	192	3.8	5,410	668	12.3	260	4.8
一丁目	2,483	316	12.7	112	4.5	2,545	415	16.3	160	6.3
二丁目	1,841	149	8.1	61	3.3	1,799	190	10.6	72	4.0
三丁目	691	43	6.2	19	2.7	1,066	63	5.9	28	2.6
計	24,429	2,341	9.6	855	3.5	25,177	3,128	12.4	1,133	4.5

わが国の総人口に占める65歳以上の高齢者の占める割合（高齢化率）は本年15%、今世紀末には18%、二〇一八年には25%を超えて超高齢社会を迎えると推定されている。ちなみに、高齢者福祉国として有名なスウェーデンでは、高齢化率15%で、既に収容施設等を中心とする福祉対策は行きづまりを示していると言われている。

戦後、わが国の急激な産業高度化により、若い人口が都市に集中したこと及び人口過剰ノイローゼにより出生率が甚だしく低下した。一方、医薬学は格段に進歩し、栄養も改善

された。昔なら結核や肺炎などの感染症で死亡したはずの年齢層が生きながらえるようになって、高齢化率が高くなったわけである。人生七十年、古来稀なりと云われた時代を大きく超え、ゼロ歳の平均余命、即ち平均寿命が延びたことにより人生八十年時代を迎えたことは事実である。

さて、ウェル・エイジング（以下W・A）という言葉は『じょうずに年齢を重ねていくこと』を意味するが、『有意義に、前向きに明るく、この人生八十年時代を生き抜こう』という念願がこめられている。

停年後の平均二十年という長い期間、大多

## ウェル・エイジング

岡部宗雄

数の高齢者が体の退行性変化および、これにまつわる病気をかかえながら、この第三の人生（老衰期）をどのように『じょうずに』生き抜いてゆくかは、高齢者個人の問題であるだけではない。第二の人生（成熟期）および第一の人生（成長期）の人々も早かれ遅かれ当面する将来の問題であるから、社会保障・医学・心理学などを包みこんで総合的に考え学習しておかねばならない。人間の一生の間における所得の再配分（社会保障）にも増して、ボランティア活動などのサービスの再配分が、真の人間社会づくりに必要であること

が理解されるであろう。

既に、わが国の農山村では高齢化率30%を超える所が稀でなく、なかには高齢者しか居なく、若者は皆都会に出て行って帰って来なくなり、今世紀中には廃村必至といった所もあり、放棄された山村農地は全国で十万ヘクタールにも及ぶと云う。国土計画の総合的政策が急がれているところである。

高齢者保健福祉推進十ヶ年戦略（ゴールドプラン）が平成十一年度を目指して進められている。また、産業構造のハイテク時代の余暇充実のための基本的方策も経済企画庁を中心に進められている。これらは何れも政府レ

ベルで、人口高齢化対策の一環として推進してもらいたいものである。

ところで、われわれ市民は一定の特徴を持つ地域に居住し、そこに属する住民感情を共有しながら、小集団を形成している。多くの住民は、日常親しく交際する向こう三軒両隣りを持って、家族と共に日々の生活を送っている。

日本人が、この狭い島国の高密度社会に、貧しい自然条件を克服して、生きて来た知恵は、この向こう三軒両隣り精神に據ることを見直す必要がある。W・Aはこの精神を抜きにしては達成されないであろう。また、この隣人愛・共存心は宗教心に連なることは云うまでもない。

この隣保活動の拡大の上に、デイケア・老人福祉センター・老人クラブ等の構想が自然発生的に顕現されるであろう。この自立・自助の主張に、公的支援の手をさしのべることが自治体の責務であると思う。

（世田谷区成城八）



BOOKS  
**MEDIA BOX**  
 CD VIDEO

**東 国 書 林**

営業10:30~23:00 (平日) 京王線仙川駅前  
 22:30 (日祭) TEL 3308-5613

**MAGAZINE BOX313**

商店街・芝信前 TEL 3326-8424

広げよう「実篤と新しき村」の輪！

広げようパチンコの輪！

絶好調！

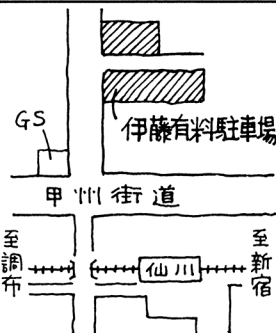
パチンコ

**コ ト ブ キ**

京王線仙川駅前

☎ 3308-8450

株式会社 **伊藤企画**



伊藤有料駐車場

時間駐車&月極駐車

仙川町3-2-45 ☎3308-3142

＜ 渡辺ビルのご案内 ＞

(交番斜め前)

3 F  
**OFFICE**

2 F  
 ・居酒屋  
 Sea  
 ・惣菜居酒屋  
 菜遊記

1 F  
 ・美容室  
 ヒロ  
 ・理容室  
 シルバー

B 1  
 ・スナック  
 ポケット  
 ・和洋パブ  
 星

**居酒屋Sea**  
 シー

夏の海と  
**生ビール**

☎03-5313-6565

気さくなプレイスポット!!  
 (B1に移りました)

ス  
 ナ  
 ッ  
 ク **ポケット**

月曜定休  
 ☎3305-9000

**ヒロ美容室**

☎3326-1287

10~19:30毎週月曜と第2・3火曜休み

**バーバー・シルバー**

☎3309-6570

9:00~19:30毎週火曜と第2・3月曜休み



# 野川流域地図 を紹介しま

おおにしともゆき

## 警告！

以下のつまらない文でお目を汚す前に、絵地図をご覧になれることを強くお勧めします。

みなさんは弁池に行ったことがありますかー「あの昔は湧き水があったって言う奥まった所でしょう、行ったことないなあ。」じゃあ、世田谷区成城の開放樹林地はどうですかー「あの草ぼうぼうで蚊がうようよしている所でしょう、行ったことないなあ。」じゃあ、積嶺神社はどうですかー「あの階段がきつい所でしょう、眺めがいいってね、でも行ったことないなあ。」じゃあ、狛江市の西野川せせらぎはどうですかー「あの湧水の時にはちゃんの水を流さない、いかにも人工造りの所でしょう、行ったことないなあ。」じゃあ、入間公園はどうですかー「あの谷間の雰囲気は神秘的な公園でしょう、行ったことないなあ。」…なんだか行ったことあるみたいない口ぶりですね。

野川流域には、不思議な雰囲気が残る湧水（跡）の場所や、緑のうっそうとした雑木林や、いろんな所がたくさんあります。そんなおもしろい所があるなら自転車飛ばして行ってみなくちゃ…こんな感じで自転車です走るといろんなものが目に入ります。いろんなことが感じられます。そのいろんなことを絵地図にしてみました。これが僕の「野川流域地図」です。基本的に高校生の夏休みの自由研究のノリでやってみました。樹木の種類等の調査のようになっていますが、僕はその専門ではありませんし、木一本一本の厳密性は半端ですから、調査資料としての価値はあまりないかも知れませんが、「野川流域地図」は野川流域という地域を把むための絵地図です。だから、

踏み込んだ調査というよりも、べらっとしたものになっているんじゃないでしょうか。今回このせんがわ21に載せて頂いた「入間」はその内の一枚です。

いろんなこと、と一口で言ってもそれが一体何なのかちゃんと説明することはとても難しいことです。個人的な感覚や認識、その場その時に心に残った風景は、自分の頭の中では、有機的立体的につながっていても、それらをきちんとして整理して、或いは相互の関連や位置を定型化して説明するのはとても難しいことです。「野川はどんな川なの？」「仙川というまちはどんなまちなの？」という、一見単純で簡単そうな質問の答えは、そうやすやすとは出てこないんですよ。

僕も、「野川って一体どんな川なの？」という問いを抱いて、いろいろな資料を探ったり、いろんな人の話を聞いてみました。が、どの一つの資料、どの一人の人の話も、何か一面的、断片的な感じがしました。或いは、あまり役に立たない議論ばかりで、雑学的な知識は得られても、そこから地平線が開けていくようなことはありませんでした。

そうすると、少なくとも自分で、自分が「野川」を理解するためには、自分なりの説明の仕方や工夫が必要になってきます。工夫を求めて試行錯誤を続けて行って、得られたひとつの成果が「野川流域地図」でした。この「野川流域地図」は僕にとっての野川理解の手段であり、またそれにしかすぎないかも知れません。他の人の役に立つ

かどうかは二の次だと思っています。と言うと何か突き放した言い方になりませんが、こういうあくまで個人的な感ずるに基づく方法でなければ、だたのうです。

「野川流域地図」は僕にとっての野川理解や野川認知の手段ですが、認知水準は認知対象をどのように表現できるかにかかっています。一旦認知した（と思った）ことを確認するためには、それを再現してみるのですが、この再現が自然に表現につながっていきます。うまく表現できるか、それとも下手な表現に終わってしまうのかは、技術的な問題もありますが、単にセンスの問題ではなく、背景にある認知が問われる問題です。表現すること自体も認知の役に立ちますから認知→表現→認知→…の循環が成立することになります。

この「認知→表現→認知」という作業は無限に続く、或いは開放されたものです。この作業過程に立って、僕は「野川流域地図」を作りました。だから「野川流域地図」を作ったことで何か結果がでたとは思っていません。実際、「野川流域地図」には、ぬり絵をしてみる、生き物の様子を描き込んでみる、保存樹木の指定箇所を書き込む、等高線を入れて地形の起伏をみる、等等の可能性が残されています。僕はただ、開かれた過程を追いかけただけ、自由に動いて、自転車を走らせていただけだったようにも思えます。「野川流域地図」はそんな過程のなかで、副次的に生まれてきたと思って下さい。そんな風に「野川流域地図」を見ていただけるといいなと思っています。

さて、「入間」の地図を見ますと、1994年8月26日という日付が書いてあります。去年の夏に作った地図をなんで今頃載せるのかと言いますと、実は「野川流域地図」というのは、「入間」以外に右上表のように12枚（全部で13枚）あり、この夏にも無事全部

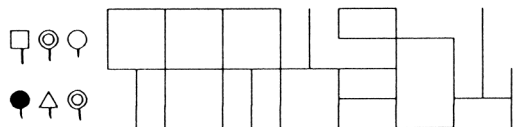
水源  
↓  
国分寺  
↓  
小金井  
↓  
前原  
↓  
野川公園  
↓  
大沢  
↓  
深大寺  
↓  
佐須  
↓  
大町  
↓  
入間  
↓  
若葉  
↓  
柴崎  
↓  
野ヶ谷

成しそうで、それに因んで、「野川流域地図」をここで紹介させてもらえ。ることになったからです。「野川流域地図」は、最上流の「水源」から「入間」までの野川本流域と、「入間」から「野ヶ谷」までの入間川流域を描いています。

この「野川流域地図」は先の議論でいうと、野川というテーマの下、認識部分は、大学1、2年生が趣味の活動としてできる範囲、表現部分は、領域性の表現を中心に条件の中での地図表現という単なる技術上の観点からも、水色がないから水路の様子がよくわからない、等高線がないからは部分がよくわからない、等不足の部分が多々あります

が時間もないので、13枚で完結することになりました。特に残念なのが「入間」より下流の野川をやり残してしまったことです。でも、上流から下流までただただ流領域全体をカバーしたとは言えないしねえ……。

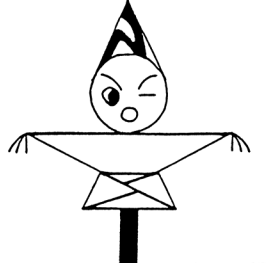
今、13枚の地図を一枚一枚ばらばらにならないようにするまとめ、「野川流域地図」と野川流域をいろいろ調べる過程で得られた資料等とを合わせる作業をしています。資料等には、13枚の「野川流域地図」では表現しきれなかったこと…他の野川関連の地図との比較、古い地図等の資料の活用法、図書館資料の紹介、等等…を収めています。「入間」を見て興味を持たれた方に、他の絵地図も見てもらったり、まとめの方の成果も見てもらえたいなと思っています。



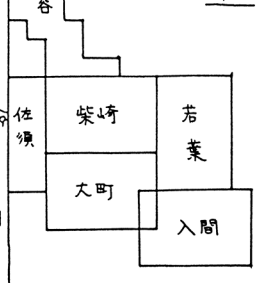
(大西友幸 / 府中市日綱町 / 学生)



# 若葉



若葉とその周辺の  
野川流域地図  
案内



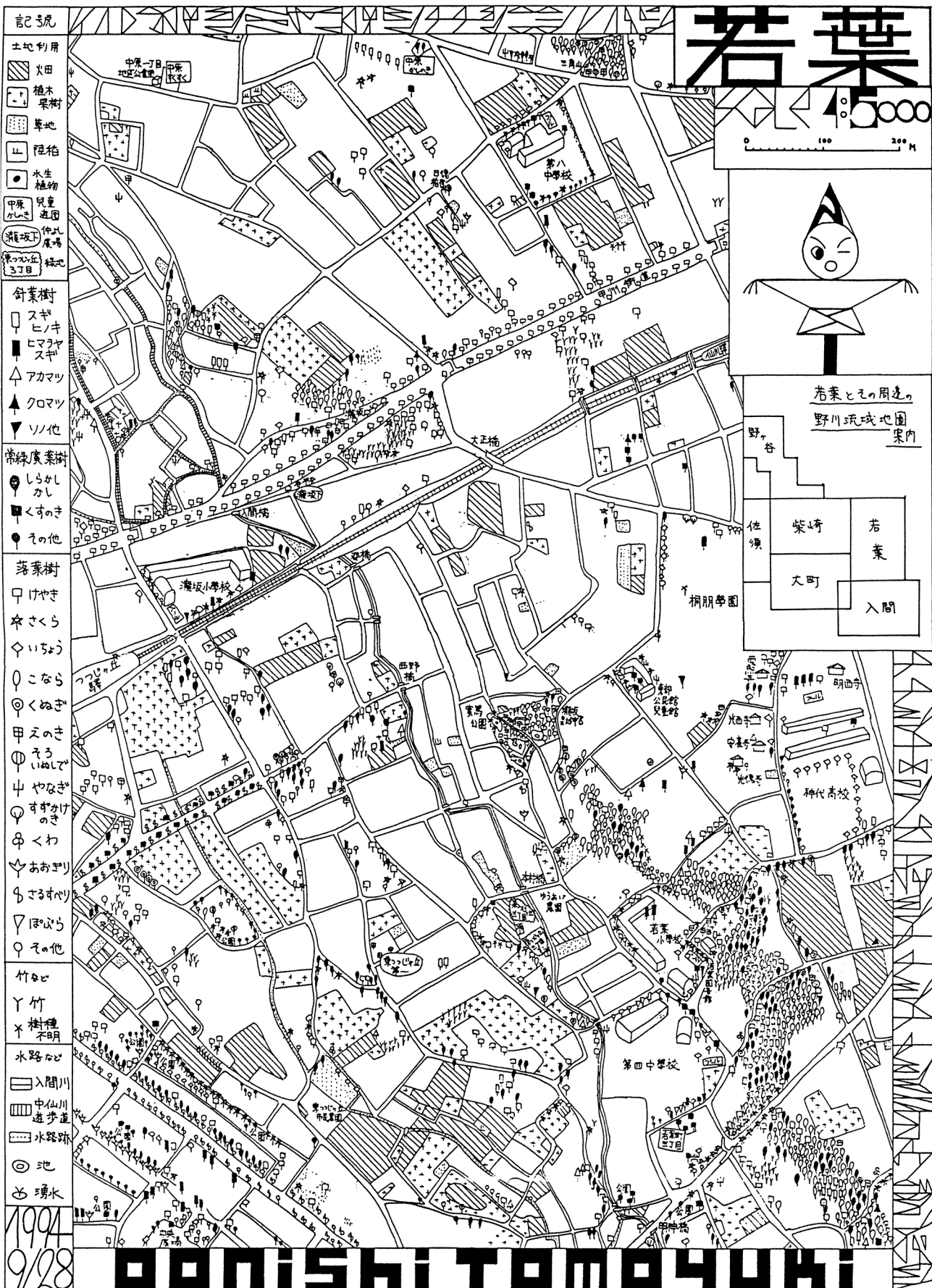
- 記号  
土地利用  
火田  
植木  
草地  
陸稻  
水生植物  
児童遊園  
中庭  
遊歩道  
緑地

- 針葉樹  
スギ  
ヒノキ  
ヒマラヤスギ  
アカマツ  
クロマツ  
ソノ他  
常緑広葉樹  
しらかし  
かし  
くすのき  
その他

- 落葉樹  
けやき  
さくら  
いちじく  
こなら  
くぬぎ  
あけび  
さくら  
くわ  
あざみ  
さくら  
ほおろ  
その他

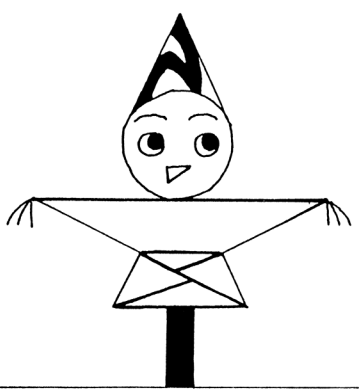
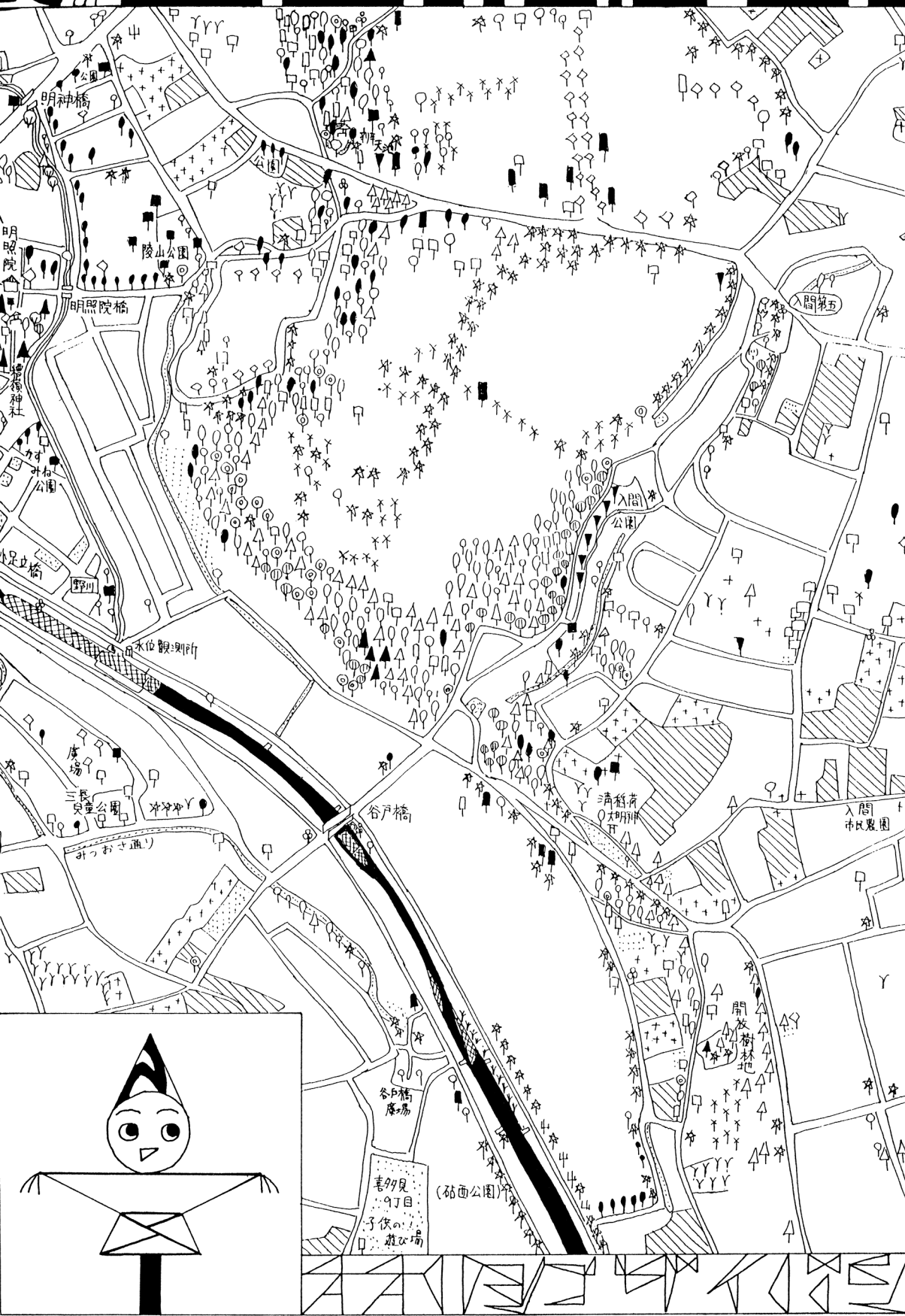
- 竹  
竹  
樹種不明  
水路  
入間川  
中仙川  
遊歩道  
水路跡  
池  
湧水

1994  
9/28



〔原図を縮小しているため、スケールは1 : 7000〕

# 高松市立水立橋公園



野橋 (9.9.4) 川橋 (1.4.0) 水立橋 (0.8.6) 高松市立水立橋公園 (0.8.9.9) 高松市立水立橋公園 (0.8.9.9) 高松市立水立橋公園 (0.8.9.9)

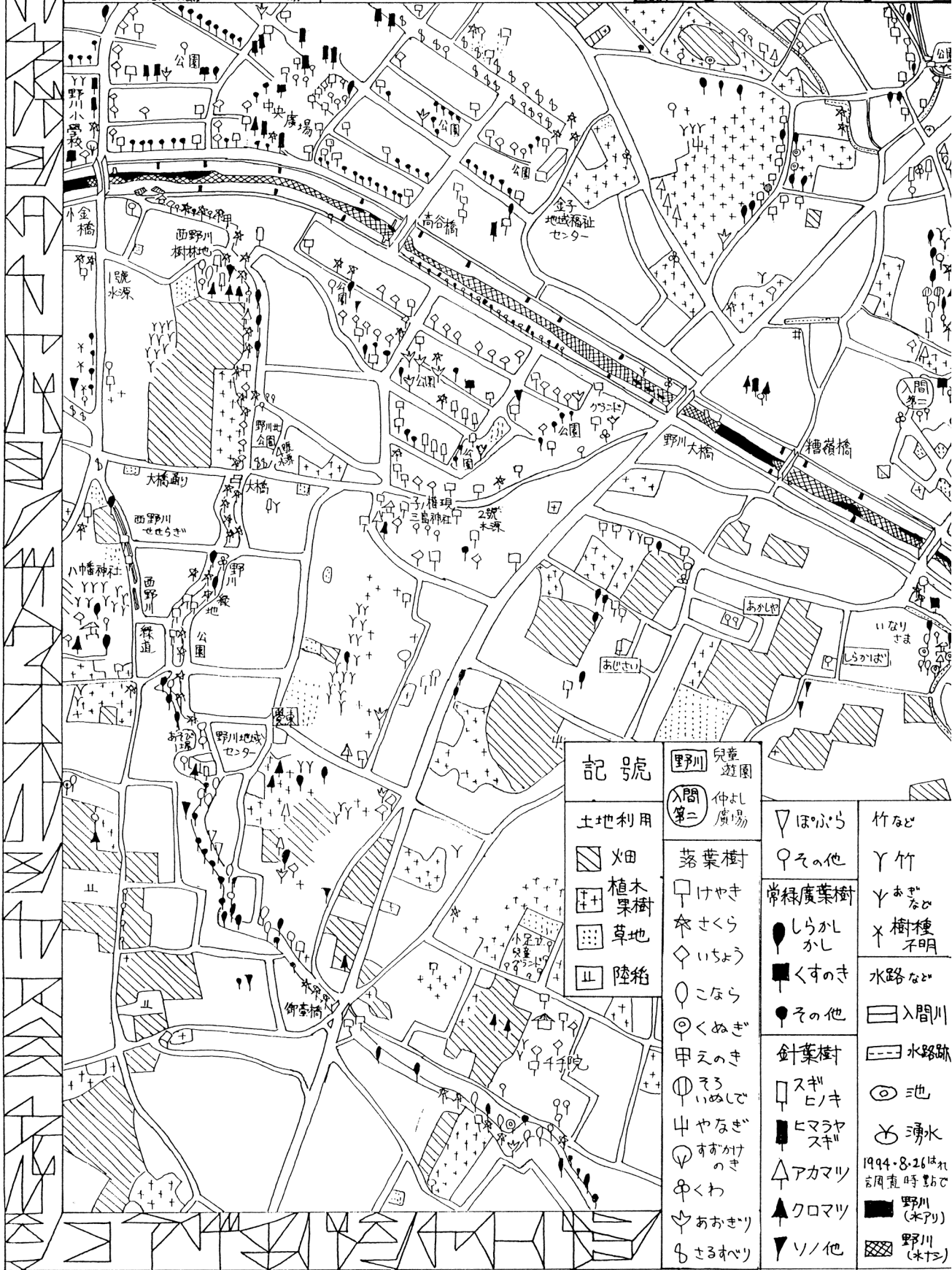
1994◇8◇26

# 野川

1:5000

0 100 200 M

# 入間



記号	野川 兒童遊園
土地利用	入間 仲丸 第二 廣場
畑	落葉樹
植木 果樹	□ けやき
草地	☆ さくら
陸路	◇ いちょう
	○ こなら
	◎ くぬぎ
	甲 えのき
	① そろ いぬじ
	山 やなぎ
	▽ すあけのき
	○ くわ
	♡ あおきり
	♂ さるすべり

▽ ほろり	竹など
♀ その他	Y 竹
常緑落葉樹	Y あざみ
● しらかし	× 樹種不明
■ くすのき	水路など
● その他	▭ 入間川
針葉樹	▬ 水路跡
□ スギ	◎ 池
□ ヒノキ	☉ 湧水
■ ヒマヤ スギ	1994・8・26はれ
△ アカマツ	調査時時点
▲ クロマツ	野川 (木アリ)
▼ ソノ他	野川 (木ナシ)



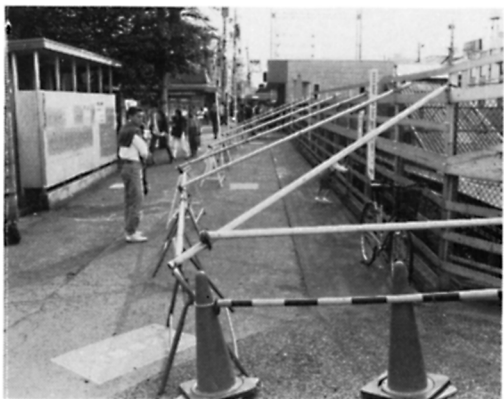
真っ赤な実のイイギリは冬の風物誌であった……



臨時のロータリーには柵と放置自転車!!

# 変わりゆく 仙川駅とその周辺

撮影 加藤純一郎



早くスッキリしたい駅の南側……



そのためには……



線路北東側の新駐輪場の利用を!!



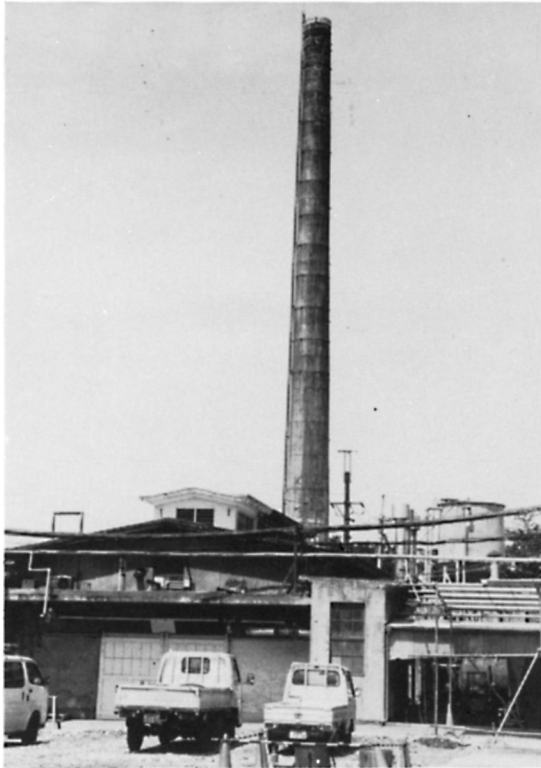
駅東側の新設道路（北・甲州街道側）



駅東側の道路予定地  
（南・和光堂まで）



仙川駅にもう一つのホームが増設工事中



このランドマークも95年8月に消え……



仙川アヴェニューに至る



この夏には撤去され更地に……



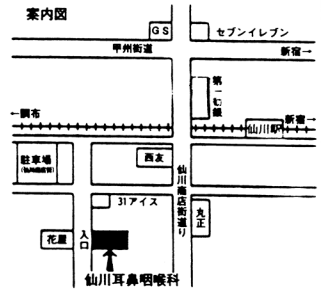
都市計画道路 3・4・17 予定地

診療時間

平日 午前10時～12時30分  
午後2時30分～7時

土曜日 午前10時～午後1時

日曜日・祭日・木曜午前中休診



# 仙川耳鼻咽喉科

仙川町 1-12-46 根岸ビル 2 F

☎ 5313-3281

お電話下さい。



見積り、  
採寸  
ご相談  
無料です。

●内装工事

クロス（壁紙）張り替え、  
ジュタン、クッションフロア  
ー、パンチ等の敷込み、カー  
テン、ブラインド、アコーデ  
ィオンカーテンの取付け。

●室内装飾専門店●

# フェリカインテリア

調布市仙川町1-10-4  
第2伊藤ビル1F

☎ 03-3305-0028

内科・耳鼻科・歯科

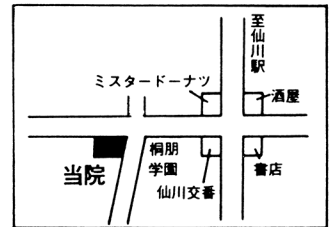
# 仲島医院

診療時間

- 9:00～1:00      3:00～7:00
- 火曜、木曜、土曜 9:00～1:00
- 日曜、祭日      休診

若葉町 1-27-5

☎ 3300-0755



総合内装工事請負 建設内装業都知事許可(般)第47217

一級技能士 矢佐間式弘

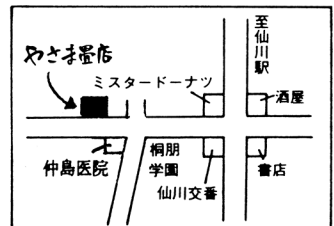
営業品目 表替 裏返 新畳工一式  
襖 障子 クロス カーテン ジュタン

# やさま畳店

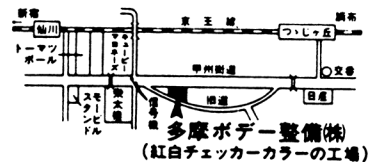
仙川町 1-3-38

☎ 3300-2360

FAX 3328-6135



磨いてだめなら 塗り替えましょう！  
解体部品装着OK！ 安く直ります



# 多摩ボデー整備K.K.

調布市東つつじヶ丘 1-15-3 甲州街道滝坂 ☎ 3307-6105

# テーブルに集まる

高山 宏

## 『家族ゲーム』でのテーブル

森田正光という監督は天才だと思うが、とりわけ『家族ゲーム』は衝撃的な名作である。つい先日テレビでやったのを見たが、鮮烈なショックが、見るたびにあるのは、すごい。あるとも言えない曖昧な家族という名の人の集まりが、一人の家庭教師の闖入によって実はただの鳥合の衆でしかなかったことがあっさりとおぼされてしまうという、胸がすくとも陰惨ともとれるふしぎな映画だった。『岸辺のアルバム』だとかとひとくくりにされて、戦後日本の急ごしらえなへ家族へ観念のもろさを描く名作のひとつというようなことで、話題作になったと記憶している。

とりわけ印象的なのが、これが実質的な主人公ではないかと思わせるのに足るほど巧みなテーブルの使い方である。世界を映像化するカメラとは何なのかというところまで議論を進められそうな場面なのだが、終始横長な画面いっぱい細長いテーブルが映され、都合五人の人間が横一列に、カメラに向かって皆こちら向きに坐って食事をしているので

ある。いわば世界を断面にたち割って見るごときかできない映画カメラの構造が逆によく分かってくるわけだが、要するにテーブルをぐるりと囲んでいる人達を撮ることができない。だれかを正面から撮ると、だれかは背中が映ってしまう。だから登場人物全員をまともから同時に映そうとして、映画は全員がテーブルの向こうにいて、同じ正面を向くという、実際の家庭で生じたなら奇妙きつてつな人間の配置を考えついたのである。

この映画はそうした映像の構造論としても面白いのだが、ぼくのようにテーブルの文化史でも言うべき妙な分野に手を出している人間から見ると、テーブルを主人公にして、それに生じている意味の変化を撮ったとても良く考えぬかれた映画だということになる。

## テーブルの文化史

人が単に複数いるだけでは、単にいるというだけのことで「集まり」とは言えない。言ってみれば人が人と向かい合う姿勢をとり、つまり相手の顔なり個性なりをそれと認知し、対話や会食が始まってやっと文化として

の「集まり」がスタートする。

相手を個として認知することのとても下手な日本の文化が、同時にとても貧しいテーブルの文化しか発達させてこなかったという事実は、偶然とは思えないのである。むしろ人と人が向き合えば話は始まるのだからし、間に別にテーブルなどいらなくても言えるが、ちよつと間（ま）のとれぬ時に一服喫うタバコなど置く場所が少しあったりすると助かる。第一、コミュニケーションと言っても別に口先の言葉だけではない。御存知のように手や指の表情が大きな要素になる。それに話の中に引き合いに出される具体的な物が手もとにあつて欲しい場合だって少なくはないし、要するに手だの物だのをその上に載せてくれる平たい板が、向かい合った二人の間にあつて欲しい。こうしてテーブルという調度のできたのだからと思う。要するに人が互いに向き合つてでき始めた文化にとつて、テーブルというのは文化そのものの代名詞とも言ふべきものなだろう。

## 西欧十八世紀のサロンとクラブ

人が集まるのが何かを変えたという話をしようとするれば、西欧十八世紀をまず思い出さなわけにいかない。平安朝宮廷にも似た女権・母権の小宇宙ができて、雅びな女性パトロン（マトロン）が、面白そうという噂のある人々を集め、互いに会わせていったいわ

ゆるサロンの文化が、ひとつある。宮廷の金でそうやって大事にされた文化人たちが、ルソーとかいわゆる百科全書派の人々で、のちにそうした宮廷文化を破壊していく勢力の中心となったのだから皮肉な話である。

サロンの育たなかった英国同時代は、その代わりクラブというものをつくりあげていく。貴族たちのクラブもあって放恣というか、したい放題をやったかと思えば、例えば『ロビンソン・クルソー漂流記』で知られる小説家デフォーが情報源にしていたコーヒールハウスのような新しい人の集まり方が工夫された時代である。テーブルの周りに人が集まるという話題なら、このデフォーという人物など最重要人物かもしれない。この人は実は当時のロンドンを代表する商人、投機家で、その一方『レヴュ』などという新聞を刊行した近代ジャーナリズムの嚆矢であった人



物。要するに物や情報が動き、離合集散する近代の始まりの世相を、コーヒールハウスのテーブルでだけかれとなく向かい合うことでキヤッチした彼デフォーにとっては、人と人の集まり自体が最大の資源であり、財産であったに違いない。人ひとりでは絶対に出てこないアイデアが複数の人間が出会い、面と向かって言葉を交わし合うことで生まれてくる。

そうした人の集まりから動き出す近代が封建遺制を破壊したのが、言うまでもなく十八世紀の終わりに来たフランス革命である。フランス中から人が集まり、それぞれ異なった意見が集まって、バリをさまざまな思想の自由な市場にした。甲論乙駁、談論風発、ケンケンガクガク。まさしくああでもない、こうでもないという議論百出の中から、より普遍性のある考え方が生まれ、それが次の時代を動かしていく。

#### テーブルを囲むことの意味

おまけの面白いことがひとつあって、人ばかりか各地方の料理までがバリに集まった。長い議論のための長（なが）の逗留だから、みんなそれぞれの郷土の料理を持って来た。こうしているいろいろな料理もまた人と同様、未曾有の出会い、空前の集まりを経験した。実はフランス料理と呼ばれているものは、この時、こうして出来たという。

そういう新趣向の料理をいっぱい載せたテーブルを囲んで何人かの人間が向かい合って激論をかわしている図が想像できるだろう。豊かな食事が豊かな言葉の潤滑油になる理由は案外面白い問題になるはずだが、ともかく沢山の人間が集まり、おいしい食事やワインがあるとなると、言葉はおのずから口もとにあふれてくる。

こうして人の集まり自体をめぐる文化が洗練されていった十八世紀が家具の歴史を見ると、テーブルの発達著しく、テーブルがどんな機能分化していった時代であったのは、これも多分偶然なんかではない。

近代西欧はフランス革命の時の、人と人が向かい合って、共に飲食をし、同じ口から今度は言葉が飛び出してくる、こうした人の集まり方を、十全なコミュニケーションの理想像とする。その頃からつくられていく「家族」の観念なり、イメージなりにもそれが多分色濃く反映しているだろう。

もともとテーブルを欠いて、一人膳という他人と対面しないで空き時間に銘々がそそくさと食事をとるような日本文化が、戦後何を血迷ったか、そうした身に合わせ「家族」観念と洋式テーブルを輸入してしまったツケがはたして何だったのか。それを『家族ゲーム』という映画はズバリとついていると思う。テーブルに坐ることの意味を我々はまだまだよく知らない。

(都立大・教授・英文学／若葉町2)

安部公房さんの遺された蔵書などの整理をお手伝いする機会がありました。その際、請求書、領収書のなかに、地元商店のものもたくさんありました。商店とのお付き合いの中で、普段着の安部ご夫妻が描かれぬものか、と考えました。

商店街のなかほどにあったサンエー薬局の岡部さん（現・サンエービルのオーナー）が執筆を快く承知してくれました。

また、仙川の自宅を訪れたたくさんの人たちのうちの、数人の方の文章の抄録を掲載させていただきます。

なお、この企画のグラフィアの写真は、一人娘・真能わりさんから提供していただきました。

この間まで、この町で、中江時計店の角を曲がって自宅に向かう小型カメラをぶら下げた安部さん、桐朋学園前の道で愛車を走らせる安部さんに出会うことができました。（伊藤緯彦）

# 安部公房先生・真知夫人との

## 出会いと思ひ出

### 岡部敏夫

あれは昭和34年頃の確か春でしたか、安部さんが仙川に引越してこられてすぐのことと思いますが、なにがしかのものを求めて、私の店によられました。当時初めてのお客さんは顧客名簿を作っておりましたので、お名前をお尋ねしたところ、安部公房とのこと。

文学に余り興味のない私でも、芥川賞の前衛作家安部公房くらの名は知っておりました。これが初めてで、以来私の店の上得意さまで30有余年のお付き合いでした。今でも、あの人懐こい若かりし頃の安部さんのロイドめがねの笑顔が思い出されます。

それ以来、商売がら安部さんの奥様真知さまとのおつきあいが密となり、お宅にも参上、商売以外でもいろいろなことのご相談相手も致しました。

安部宅の土地はもと勅使河原宏さんの持ち物で、宏さんから譲られたとかで、新築されたご自宅では、安部さんの母上と、奥様、可愛いお嬢様の四人暮らでした。若くして芥川賞作家になられたとは言え、奥様は裏の台

所で風呂に薪をくべておられる庶民的な生活で、お手伝いさんもおられなかったと記憶しております。

薬のことでお尋ねになるので、「安部さんは東大の医学部ではないですか」と奥さんに言うと、「あれは駄目、でも友達によいお医者さんがいるから」と笑っていわれました。その頃から安部文学が再び話題になり、見直されてきた時期で一番油に乗っかっていて、『砂の女』の書き下ろし、テレビ・雑誌の対談、等盛んな活動期で、家庭的にも一番お幸せな時期ではなかったかと思われれます。

また安部さんは、一時カメラに凝られキャノンぶらさげてよく来店され、自分で引き出しをされるのか四ツ切りぐらいの印画紙の袋を持っておられました。自己の作品の挿絵的なものなのか或は次の作品のヒントなのか、撮られたものを見せて欲しいと言いましたが見せてもらえませんでした。

俳優座の養成所が新たに、桐朋短大の芸術科演劇専攻となり、安部さんも講師に加われたと聞き、「講座をもたれたんですか」と言



# 特集

# 安部公房



うと「いや名前だけよ」と言われました。が段々と興味をもたれ千田是也氏との交流もあり芝居に深入りされ、安部さんを取り巻く若い一団もでき、奥様は劇団との深入りに経済面で一時大変に心配されました。

奥様真知さまも女子美のご出身とかで、安部氏作演出の芝居に舞台装置などを担当され、また安部さんの本の装丁などもされ夫唱婦隨の時代とも受け取られますが、天才作家の奔放さを身近にいて舵を取られていたような気がします。よく芝居の切符をどうかと言われましたが、零細店では店を空ける訳もいかず、前衛難解な安部文学を無学な私では理解できずお断りしましたが、今思うと見ておけないで残念であったと思います。

一人娘ねりさんにとっては、どうゆう父親であったかわかりません。娘さんとお二人だけでこられたことは余り記憶がありませんが、ねりさんが日本医大に合格されたとき、わざわざ安部さんが私の店にまで来られ、何も用事がないのに、「娘が合格した」と笑顔で言っていたのは余程嬉しかったのでしよう。或は、はずした自分の道を娘が継いでくれたことが嬉しかったのでしようかネー。

「娘は早く嫁にやらねば」と奥様はよく言われ、割とお早く嫁に行かれました。その後のお二人きりでの生活では、安部さんは箱根の別宅で文筆活動に、奥様は舞台の仕事と、お互いに自分の個性を磨かれた時期ではないのでしょうか。

私どもでも、奥様より電話で昼頃日用品の

注文があり、夜お届けする頃には、いつもお留守で玄関先に置いておくくらいで、電話にてのやり取りはありましたが、奥様にも先生にも直にお目にかかることもなく、疎遠の時期がかなり続きました。

いつでしたか夜7時頃電話があり、「安部が箱根に行っており、私一人なんだけど腰痛をおこし起きられないので、申し訳ないけどお店を閉めたら来てくれない」と言われ、店を閉めてから行く部屋で横になっておられ、布団が敷けないので二階から布団を出して敷いて欲しいとのこと。医者を呼ぼうかと言うと、寝ていれば治ると言うことで布団を敷いて寝かして来ました。翌日電話をするとねりと連絡をとったから大丈夫、と元氣そうでした。

しばらくして、「安部が尿の具合がわるい」と言われ、「それは大変な病気の前兆かもしれないから、早く医者に見せないと」と申しました。暫くして「安部は多少の医学の知識があり、ブライドの高い人間だから、医者と対立して自己退院するなどどうしようもない」というような話をされたような気がします。詳細は不明でした。箱根から救急車で相模の方の病院に入院されたような話もありましたし、娘さんが日本医大でしたので丸山ワクチンも注射し始めたとの話もありましたが詳しくはわかりませんでした。

新聞で安部先生が亡くなった事を知り、葬式後暫くして、ご自宅に伺いました。二階の

安部先生の書齋に通され、夫人から「私がとったの」と安部さんのデスマスクを見せられました。あの太いメガネがないので安部さんのお顔とは思えません。また「文筆者仲間」の少ない安部に、大江健三郎さんが早



安部敏夫さんの笑顔  
「ロイドめがねの笑顔  
がなつかしく」

速駆け付けてくださった」と喜んでおられました。国内より外国で理解され評価された安部文学がノーベル賞候補にたびたびあげられていたことを考えると、後日ノーベル賞を大江健三郎さんが受けられたのも何かの因縁とも考えられます。

「安部の遺稿も有るので、これからは少しづつ整理もしないと」と意欲を示しておられました。それから間もなく別に何の持病ももたれていなかったと思われた真知夫人が不慮の死とか、新聞で知り驚きました。

あれだけの才能のある非凡な安部氏は、ま

# 安部時代の安部敏夫さんめぐり

編・伊藤陣彦

安部公房さんは、住居のある調布市若葉町一―二二―一〇の場所を、次のように書いています。

「ぼくの家は、武蔵野の高台の崖のはずれにある。庭から見おろすと、ちよつとした森の向こうに、すぐ多摩川の橋が見え、多摩の遊園地の塔などもほんのすぐそこだ。しぜん、一時間前後の気ばらしとなると、昼食ごろなら深大寺のそば、それ以外の時間なら、多摩丘陵といったのドライブということになる。

欲をだして、丘陵地帯を一周して見たところで、二時間とはかからない。言ってみれば、多摩丘陵は、わが家の裏庭のようなしごく気やすい場所なのである。

ただし、昼間は、なるべく遠慮する。とくに、日曜祭日は、ぼくなんぞの出る幕でない。ぼくににとっては、ほんの裏庭でも、旧市内に住む人々にとっては、なんとと言ってもいちばん手近な緑地帯であり、息ぬきの場所なのである。そうした目的のために、多摩テック、動物園、ゴルフ場、競馬場、釣堀、野鳥を食

た一方、一般の常識では計られないものを持つておられたことと思います。その方に永い間、連れ添われた夫人もきつと、他人に話せぬご苦労が多かったことと思います。ご苦労ゆえにホッとされ命を落とされたのか、或いは安部先生が天国でどうにもならず夫人を呼ばれたのか私には分かりませんが、先生が亡くなられて、お一人でゆっくり過ごされる時間が少しは欲しかったのではないか、と思われ残念に思います。

(元サンエー薬局店主／仙川1丁目)

べさせる店、その他、家族向きの遊園地などが、ずらりと口を開けて待ち受けている。

電車は通勤時間におとらぬ超満員だ。甲州街道も、それぞれ遊園地などの行先を書いた臨時バス、それに大小とりませた自家用車の群れで、ぎっしり埋めつくされてしまう。とくに、競馬のある日などは大変だ。最近はかなり整備されてよくなったはずの、あの甲州街道が、まるでラッシュアワーの駅の階段のようなありさまになり、十キロ以上にわたるずるずる運転も珍しくなく、いちばん早い

は自転車だということにもなりかねない。(略)①

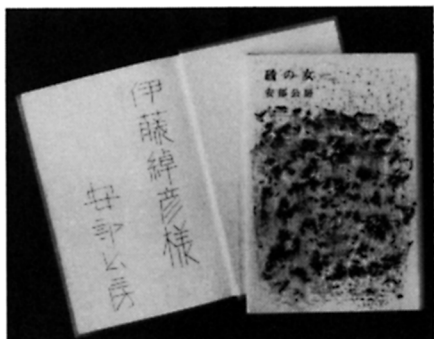
この若葉町の土地は大島土地という会社が分譲売り出しし、勅使河原宏さんが購入(当時の地番表示は北多摩郡神代町人間字滝坂二二一七六)、これを譲り受けたものです。

勅使河原さんを安部さんに引き合わせたのは岡本太郎さんで、ともに前衛芸術運動「世紀の会」に参加、ガリ版刷の『世紀群』や『世紀画集』を刊行したり、また、草月流機関誌・季刊『草月』を創刊したりの交友関係でした。②

■『砂の女』で始った親密な付き合い

——谷田昌平さん

安部さんが中野区野方から越してきたのは一九五九年(昭和三四)のことで、当時の地



番表示は調布市人間町二二一七六。この翌年の夏の終わりが、新潮社の谷田昌平さんは担当編集者として安部さんに初対面をしています。

「氏に会ったのは「純文学書き下ろし特別作品」に執筆してもらったためだった。はじめで会う少し前に『文学界』九月号に「チンデラ ヤバナ」という作品が発表されていた。昆虫採集に出かけたまま行方不明になった男を描いた短編であった。これを素材にして長編を書いてもらうことを依頼し、二年近くかかって完成されたのが『砂の女』である。「八月のある日、男が一人、行方不明になった」という「チンデラ ヤバナ」の印象的な冒頭は、『砂の女』にそのまま生かされている。

最近、安部さんが考案した脱着の簡単なタイヤ・チェーンが話題になったが、安部さんの車好きは有名である。私をはじめ会ったころ、安部さんは一時期タクシーにも使われていた、日野自動車の「ルノー4CV」という小さな車に乗っていた。何度目か新宿で会った折、氏が運転するルノーに乗って、どしゃ降り雨をつけて調布市のお宅まで行った。私はこういう現代的で、行動的な安部さんにたちまちほれこんでしまった。

翌年の暮れには私も免許をとり、安部さんの世話で中古のルノーを買った。以来、私は、車では安部さんの弟子のようで、車によって安部さんとの親近感は強まり、仕事の話で深

刻になった緊張感を楽しい車の話でときほぐしたりした。

三十六年夏には、安部さんが執筆していた軽井沢千ヶ滝西区の白木牧場とかいう所にあった貸別荘を訪ねて一晩泊めてもらった。山の中の少し開けた所にポツンと建っている家で、まだ電灯がなくて夜はランプを使っていた。ランプの灯をねらって侵入する蛾に悩まされたようだ。

『砂の女』にも砂丘の中の家でランプを使われる場面が描かれている。朝は崖を下りた所を流れる小川で顔を洗った。この川は大雨の後にはあちこちへと流れを変えるところだった。後に思い出すと、状況は違っても何か『砂の女』の雰囲気似たものを感じさせる山小屋だった。

安部さんは、レタリング風の力強い大きな字で丁寧な原稿を書かれる。しかも途中でプロットを修正するたびに、前にもどって何度も書き直すことが多い。校正刷りの段階でさらにそれを切り張りして前後を入れかえ、書き加える作業もなされる。『砂の女』では初校がズタズタになって新組みにしたりした。作品が完成するまでの苦心は大変なものだった。

この仕事が進みに入ったころには、私は安部さん直伝のルノーを運転して毎日のように調布市のお宅に原稿を受取りに行った。安部さんが仕事を終って寝る時間がだんだんずれてゆくので、原稿を受取るのも早朝から



新潮社写真提供

夜遅い時間へと移っていった。三十七年六月に出版された『砂の女』は、砂丘の穴の中に家に閉じこめられるという極限状況を通して、人間の生きる可能性を探るスリリングな異色作であり、氏の作品の新しい展開を予告するものであった。

安部さんは近作『方舟さくら丸』（注・八四年出版）の執筆前後からワープロを使い、この作の主人公が使っているようなジープに乗っている。またカメラの駆使もプロ級である。一面から言えば、そういう現代のメカニズムへの独特の関心が、氏の想像力をさらに刺激して、日本の現代文学の中では異色の、前衛的な問題作が生み出されているのだと思う。③

この『砂の女』は、出版の翌年読売文学賞を受賞、その次の東京オリンピックと新幹線開通の年に劇映画（安部公房・原作脚本、勅

使河原宏・監督）となり大ヒット、カンヌ映画祭審査員特別賞、サンフランシスコ映画祭銀賞、その他の海外での数々の賞を受賞しています。国内でも『キネマ旬報』ベストワン作品賞、監督賞、ブルーリボン作品賞、監督賞などなど、この年の映画賞を独占してしまいました。④

#### ■ 桐朋短大芸術科演劇専攻発足の頃

—— 千田是也さん他

六六年（昭和四一）、桐朋学園大学短期大学部芸術科に演劇専攻が設置され、安部さんは教授に就任しました（七七年三月退職）。劇団俳優座運営上の問題で廃止されそうな俳優養成所を、桐朋学園で設置してもらおうよう安部さんを仲立ちにして申し込んだことを、千田是也さんが書いています。

「（略）なんとか養成所だけでも残す方法はあるまいかと思ひ、安部君に相談して、音楽教育の方でいい仕事をやっている桐朋学園に当たってみることにした。お嬢さんが桐朋に通っておられた縁で講演なんかに行りだされて学長の生江義男さんにお会いしたさい、音楽の方はうまく行っているし、短大には文科もあるので、できたら将来、総合芸術大学にするつもりだと話しておられたと安部君がいうので、もしかするとうまくいくかも知れないと思って当たってみたわけであった。

仙川の安部君の家ではじめて生江さんにお会いしてこの話もちだしたのは一九六四年の秋ごろだったと思うが、この年の手帖を失

してしまったので、はっきりした日附はわからない。ともかくも生江さんという方は、教育についての新しい考えをもった人で、腹も座り、実行力もありそうに見えた。芝居も好きで、学園の先生たちと歌舞伎研究会をつくって『勸進帳』の弁慶をやったり、前進座の後援会を学園内につくったりしたこともあるらしかった。新劇の俳優教育なんかまるで見当もつかないが、まあ学園の連中とも相談しながら、ご希望に添うように努力しましょうと言ってくれたのでホッとした。（略）⑤

この後は、認可申請の書類を文部省に提出するとか大学設置審議会の調査があったりしてやっとのことで認可されることになりました。開校してから、安部さんは戯曲論・戯曲演習を担当し、また、演劇の分野だけでなくひろく各芸術分野、全文化界の先端で行く人々に話をしてもらう土曜講座（毎週一回）が設けられ、安部さんがそのプログラムの作成や講師の選択に苦労してあたりました。

このように、安部さんは演劇専攻設置の芽生えから発足に尽力したお一人で、今日の演劇専攻の基礎を築かれました。

千田さんの文章にある、桐朋通学のお嬢さんとは一人娘・ねりさんのことで、神代幼稚園から桐朋小学校に入学。演劇専攻発足の年は、中学一年生でした。

安部さんがどんな指導者だったかを、演劇専攻の学生だった岩浅豊明さん（元・桐朋短

大助教授)が追悼文として書いています。

「安部公房先生は、既に各マスコミで報道されたように、一月三日(注・九三年)午  
前七時一分に息を引き取られた。

そのお顔には、ひとつの意志を貫かれた深い安らぎと、また新しい冒険に挑もうとして  
いる青年のような若々しさが溢れていた。

初めてお目に掛かったのは演劇科が出来る  
以前、三〇年ほど前になるだろうか。芝居を  
始めたばかりの私は『城塞』の上演許可を頂  
くために仲間とお宅にうかがった。緊張しま  
くっていたのだらう、独特の語り口をなさる  
かただな……髪の毛の多いかただな……それ  
しか記憶にない。以来こんにち迄、演劇科の  
学生として、演劇人として、なにかと先生の  
ご指導を受け続けてきた。

演劇科での先生はいつも穏やかで、声を荒  
げられるようなことはけっしてなさらなかった。学生達のどんな質問にも真剣に耳を傾け  
られ、コンバや桐朋祭のときなど生江義男先  
生と共に、ウィスキーの水割りが入ったグラ  
スを片手に、にこにこしながら我々の一挙一  
動を眺めておられた。

子供のような無邪気さ、天真爛漫さ。そし  
ていったん始められたら納得するまで探求を  
続ける粘り強さ、厳しさをもっておられた。  
安部公房スタジオでの稽古中、食事どきにな  
ると「納豆蕎麦」とまっさきに注文されるの  
が常であった。「ぼくはねえ、これを食べ  
ているからねえ、だからねえ」とメンバー全員  
に笑いかけられた。

純な刻(とき)。欲も得もなく、クリエイ  
トする者として在り続ける。「きみい、それ  
はねえ……」——例の独特な——声が聞こえ  
てくる。」⑥

「安部さんは、たいへんな車好きであるら  
しい。安部さんが自宅から歩いて数分の桐朋  
学園まで、わざわざ(一般の感覚ではそう思  
うにちがいない)車を運転してこられるのを  
知ったとき、かなりの興味をかきたてられた。  
(略)」⑦

と、石沢秀二さん(元・桐朋短大教授)は  
書いています。

#### ■公房・真知邸のサロンの雰囲気の魅力

——原卓也さん

ロシア文学者の原卓也さん(東京外国語大  
学学長)は、若葉町の安部邸の客間のなんと  
楽しく心地よかったことか、と思いついて書  
いています。

「(略)ふしぎなことに、というよりは愚  
かなことに、いつ、どこで、どういうきっか  
けで安部公房・真知ご夫妻と知り合い、親し  
くお付き合いするようになったのか、はっき  
り思い出せない。

たぶん、『平家物語』を翻訳したロシアの  
日本文学研究家イリーナ・リヴォーワさん  
を安部邸にお連れしたのが最初の出会いだった  
のではないだろうか。リヴォーワさんがわた  
したちのお付き合いにかかわっていることは  
たしかで、一九六〇年代の中頃に彼女が何回

目かの日本訪問をした折、シベリア特産のマ  
ラヒート(孔雀石)の原石を持参され、それ  
を安部真知さんと、ご自分と、そして私の家  
内と三人のお揃いの指輪に仕上げた欲しいと  
頼まれたことから、はっきり言うことができ  
る。マラヒートというのは、戦後わたした  
ちの間で大ヒットしたロシア映画『石の花』  
に出てくる、緑に黒い縞の入った美しい石で、  
家内は今でもその指輪を愛用しているが、今  
やそれも数年前に亡くなったリヴォーワさん  
と、真知さんをしのぶ品となってしまった。

それにしても、気がついたらいつの間にか  
公房邸に親しく出入りするようになっていた  
というのが、いちばん正確のように思う。そ  
して、最初のころ、公房さんがなにより熱心  
にわたしにかかわってくれたのは、わたしが  
車を買うときであった。そのころわたしが乗  
っていた国産車を公房さんはさんさんけなし  
、さまざまなカタログをみずから取りよせて、



真知夫人・一人娘ねり  
・母ヨリミさん

どういう車をわたしが買うべきかを真剣に考えてくれたのである。自他ともに認めるカーマニアであった公房さんは、わたしのような素人とは異なり、車の選定にあたっては、スタイルとか、内装などより、最大トルクや最高出力といった細かな数字を比較検討するのだった。そんな時、真知さんはわきでにこにこしながら、「安部にまかせとけば大丈夫よ」と言っておられた。その結果、わたしはフィアット124・スポーツクーペを買うことになったのだが、当時二ランクほどのBMWを愛用していた公房さんは、さながら自分がセカンド・カーを買ったように満足げであった。

公房さんはそのあと、イタリーのスポーツカーの名車ランチャ、さらにそれを手放すことなくベンツのスポーツカーと美味求真の境地に深入りしてゆくのだが、新しい車を求めるたびにわたしをよびだして、同乗させてくれたものである。あれはたしか、二人乗りのランチャだったと思うが、NHKの駐車場にカッコよく乗りつけた時、珍しい外車にひきつけられて走りよってきた女の子たちが中を覗いて、「なんだ、おじさん二人か」と大きな声で言ったので、公房さんと顔を見合わせ苦笑いしたのだった。(略)

調布の安部邸を訪問するのは、洗練されたサロンの雰囲気の魅力が、わたしにとってはじめて経験するものだったからであろう。大

江健三郎さんと親しくなれたのも、公房さんの客間である。芥川比呂志、勅使河原宏さんなどの顔も見えたことがある。ただ、わたしはひたすら酒を飲むだけで、これら二十世紀日本を代表する天才たちと同席する貴重な機会に何度も恵まれながら、まじめな話をあまりしなかったことが、今になってみると、実にもったいないことに思われてならない。

もつとも、これには真知さんの責任もある。なぜなら真知さんは、こうしたサロンのクイーンであり、シェフであって、出てくる料理がいつも素晴らしくおいしく、手のこんだものばかりなので、議論などする雰囲気は生まれなかったのである。

今でも忘れないのは、真知さんみずから金串で焼いた子豚の丸焼きだ。こんがり焼けた子豚を真知さんがナイフで切り分けてくださるのだが、「原さん、どこを取ろうか」ときかれて、すでに相当出来あがっていたわたしが半ば冗談に「耳が欲しい」と答えたところ、真知さんが「あら、あなた、食通なのね、豚は耳がいちばんおいしいとされているのよ」とおっしゃって、すぱっと切ってわたしの皿に取ってくださった。耳には少し毛が残っていたけれど、こりこりと歯ごたえがよく、とてもおいしかった。

公房さんがもつばら箱根にこもるようになったこの十年ほどは、時折り真知さんと電話でおしゃべりするくらいで、お目にかかる機会はなくなっていたが、『他人の顔』、『榎



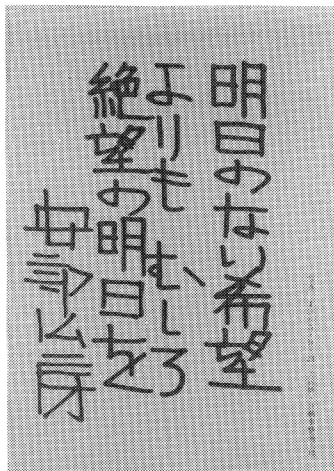
真知夫人と千田是也

本武揚』、『燃えつきた地図』などを精力的に発表していたころは、銀座あたりでよく飲んだものだった。どう見ても容貌はまったく違うはずなのに、ぼさぼさの髪型と眼鏡のせいか、「ご兄弟なの」とホステスさんにきかれることもあった。すると公房さんはまじめくさって、「うん、母親は違うんだがね」と答えたりした。いちど、公房さんが「テキーラって酒は、一杯飲んだだけで楽しくなるぞうだぜ」と言うので、親指の付け根に盛った塩をなめながら一杯、二杯と飲み干し、「楽しくないのかい」とたずね合って、さほど変わりが無いので取りやめたりした。

一九六七年、青年座が紀伊國屋ホールで上

演じた戯曲『友達』は、日本の演劇史における大きな、記念すべき出来事であろう。あれ以来、公房さんは小説よりむしろ演劇の世界にのめりこんでゆき、やがて「安部公房スタジオ」の創立に行きつくのだが、その世界での真知さんの、美術家、装置家としての活動もめざましいものだった。前衛的な、簡潔な舞台装置は、まさに公房さんの文学の神髄を的確に捉えたもので、戯曲家と舞台装置家という協力者、共同製作者といった関係を超えた独自の世界を作りだしていた。それは、お互いに相手をいちばん深いところで理解し合っている、真の批評から成り立っている世界だった。

そのころ、モスクワを訪ねて、「ソブレメンニク（現代人）」劇場や、さらに後年リュビームフの「タガンカ」劇場などを見て、社会主義リアリズムで硬直しきっていたソビエト演劇においてこれらの劇団のはたす革命的



役割を高く評価はしたものの、その一方で常に、「しかし、こんなのは日本ではもう安部公房がやっていることじゃないか」と思ったことも否定できない。公房さんが崩壊前のソ連でもっとも人気のある外国作家であったのには、それなりの理由があったのである。公房さんがなくなったあと、雑誌『新潮』の追悼文でロシアの日本文学研究者グリゴリー・チハルチシビリが書いているように、「さらさら崩れる砂の罌に捕えられた人間。その穴から初めは抜け出すことができず、後にはもう抜け出すことを望まなくなる人間。こういった人間のイメージはソビエト的現実の状況下では、非常にはつきりとした形で受け止められた」（沼野克義訳）からにはかならない。そのため、来日するロシア作家たちがいちばん会いたいと望んだのが、公房さんであった。そして、その都度それに便乗して調布のお宅にお邪魔したのであった。

晩年、公房さんは箱根、真知さんは調布を主たる仕事場にしておられたが、それでもお二人は、真知さんのご葬儀の日、読売新聞に紹介された大江健三郎さんの言葉を借りるならば、「五十年近く共同作業を続けた同志」であり、「精神の伴走者」であった。

一度しかない人生にこんな素敵なカップルと知り合う幸せに恵まれながら、なぜもっと深く、しつこく、二人の世界にとびこんでゆかなかったのかと、いまさらながら悔やまれてならない。」⑧

以上、調布市若葉町という地番表示が載っている多くの文章のうち、いくつかを取り上げてきました。安部さんの自宅の部屋に座って、あるいは仙川という土地の上で、仕事のことや仕事を離れての付き合いで、安部さんの個性的で暖かい人間味に触れ、楽しく素晴らしい交流の日々を過ごした、たくさんの人たちがいたことがわかります。

#### 〔出所〕

- ① 「多摩丘陵」（新日本名所案内）63・『週刊朝日』・六五年七月九日
- ②④ 『勅使河原宏カタログ』草月出版・八一年九月
- ③ 「安部公房——『砂の女』で始まった親密な付き合い」『回想・戦後の文学』筑摩書房・八八年四月
- ⑤ 「解說的追想・桐朋学園短大演劇コース」『千田是也演劇論集』第五巻・未来社・八三年六月
- ⑥ 「一刻——」『桐朋学園女子部学年広報』九三年三月
- ⑦ 「安部公房の異端性」第一回紀伊國屋演劇公演『棒になった男』パンフレット・六九年十一月
- ⑧ 〈追悼〉「安部公房・真知さんの思い出」『婦人公論』・九三年二月

# 安部公房略年譜

安部公房（あべ・こうぼう）日本名きみふさ）氏は一九二四年三月七日、東京生まれ。出生の翌年、父の満州医大勤務で奉天に移り、同市の小中学校を卒業、成城高校を経て四三年東京大学医学部に入

学、四八年に卒業したが、インターンを放棄して医師への道を絶った。中学時代からポーヤドストエフスキーに熱中、昆虫採集を好んだ。高校・大学では軍事教練を嫌って、ニーチェ、ハイデガー、リルケなどを読み、文学への志向を強めた。戦後、行商をしながらガリ版刷りの「無名詩集」を出版、中国体験を書いた小説「終りし道の標べに」を介して埴谷雄高氏を知る。埴谷、野間宏、佐々木基一、花田清輝氏らと「夜の会」を結成、シュールレアリスムに関心を持つ一方、マルクシズムにも接近した。五〇年に「赤い蘭」で第二次戦後文学賞、翌年「壁——S・カルマ氏の犯罪」で芥川賞を受賞、特異な才能として注目された。

五六年チェコ作家同盟の招きでプラハの作家大会に出席、その時の旅行記「東欧を行く」が日本共産党の批判を受け六二年共産党を除名されたが、「記録芸術の会」の中心メンバーとして演劇・映画

などの分野で活躍を続けた。

六二年に刊行された長編小説「砂の女」は、砂に埋もれた集落に閉じ込められた男の孤独なたたかいを描き、戦後の前衛文学の結実として高い評価を受け、第一四回読売文学賞を受賞、翻訳されてフランスの最優秀外国文学賞を受けた。その後も「他人の顔」「燃えつきた地図」「箱男」「密会」と斬新な手法で人間の疎外と自由をテーマとして長編小説を次々と発表した。

師の故石川淳氏同様、文壇とは距離を置いていたが、多くの作品が海外で翻訳され、再三、ノーベル文学賞候補となるなど、国際的な作家として高い評価を得ていた。九三年一月二二日午前七時一分、急性心不全のため東京都多摩市の日本医科大学多摩永山病院で死去した。六八才。（読売新聞九三年一月二二日付記事より）

われらの文学 7 編集 大丘重三郎 / 江藤洋 読者誌

安部公房

Kobo Abe

「文学って客観的な尺度はないからね。まず満足ってことはないんじゃないの。だからといって不満でもないんだよ。ただ疲れるよ、ひたすら」（遺作「カンガルーノート」を発表した昨年一月、本紙インタビューから）

東京都調布市にある京王線仙川駅近くの商店街で、十七年前から店を開く喫茶店主が語る。

「桐朋学園が近いから、音楽や演劇の関係者が結構たくさん見えるんですよ。でも安部先生は一度も見かけなかったですね。会った

## 葬送



かもしれないけど、気がつかなかったのか。二百日に急性心不全のため六十八歳で亡くなった芥川賞作家、安部公房さんの自宅は、ここから徒歩で十分ほどの距離にある。

石段を上り、玄関から右に回り込んで中庭へ。そこに面した応接間に青いマットが敷かれ、簡素な祭壇になっている。

上り切ったところでカーネーションの花を受け取り、安部さんの棺の前に献花。約百五十人の参列者は三々五々集まり、黙々と花をささげた。

説明を受けても大半の人は、慣れないことで困惑の表情を浮かべる。棺の前にひざまずいて手を合わせる人もあれば、立ったまま黙礼する人も。

前日の通夜までは、棺さえ用いなかった。完全な無宗教で、生前は自ら他者の葬儀に出席することも極めてまれだったという。

作品は世界各国でも翻訳された。「砂の女」は昭和四十三年にフランスの最優秀外国文学賞を受け、自ら脚本を手掛けた同名の映画はカンヌ映画祭で審査員特別賞に輝いた。ノーベル文学賞の候補に度々名前が挙がり、昨年十一月は受賞を期待した取材陣が自宅を取り巻いたが、「またですか」と言葉少なだった。

「故人は形式的なものを好まない性格でしたので、このような簡素な葬儀にいたしました」

娘婿で医師の眞龍純一さんが出棺の際、説明した。盛大な葬儀では安部さんが疲れるからだろう。安らかな旅立ち。そして街にはひとしきり冷たい雨が降った。

（小林伸行）

（産経新聞九三年一月二六日）

作家 安部公房氏 (25日 東京都調布市の自宅)

あ、あの街、この街、みなさんのしばしんです。

● 地元のおひとりおひとりとの長いおつきあいをたいせつに、

明るい窓口でご奉仕を——これがしばしんの合言葉です。

しあわせ、一歩一歩

**芝信用金庫**

仙川支店 ☎3308-8171

182 調布市仙川町2-21-10

マイホームづくりをお手伝い

**ハートの  
住宅ローン**

住宅リフォームローン

心のふれあいを大切にします



● **第一勧業銀行**

● 調布仙川支店

東京都調布市仙川町3-1

☎03(3300)3333

「普通」より有利、  
「定期」より自由。

**ナイスアカウント  
(貯蓄預金)**

◎貯める、◎ふやす、◎借りる、  
を通帳一冊にパック。



三菱のスーパーパック  
お申し込みは窓口へ。

心のかよう結びつき  
—Linkage—

仙川支店  
〒182 調布市仙川町1-18-37  
TEL(03)53313411  
三菱銀行

みなさまの街の

**豊相和銀行** 仙川支店

お気軽にご相談ください

☎03(3308)7331(代)

地元と共に発展する

**信永楽信用金庫** 仙川支店

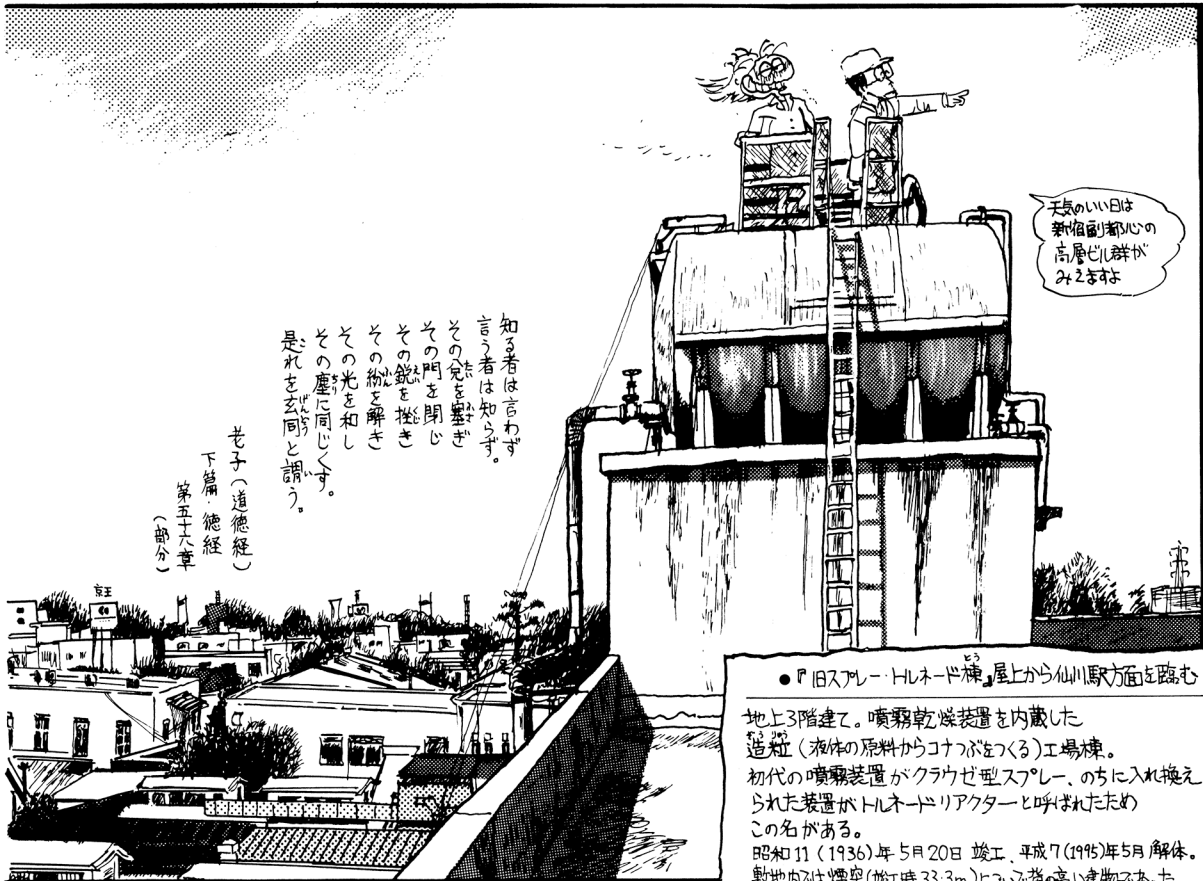
お気軽にご相談ください

永楽しんきんの便利な機能をご利用下さい。

- 融資・住宅ローン・カードローン
- 個人ローン・スピードローン
- 夜間金庫・集会室・貸金庫

調布市仙川町1-15-1 各種ご預金のお取扱もいたしております。

☎3326-7001



天気の良い日は  
新宿副都心の  
高層ビル群が  
みえますよ

知る者は言わず  
言ふ者は知らず。  
その光を鑑み  
その門を閉じ  
その鏡を挫き  
その紛を解き  
その光を和し  
その塵に同じくす。  
是れを玄同と謂う。

老子(道德経)  
下篇・徳経  
第五十六章  
(部分)

●『旧スアレー・ホルネード棟』屋上から仙川駅方面を臨む

地上3階建て。噴霧乾燥装置を内蔵した  
造粒(液体の原料からコナつぶをつくる)工場棟。  
初代の噴霧装置がクラウド型スプレー、のちに入れ換え  
られた装置がトルネードリアクターと呼ばれたため  
この名がある。  
昭和11(1936)年5月20日竣工、平成7(1995)年5月解体。  
敷地内では煙突(竣工時33m)に九ひで背の高い建物であった。

銀座和光  
和光大学  
和光証券  
和光市なり  
この世にいます  
が?

本社の開通会社  
三協乳業(株)  
光和(株)  
株日本小池医事  
出版社  
和光運輸(株)

ワロレに備は  
なま方もあつた  
なまはつた  
なまはつた  
なまはつた  
なまはつた  
なまはつた  
なまはつた  
なまはつた

取り壊し間近な聖地的存在、ホル  
ネード棟にのぼせて下つた総務課の  
白原匡仁さん。

『光を和す』つまりはギラギラしないでいる  
態度こそ最も美しい在りかたであると説き、  
競争社会の殺伐とした権柄への批判も込めら  
れているとも言われるこの文章から  
『和光同塵』という処世訓が生まれた。  
この言葉は、四世紀後半に中国で經典の注釈にも  
用いられ、以後、仏教用語にもなっている。  
また日本人にもウケがいらいしく、

各所で団体名に  
使われているので、和光堂はいくらと  
カン違いされることも多いらしい。

ゆはな  
サアと遊んで  
風呂敷をたたき  
ワケなまろう  
ナマの  
上野御蔵  
ナマの  
ナマの  
ナマの  
ナマの  
ナマの

ホルネード棟の  
中庭に咲いて  
いる花(白原匡仁)

# 和光堂 (株) 東京工場を

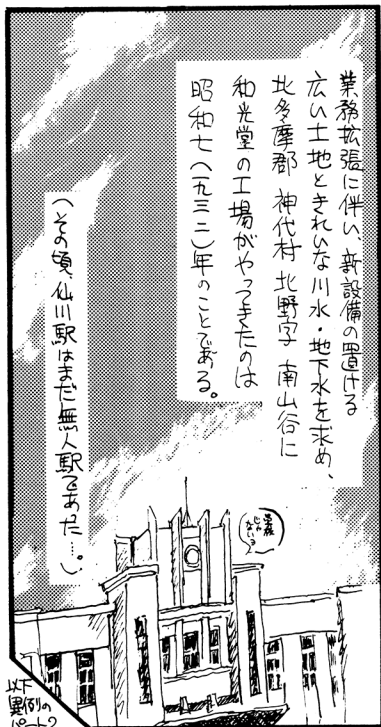
描くの記



中島 りえ

Nakajima Rie

1995年7月27日



業務拡張に伴い、新設備の調出し。  
広い土地ときれいな川水・地下水を求め、  
北多摩郡 神代村 北野字 南山谷に  
和光堂の工場がよこされたのは  
昭和十七(一九三三)年のことである。

(とろろ) 心川駅はまだ無人駅なんだ。

以下異例の10-12に77!! 和光堂の建築デザインを語る。

明治三九(一九二六)年五月、  
東京は神田区美土代町(当時)に  
『和光堂製菓局』が開設される。  
開設したのは、  
自腹でロイヤル  
へ渡り、  
スライム、  
大塚製薬  
小尾科を  
学ぶ、帝大医科  
大学の日本初の  
小児科講義士(小児科)の  
弘田長(安政)と、昭和三年、さて  
何年か経たず(一九三三)年、  
(実際に経営に当たったのは長男)

ドイツの優良な乳用甲殻品  
(人工栄養品)の輸入販売  
を行ない、製造販売の中心は

四重半の小座敷の乳鉢を  
使った「シカロール」(SICCAROL)と、  
「勢子」(セシ子)の作りから多トビ。  
氏士の刀職がたてたのが、  
知方(弘田)と帝大薬学教授、  
丹波敬三(一九三三)年の  
品質は折紙で  
あった。が、  
この頃は多トビ  
赤いシカロール  
人々を魅了した  
か、市販上は多トビ  
やがて大正三年の対独宣戦  
により輸入の途が断れた。  
もうこうなると閉店を  
しかし、  
閉店の開始未分議に  
ほとんど養育を承けた  
大賀強二(とう)人物(初代社長)が、  
あなたか再建に意欲的  
になつてまい、(いつかは)  
大正七年に(株)和光堂を創業。

最初のシカロールのデザイン。  
女性の髪形は時代によって変化(一〜昭和33年)。

# 中国と友好交流三十年

## 福井肇さんの歩み

緑ヶ丘都営団地の一室で、私は福井肇さんと会いました。日中友好の架け橋をかける人として、その名を多くの人々に知られています。一見どこにもいるような普通の人ですが、都営住宅の一室を拠点として、日中友好の活動を三十年以上もやり続けてきました。

「日中友好協会」というのは各界有志による超党派の組織で、一九五〇年十月正式に結成されました。以来日中両国政府間の不正常な関係にもかかわらず、文化・経済交流を続け、日本国民の間に日中友好の種を播き続けてきました。しかも、これは完全な民間組織、ボランティアです。

「どうして調布で友好協会をつくりたいと思われたのですか」と聞いたら、福井さんが、ここ仙川に引越してきたのが、一つのきっかけだったそうです。

一九六三年緑ヶ丘団地ができ、都内各地から一千二百戸ぐらいの住民が引越してきました。福井さんもその中の一人です。当時団地の生活は不便なところが多く、住民たちは生活を改善・向上するために団地自治会をつくりました。福井さんは皆と自治会をつくっていくのと併行して、この仙川を拠点として日中友好運動を展開し、日中友

好協会をつくろうと考えました。

その当時戦争が終わって二十年、日本政府はアメリカの「中国封じこめ」政策に追随し、一般人々も「新中国」を敬遠していた時代です。でも「どんな風波が立っても、日本民族と中華民族は仲良くしなければいけない。自分の手で友好の道を拓いていこう」と決意した福井さんは、昼間仕事して、夜・休日を利用して、何人かの仲間と一緒に知人・友人を通し、調布・狛江地域を回って日中友好の重要性を訴えて、理解を求めて歩く日々でした。何としてでもという気持ちが強くて、人と会う度にすぐに協会の話を持ち出したようです。もちろん理解してくれた人々も多かったのですが、その情熱を理解できない人からは「中国気違い」と言われました。

「日中両国のための正しい道だから、何を言われても構わない」という信念に支えられて、福井さんは何カ月も走り回って、一九六三年末について二百八十人あまりの賛同者を集め、「日中友好協会調布・狛江支部」を設立しました。当時都内には協会の支部がいくつもありましたが、京王線沿線の多摩地区では初めてでした。

会員は皆思い思いの気持ちで参加してこられたのですが、大体次の三種類の人によって構成され

ていました。

① 中国文化は日本文化の故郷だと思う人。この中には文化人の方を多く含んでいます。中国文化のおかげで、今日の日本文化の基礎ができあがったのであって、その文化の故郷が敵にされるなんておかしいと思う人々で、会員の三分の一を占めています。

② 第二次世界大戦中、兵隊や仕事で中国に渡って「御迷惑」をかけたと思って、その戦争を反省して「昔は日ノ丸をかけて悪いことをしたが、これからは日中友好の旗を持って中国へ行く」と思っている人が参加してきました。

③ 共産党政権下の新中国はどんな「新時代の幕あけ」となるか、社会主義体制はどう発展していくのだろうか、中国のことに深い関心と興味を持っている人達です。

日中友好協会の活動がスタートしました。会員たちは週一回集まって勉強会を開き、手に入れた中国に関する最新情報を交換して、たまにピラやチラシの形で協会の主旨、日中友好の重要性を呼びかけていくこともありました。

そんなある日、ポスターを貼っていた若者が警察に連行されてしまいました。その時、福井さんは警察に行つて事情を説明して、「私が全責任を持つから、罰するなら私を罰して下さい……」と若い人たちをかわばい続けていたとのことでした……（当時日本政府は、共産党・社会主義の中国が危ない国である、という宣伝一色の時代でした。だから警察に連行されても、おかしな事だとは思っていません）

また協会のメンバーと中国を訪れて、現地の状況をこの目で見て友好交流を重ねました。この調布・仙川地区からも、協会の訪中団に参加して、数十人の人が訪中したそうです。

「何回も中国を訪問して、政府の要人や文化人の方々とたくさんお会いしましたが、一番印象に残っているのは、故周恩来総理と会った時でした。一九六五年『三千人青年友好交流』の際、私は、ちょうど地方議員やジャーナリストら二五人の代表団をつれて、北京の人民大会堂で周総理とお会いし、とても感動しました。」と福井さんは懐かしそうに述べられました。

協会は民間のルートを通して、いろいろな友好交流をやっていましたが、六〇年代の日本政府はまだ中国への敵視政策をとっていました。例えば『三千人青年友好交流』の際も、旅券をとるために何回も外務省に押しかけましたが、「日本の青年を一遍に中国に送り出して、暴動でも起こされ



たらどうする」と言われました。今では笑い話みたいですが、当時はそんな状態だったそうです。

福井さんは協会以外に、自分で経営している「青年出版社」を通して、『中国青年英雄伝』、『日中友好運動史』など中国の政治・経済・文化あらゆる分野の書籍を日本に紹介・出版してきました。特に『青春の歌』という本は二十万部を越えた発行部数で、当時のベストセラーになりました

以上の活動以外に、調布を中心に中国語講座を二六年、太極拳の会を十数年間もやってきました。中国語講座を受ける人は年々増えて、とても評判がよく、今ではわざわざ都内や青梅の方から来る生徒もいます。太極拳の会は現在では一つの独立団体となり活躍しています。何年前か、西安の国際太極拳大会で入賞した女性も、この講座の生徒の一人でした。

現在、この「調布・狛江友好協会」に登録している会員は八十人程います。中国から来る留学生たちと交流したり、しばしば「餃子の会」をやったり、特に調布の駅前で春、秋二回行われている「調布大中国展」は大変な人気を呼んでいます……。

協会の活動を通して、たくさんの人たちが中国のことに興味・関心を持つという事は福井さんには何よりの嬉しいことです。

日中友好について、戦後二十数年間にいろいろなことがありました。それは日中友好協会を中心にした友好と、その他の非友好との長い戦いの道

でした。そしてようやく一九七二年に歴史的な瞬間を迎えたのです。田中首相の中国訪問、そして『日中共同声明』の発表。そのニュースを聞いた時「その喜びは、とても言葉では表現できない程でした。私たちの苦勞は、やっと実を結んだのです。……」

「水を飲む時、井戸を掘った人のことを忘れなさい。今年はずうど戦後五十周年です。私たち一人の人間が日中友好を考えるというのは、本当に小さなことですけど、普段の生活の中でそういう感情を育て広げていけば、すごく大きな力になります。中国は十二億人、日本は一億二千万人、両国の人口を合わせると世界全人口の四分の一を占めています。過去の戦争は両国の国民に多若い世代にとって戦争は遠い昔のことですが、福井さんみたいな人々のお陰で、今のよう好きなことができる時代が拓かれたことを、しみじみと感じております。

「どうして、こんなに辛抱強く日中友好のことをやり続けてきたのか」と、その理由をお聞きしてみました。

大な被害を持たりましたが、今後日中両国は仲良くしなければいけないと思う人は多い。日本と中国に戦争が起これなければ、東南アジアやアジア全体に至るまで大きな戦争は起これない。そして世界の平和は守られる……と。

淡々とした口調で述べる福井さんのこんな素直な気持ち、三十年余り日中友好の種を播き続けてこられた源泉なのでしょう。（聞き手 劉雲）

Plaza Gallery

# プラザ・ギャラリー

〒182 東京都調布市仙川町1-25-2-107  
(仙川アヴェニュー内)

10:00am~6:30pm (水曜定休)

phone 03-3300-1010 facsimile 03-3305-7491

丹波路 山路の露 栗ようかん

笹子見し幸巻餅の柔ら幸 汀女

御菓子司

# 光輪堂

木曜定休

若葉町 2-14-5 (和光堂横)

☎ 3308-1455



月星 特約店

UC・JCB・VISA・MC

# 靴の明治屋

仙川商店街中程

☎ 3300-1067

オーディオ&ビデオ ナショナルショップ

あなたの街のあなたのお店

# サトウデンキ

仙川商店街中程

☎ 3300-5016

## おいしいお茶と海苔の専門店

● 都内無料宅配 (含む三多摩地域)

● 地方発送承ります

お茶と海苔 仙川商店街中央・藤屋ビル1F  
☎ 3307 7288

# 金山利正

MAXFACTOR

カネボウ化粧品  
ソフィーナ

エンケル 黄膚液

はいはいかしくん  
恵命我神散  
くすり

仙川商店街中央

☎ 3300-4660

# 広田薬局

MUSIC SHOP  
MSF FUKUHARA  
TEL 03-3300-1936

音楽の街仙川に30年!

桐朋学園仙川駅入口バス停前

資生堂・コセー・アルビオン

# りきや化粧品店

仙川駅前 中央商店街

TEL (3300) 8024

ファッションガード (特殊撥水)  
ソフトな仕上り!



三愛ドライ

クリーニング

日・祭日営業 ☎ 3300-6763

仙川町 1-33

(若葉町 2丁目交差点際)

ミセスの装い

Kasumi

おしゃれのみせカスミ

〒182 調布市仙川町 1-13-9 ☎ 3300-6768

<p>生活雑貨</p> <p><b>イトウ</b></p> <p>仙川町1-11-10 ☎3300-1764</p>	<p>ホビーショップ(手作り 手染め)</p> <p><b>染たんぽぽ</b> 染直し預ります (ウール・ポリエステルは除く)</p> <p>仙川駅前 ☎3308-4637</p>
<p>JEAN'S FAMILY</p> <p><b>澤野工門</b></p> <p>RIKUEMON</p> <p>商店街中程 ☎3326-2282</p>	<p>あなたのまちの郵便局</p> <p><b>調布仙川郵便局</b></p> <p>☎3300-3001</p>
<p>カット&amp;パーマ 着付</p> <p>おしゃれサロン <b>真珠</b></p> <p>若葉町1-28-20(東部公民館斜め前) ☎3309-2180</p>	<p>15年たちました。コーヒーやお酒を飲みながら 喫茶&amp;スナック 夢を語ろう</p> <p><b>まり</b></p> <p>10:00~24:00 商店街中央 日曜定休 ☎3309-6384</p>
<p>紳士洋品専門店</p> <p><b>メンズ・ツカモト</b></p> <p>仙川商店街中程 ☎3300-6707</p>	<p>メガネ・トケイ・宝石</p> <p><b>ナカエ</b></p> <p>仙川町1-11-17 ☎3300-0667</p>
<p>美容室</p> <p><b>広徳</b></p> <p>仙川駅前 火曜定休 10時~20時 ☎5384-4736</p>	<p>自家製煮物漬物 新鮮塩乾物</p> <p><b>アキヤマ</b></p> <p>仙川商店街中程 ☎3300-6803</p>
<p>自然食品の店</p> <p>元気な野菜たちがいっぱい! せいで一度 御来店</p> <p><b>ほうすいたん</b></p> <p>海客野馬場前 仙川町1-9-61 TEL3326-2356</p> 	<p>味よし、ボリュームあり、安い</p> <p>ちゃんこ鍋 <b>桃乃義</b></p> <p>神代書店2F ☎3326-8047</p>
<p>🍵 甘味処 <b>みつや</b> 🍵</p> <p>調布市仙川町1-11-1 TEL 3307-7683</p>	<p>小鳥・熱帯魚・金魚・小動物 趣味の切手</p> <p><b>いずみ園</b></p> <p>仙川町1-21-26 第3ウェストマンションビル ☎3307-3926</p> 
<p>2000円よりコース承ります。</p> <p>くつろぎの里 <b>左や</b> 仙川店</p> <p>☎5384-1813</p>	<p>SSストアー 近江牛・豚・地鶏・ハム</p> <p><b>佐藤精肉店</b></p> <p>仙川駅前通り ☎3300-6625</p>
<p>BOUTIQUE <b>Stephanie</b></p> <p>ステファニー OPEN 10:30 - CLOSED 21:00</p> <p>〒182 東京都調布市仙川町1-8-1 サンモールT. TEL 03-3307-4811</p>	<p>有限会社 唄える居酒屋</p> <p><b>SHINKAWA</b></p> <p>代表取締役 新川 裕</p> <p>仙川町1-16-27 ☎3308-0617</p>

## オカリナとの出会い

私が初めてこの仙川の街に来たのは、もう十四年も前のこと。当時、桐朋学園への通学路に二ワトリが羽いて毎朝決まった時間に散歩していました(通学路は甲州街道)。その二ワトリに会うことを早起きの励みとしていました。

商店街も暖かみのある店が多く活気に満ち、今も変わらぬ雰囲気です。『ハーモニータウン仙川』という名が付き、桐朋学園への商店街のBGMはクラシックになり、仙川スタンブも楽器をデザインしたものになり、街全体がクラシカルな色に染まりつつあります。

ただ最初の頃は出身校だけに少々むずかゆさがありました。表面上だけにとどまらず、街中の人々がクラシックにより親しみを感じ、ふれ合えるようなイベントもある事を知り、益々愛着が沸くのを感じました。

時々住宅街でピアノ、ヴァイオリンの音が聴こえて来ます。おばあさんがそこに立っていて、「いいねえ。」とお孫さんに話しかけていました。ついつい微笑んでしまったのですが、殺伐とした世の中なのに仙川は捨てたものではないなあと思います。

クラシックに限らず、音楽は人の心を豊かにします。仙川に犯罪のにおいが無いのは、街の人々が音楽を受け入れ、欲するような心持ちだからなのです。

最近、音楽を聴くのが大好きで、何か楽器をしたい、という人が増えつつあります。でも、もう遅い、小学生の時から苦手だった。楽器は高いからちょっと……、などいろいろ理由であきらめている方も多いのですが、

今回はその方々に手軽に楽しんで頂ける楽器「オカリナ」をご紹介します。

御存じですか? 「宗次郎」さんが吹いている楽器であり、アニメ「となりのトトロ」にもオカリナが出てきます。「何だ、おもしろくないかー」と思われた方、ところがどうして立派な楽器なのです。実は、私もオカリナを馬鹿にしていた一人で、小学生の時、プラスチック製のものを教材で与えられ、おもしろいと思いついていました。本物は土で出来ており、音も全然違うのです。



本物のオカリナと接したのは二年前でした。

小学生にいろいろな笛を吹いて聴かせる「音楽鑑賞会」での演奏の仕事をはじめた時の事です。仲間の奏者が吹くオカリナの音色に魅せられ、とうとう自分も本物を手に入れましたが、どういう訳か、オカリナのサークルを指導する機会に恵まれました。メンバーは二十人位で大半は主婦です。そこでは全員が笠間焼のオカリナを吹きます。値段は5千円位です。元はそのオカリナ製作者である平本孝雄先生が指導者でした。今ではより製作に専

念され、多くの素晴らしいオカリナを生み出されています。

そのオカリナは、真っ黒な素焼きで、吹けば吹くほど表面につやが出て、音色も変わっていき、まるで生き物の様です。音も素朴で暖かく、まるで魂が洗われる様です。オカリナは発祥がイタリアの北部ですが、実は日本も、弥生時代に埴(ケン)と言われる似た土笛が存在していました。私たち日本人の血の中に遠い記憶として残っているのでしょうか。何か体が呼び覚まされる感覚です。

サークルは合奏が主で、音域が1オクターブ半くらいとせまいオカリナですが、大小合わせて六種類合わせると、また違った楽しみが出てきます。一人一人個性の違うもの、同志が集まり何か大きなものを作る喜びは、一人で吹くより以上に大きいものです。

仙川にもこの様なサークルが出来るのかなと思っています。音域がせまくて、出来る曲に限られてしまうので、私は、オカリナで色々吹ける曲に編曲しています。いずれはオリジナルも書いていきたいと思えます。

オカリナは趣味のほんの一例にすぎませんが、どんな小さな事でも心のよりどころは見つかるはず。ただ、一人より二人、二人より三人、お互いを尊重し合うならば、立派なハーモニーが奏でられる事でしょう。街のあちこちでそんな光景が見られた時、聴こえた時、もうワンランク上のハーモニータウン仙川としてより深く愛せる街となることを願う、何か役に立てればと思う日々であります。

(仙川二丁目)

□桐朋学園平成7年公演ご案内□

●音楽部門主催演奏会の日程表

- 7月7日 子供のための音楽教室”演奏会  
日本都市センターホール
- 9月28日 オークストラ演奏会 草月ホール  
指揮 原田幸一郎
- 9月29日 オークストラ演奏会 福井県クレ  
イホール 指揮 原田幸一郎
- 9月28日 デンマーク王立音楽院・桐朋交流  
コンサート
- 10月7日 デンマーク王立音楽院・桐朋交流  
コンサート
- 10月5日 デンマーク王立音楽院・桐朋交流  
コンサート
- 10月7日 オークストラ演奏会 印西町文化  
ホール(千葉県) 指揮原田幸一郎
- 10月9日 デンマーク王立音楽院・桐朋交流  
コンサート
- 10月31日 府中の森芸術劇場ウィーンホール  
日本工業倶楽部ファミリ  
コンサート 日本工業倶楽部
- 11月8日 オークストラ演奏会(女子部主催)  
調布グリーンホール
- 11月25日 パーカッションの夕べ  
調布グリーンホール
- 12月1日 独唱と合唱の夕べ 府中の森芸術  
劇場ウィーンホール
- 12月7日 オークストラ演奏会  
調布グリーンホール 外人指揮
- 12月17日 子供のための音楽教室”演奏会  
日本都市センターホール

☎3073-4101(代)

●演劇・演奏会の日程表

- 7月1日 芸術科演劇専攻2年試演会  
2日 「異説 津軽あいや節」  
作・指導/岡安 伸治
- 7月8日 芸術科演劇専攻2年試演会  
9日 「ジプシー 千の輪の切り株の上  
の物語」 作/横内 謙介  
指導/富田 稔英
- 7月15日 専攻科演劇専攻1年試演会
- 9月14日 芸術科演劇専攻2年実技発表会  
16日 第51回学内演奏会
- 9月21日 桐朋学園大学短期大学部 桐朋祭
- 10月7日 定期演奏会 「器楽の夕べ」  
調布市民文化プラザ
- 10月8日 定期演奏会 「声楽の夕べ」  
調布市民文化プラザ
- 11月10日 専攻科演劇専攻1年試演会
- 11月22日 定期演奏会 「器楽の夕べ」  
調布市民文化プラザ
- 11月25日 専攻科演劇専攻1年試演会
- 12月2日 芸術科演劇専攻2年試演会
- 12月3日 芸術科演劇専攻2年試演会
- 12月9日 専攻科演劇専攻2年実技発表会
- 12月10日 専攻科演劇専攻2年実技発表会
- 12月21日 専攻科演劇専攻2年実技発表会

☎3300-2111(代)

※会場の表記のないものは桐朋学園内で行います。詳しい内容・時間については日程が近づいたら本学にお問い合わせ下さい。

プラザ・ギャラリー企画展スケジュール (1995年下半期)

8月 8/5~8/29	7周年企画ファイナル 中島 興 (ビデオ) 田村彰英 (写真)	8/5ビアパーティー (招待者のみ) R. D. アーキテクト・板屋 緑 (建築)
9月 9/15 ~9/26	三浦利文 (シルクスクリーン) オープニングパーティ 9/15	常設展 (9/前~9/26)
10月 9/30~10/29	キブシ オープニングパーティ9/30	松川 實
11月 11/4~11/28	坂田二郎 勢村謙太 鈴木秀ヲ (写真) オープニングパーティ11/4	
12月 12/2~12/8 12/2~12/26	久万可称 オープニングパーティ	ライトアート

# モール



このページは商店と企業の皆様にかかれた伝言欄です。事務的なお知らせからちょっと工夫した生活情報まで幅広く活用され、とにかく気になるページに育つのが楽しみです。

## オープン

▼「ハイッよろこんで」の「庄や」が仙川にOPEN!  
 歓迎会5名×113名迄承ります。ふる里に帰ったつもりでゆっくりおくらぎ下さい。

庄や仙川店

☎5384・1813

▼Stephanie 3月日OPENしてはや五カ月! ステファニーは洗練されたブライベートなカジュアルステージを提案します。8月末までサマーセール中。

ステファニー仙川店

☎3307・4811

▼サンモール薬局オープン致しました

くすり、アトピー用品、各医院処方箋調剤を承ります。

☎3307・7708

## サマーバーゲン

▼8月中旬まで開催中

・子供服 いながわ  
 ・婦人服 伊奈河

☎3308・1931

・ブティック 伊奈河

(50% OFF)

☎3309・5454

・ブティック たげ屋

☎3305・0838

▼8月20日まで開催中

・ブティック ehime

▼8月末まで開催中

・メンズ ツカモト

(キングサイズが豊富)

・子供服 リトル・ギャル

(30~50% OFF)

・アダルトハウス キクヤ

・ミセスブティック キクヤ

(30~50% OFF)

・ブティック QUEEN

(50% OFF)

・ミセスのおしゃれ カシミ

・ブティック CHEVAL

## メッセージ

▼事務、助手、看護婦のパート

・アルバイト・正職員募集中。

勤務時間は午前9時半~12時半、

午後2時半~7時です。担当竹

田まで。 仙川耳鼻咽喉科

☎5313・3281

▼ランジェリー、ネイルアート、

ケア、お手軽価格、ショーツも

3枚980円。 あみな

☎5313・2523

▼二代目、しもへい” おかげ

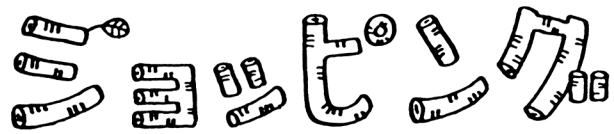
# まちニヤ・ショップ・カタログ



広告掲載店INDEX

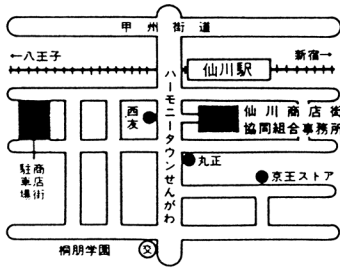
## ●着る

アマナ	60	一平	60
いしとび	14	一富士	16
いながわ	62	磯春	14
上原屋染物店	16	家族庵	23
ehime	4	こしじ	16
カシミ	54	三進	23
キクヤ	5	庄や	55
ステファニー	55	Sea	28
QUEEN	15	SHINKAWA	55
三愛ドライクリーニング	54	仙川寿司	15
CHEVAL	23	チャティー・ずう	15
たんぼぼ	55	とんかつ仙川	15
富士屋染物店	15	なみはな	23
メンズ・ツカモト	55	スナック ポケット	28
靴の明治屋	54	まや徳	60
陸右エ門	55	まり	55
●飾る		萬来軒	16
カットサロンたけし	23	みつや	55
玄徳	55	桃乃花	55
パール・シルバー	28	よしきり	23
真珠	55	山小屋	2
ヒロ美容室	28	●買う	
堀内多賀子美容室	15	アキヤマ	55
●飲む・食べる		イトウ	55
Anchor Here	60	いずみ園	55
伊那	15	植松種苗緑化	62



## 夏だ！祭りだ！ おらほせんがわ

7月31日(月)  
8月1日(火) 乞ご期待！  
2日(水)  
3日(木)



▼夏の早朝の読書に安部公房作品を！ 豊富にコーナー特設。

☎33308・7264

☎3331・7100

東京博禮社

様で一周年！！  
かあちゃんとい人の息子でガンバツテいます。場所は移り市川歯科ならび。鳥焼専門！大手羽スズメ、軟骨、豚足も。特製チヂミ好評。とびつきり辛口の、雪の松島”で一献！！

焼鳥 しもへい

▼話題の、海藻減肥香貝”を八月より新発売！！

中国女子体操隊専用産品の瘦せる石鹸・かいそうげんびこうを貴女のスリミング・アイテムに。一個特価1200円(定価二千円) 個数制限あり。a z i





古書めぐりにお立ち寄り下さい。

訪文堂書店

☎33308・6455

▼続々と報告される海外や国内での事故！ 多くの皆様のお役に立っている「冠婚葬祭共済」の特約の追加をおすすめします。5カ年間わずか6千円の追加金で葬儀料の大幅割引特典が附加されます。《航空機・船舶事故・震災・水害事故等で亡くなられた時……5割引》あつてはならないことですが、万一の時の備えを、万全に準備されるようおすすめ申し上げます。

玉晶堂……………	54	TECHNICA……………	2
光輪堂……………	54	プラザ・ギャラリー……………	54
佐藤精肉店……………	55	訪文堂書店……………	23
サトウデンキ……………	54	M&M……………	60
鍋屋齋藤米店……………	16	●習う・創る・遊ぶ	
しみずや……………	60	英修塾……………	16
鈴仙……………	60	キーストン倶楽部……………	2
青香園……………	60	モード・もりや洋裁研究所……………	60
セブン・イレブン調布仙川店……………	14	motte……………	23
手島米店……………	62	なかや本店……………	62
ナカエ……………	55	ハクビ京都きもの学院仙川教室……………	15
はせがわ青果……………	16	コトブキ……………	28
藤屋……………	G 1	●からだ	
ほうすいえん……………	55	飯田医院……………	14
丸正食品仙川駅前店……………	2	イチカワ歯科……………	23
ヤナバ電機商会……………	60	大塚矯正歯科医院……………	表 2
山利屋……………	54	栗山接骨院……………	16
りきや化粧品店……………	54	サンモール薬局……………	23
●備える		仙川耳鼻咽喉科……………	37
永楽信用金庫……………	49	仙川獣医科病院……………	16
芝信用金庫……………	49	仙川腰痛センター……………	60
東京相和銀行……………	49	広田薬局……………	54
調布仙川郵便局……………	55	田村耳鼻咽喉科……………	16
第一勧業銀行……………	49	仲島医院……………	37
東京博禮社……………	G 1	和光堂……………	表 2
三菱銀行……………	49	●住まう・くるま	
むさしや質店……………	15	伊藤企画……………	28
●見る・読む・聴く		グローバル設計……………	表 3
ASA仙川……………	2	仙川月極有料駐車場……………	62
サンライズ現像所……………	14	フェリカ インテリア……………	37
神代書店……………	表 3	やさま畳店……………	37
聖教新聞……………	15	多摩ポデー整備……………	37
東国書林……………	28	渡辺建設株式会社……………	62
フクハラ……………	54	—数字は掲載頁です	

<p>あなたの街の電気店</p> <h2>ヤナバ電機商会</h2> <p>若葉町2-24-19 ☎ 3307-3182</p>	<p>フルーツショップ</p>  <h2>しみずや</h2> <p>仙川駅前 ☎ 3308-5177</p>
<p>たべてみんしゃい、うまいけん</p> <p>広島風 お好み焼</p>  <p>MAYATOKU 京王ストア駐車場東側 ☎ 3326-3455</p>	<p>Anchor Here</p> <p>AND COIL UP YOUR ROPES SINCE 1977</p>  <p>ICHIKAWA BLDG. 1F 1-12 SENKAWA-CHO CHOFU-SHI TOKYO TEL (03)3307-2611</p>
<p>食事と酒処</p> <h2>一平</h2> <p>午後5時～深夜1時 日曜定休</p> <p>仙川駅線路際 ☎ 3300-2879</p>	<p>ネイルサロン</p> <h2>あみな</h2> <p>くまがや 2F ☎ 5313-2523</p>
<p>洋裁・立体裁断</p> <h2>モード・もりや洋裁研究所</h2> <p>給田4-14-11 ☎ 3309-5654</p>	<p>腰痛 肩こり カイロプラティック療法</p> <h2>+仙川腰痛センター</h2> <p>&lt;受付時間・予約制&gt; 午前9:00～12:00 ☎ 5384-6686 (休診日 月曜、祭日) 午後2:00～7:00</p>
<p>Bourbon Cocktails &amp; Foods</p> <p>RESTAURANT &amp; BAR</p>  <p>'70S～'80S Good Sounds</p> <p>仙川駅より1分 ☎ 03-3308-2887 日曜・祭日定休</p>	<p>ビデオレンタルと制作</p> <h2>M&amp;M</h2> <p>営業時間 正午～午前1時 年中無休</p> <p>仙川町3-2-15 ☎ 3308-2494</p>





お茶・のり専門店 東京相和銀行前 TEL 3300-8737

うなぎ蒲焼

煮物  
焼物  
揚物

# 鈴 仙

西洋弁当  
幕の内弁当

仙川商店街・東京相銀前 ☎ 3326-4455

# 読者の

# びろば



お医者さんのハシゴ……

奥田道大

仙川駅プラットフォームから見上げた質屋さんのうっそうとした竹林が一夜にして姿を消したと思ったら、放置自転車の山の特集とは。「せんがわ21」有り難うございました。誌代些少ですが、同封させていただきます。

くい入るように頁をくつたのは、仙川のお医者さんの記事。私の人生の不幸はよいお医者さんにめぐり合わなかったことにあると思ひこんでいました。I 歯科、T 耳鼻科、S 医院(?)を知って、お医者さんのハシゴ、がびたりとおさまりました。

いずれの先生もプロとしての超一流の腕前と温かい人柄に魅せられて

います。しかし、学者肌の I 先生のやや型どおりの回答は、ヒューマニズムとユーモアにあふれるお人柄だけに、インタビューにやや問題があるのでは(?)と思ひました。

(緑ヶ丘二)

創刊号から大切に保存  
新井八重子

「95・新春号」をお届け下さいましてありがとうございます。

皆様のご努力本当にご立派なことと称賛しており、創刊号から大切に保存させて頂いております。仙川の発展は目を見張るばかりで、それに伴って皆様のご活躍もすばらしく、ますますの発展を楽しみと話しております。皆様のご健祥をお祈り申し上げます。

(若葉町二)

声をかけられ、嬉しい

銚田光枝

クラブみんなの気持ちだけですが、送ります。

この雑誌の存在がよく分かりました。あちこちで声をかけられて、嬉しいです。

(緑ヶ丘二)

仙川を雑誌で歩く

中山尚久

仙川のまちを一冊の情報誌をペラペラめくりながら歩いてしまったような気がしました。どのように移り変わるのか！ スタッフの皆様の努力と実績が、この一冊の中から伝わってきます。(誌代を送らせていただきます)

(入間町二)

昔の仙川も分かって……

馬場フミ子

「せんがわ・界隈史」。昔の仙川あたりのことが分かって、とても楽しく拝見致しました。これからもどうぞ頑張ってくださいませ。

(入間町二)

伝

☆1975～94年の仙川の街の記録写真をお頒けします  
見本を用意してあります。当編集室又は03-3480-7656加藤まで

創刊から小誌創りに関わって来た写真家・加藤純一郎氏より

☆写真展「多摩川」シリーズ VOL 7 (カラー約40点)

1995年8月8日(火)～13日(日) 調布市中央公民館(調布駅南口)にて

言

時計、宝石、貴金属の店

# 玉晶堂



本店 仙川商店街中程 ☎3300-4734  
支店 つつじヶ丘店 ☎0424(82)-4221

タネ・園芸・造園

# 植松種苗緑化株式会社

☎3307-4187  
仙川町2-21-9 FAX 3307-4146



子供服  
水曜定休  
☎3308-1931  
いながわ

てしまの粋飯  
日本一おいしい  
魚沼産館野コシヒカリ  
手島米店  
仙川店☎3307-5649 仙川商店街駐車場前  
下高井戸店☎3324-4654 本店☎3309-4641

新日本興業株式会社  
☎5313-5525  
渡辺建設株式会社  
☎3308-6161  
調布市入間町1-37 FAX 03(3309)7765

手芸・毛糸・木綿生地の特門店  
なかや本店  
調布市仙川町1-15-28 ☎3300-6805  
金500円  
・この券をご持参下さい。  
・お買い上げ金額より、¥500円割引  
いたします(但し、3000円以上お買い上げの時)  
・現金との交換はできません(95年9月末日まで)




# 仙川月極有料駐車場

仙川町1-9-28 ☎3300-4607

○ せんがわ 2 1 人財&カンパ大募集!! ○

せんがわまちニティ情報センターは、せんがわにおける総合的な情報センターとして、せんがわの資料室・広報室・企画室の役割を担い、雑誌社やボランティアバンク、シンクタンクの機能を追求しています。有志のボランティア活動が基本で、チェ・パワー・カネを持ち寄り、センター及び『せんがわ・21』の維持運営にあたっています。現在、センターでは、『せんがわ・21』の定期刊行のために取材・編集及び制作スタッフを募集しております。また、資金面でのご支援もいただきながら、新しき街・せんがわづくりのための諸活動を展開していきます。

□賛助会員とは——センターの目的と活動に賛同し、維持のために支援してくれる人。

賛助会員会費・・・一口5000円の随時カンパ

□維持読者とは——『せんがわ・21』の刊行維持のために支援してくれる人。

維持読者会費・・・一口1000円の随時カンパ

◆お申込・会費は郵送あるいは、当方へお電話下されば取りに伺います。尚、下記の

口座もご利用下さい。当該支店にお振込みいただければ、手数料はかかりません。

郵便振替 口座番号 00150-6-570688

加入者名 せんがわまちニティ情報センター

銀行等 芝信用金庫 仙川支店 普通9031258

永楽信用金庫 仙川支店 普通0034429

第一勧業銀行 調布仙川支店 普通1802348

東京相和銀行 仙川支店 普通119068

三菱銀行 仙川支店 普通0077347

口座名 せんがわまちニティ情報センター 青野友太郎

KOREA-HONGKONG-INDIA-JAPAN

# アジアマイムフェスティバル

1994年秋。私は、長野県東部町である出会いに遭遇した。江戸時代に建立された農村歌舞伎の舞台上で、韓国のマイミストたちは、アイロニカルにコミカルに、身体芸術をくりひろげ、言葉が使われないだけに、一層、強固なメッセージを手渡してくれた。

観客としての私の幸福は、マイミストたちが、それぞれに選び取った表現の背後に、見えないものが見えてくる時だ。喜び、哀しみ、愛、死といった単純なだけに体にしみこむ、言葉たちの群れである。

国と国との間には、不幸な歴史がありはしても、人間と人間とのつながりは、間違いないく国境を越えることができ、それだけが信じられるものであることを、私は、改めてのように確信したのだった。

去年の「アジアマイムクリエイション」で、私は多様なマイムと、その背後の国を見た。1995年は、韓国、香港、インドから、マイミストがやって来るという。彼等はどんなマイムを見せてくれるだろう。  
岸田理生(脚本家)

30 水

31 木

1 金

2 土

3 日

8 金

9 土

TOKYO

★府中公園野外劇場(17:00 前夜祭)

★府中中央文化センターひばりホール

19:00 小島屋万助・本多愛也・山本光洋と招聘マイミストたちとのスペシャルプログラム

★府中中央文化センターひばりホール(親子で楽しめる公演)

14:00 17:00 バントマイム・アクロバット・しゃぼん玉・クラウン芸 etc.

★府中の森芸術劇場ふるさとホール

19:00 柳鎮奎/アシヨク・チャテルジー/佐々木博康/清水きよし/和田千恵子

★府中グリーンプラザけやきホール

15:00 朴相淑/テリリー・プレスカンパニー/アガリエヒロム/江ノ上陽一/武内勲  
19:00 崔圭浩/里見のぞみ/山本光洋/本多愛也/CHICA

★府中の森芸術劇場ふるさとホール

15:00 李斗成/眞國忠(マイムタッチシアター)/あさぬまちすこ/井崎哲也/北京一/濱村翔/ヤマダトウシ

★長野県小県郡東部町津東町廻り舞台

19:30 朴相淑/アシヨク・チャテルジー/清水きよし/里見のぞみ

★長野県小県郡東部町津東町廻り舞台

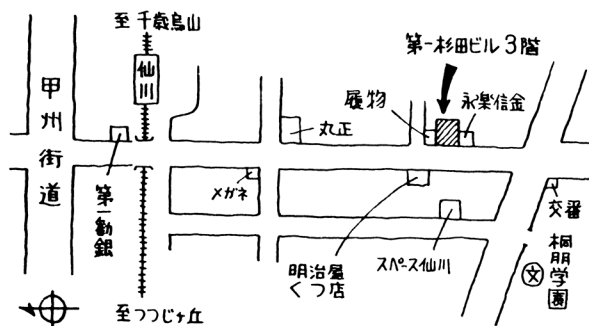
19:30 柳鎮奎/眞國忠(マイムタッチシアター)/テリリー・プレスカンパニー/佐々木博康

NAGANO

アジアマイムクリエイション実行委員会……………03(3382)0019 0423(33)9206

## 編集室から

▼本号の第一特集・せんがわ共和国は、一五〇名の読者にアンケートをお願いし、21名の各位と四中生徒たちからの回答を軸に構成することが出来た。熱心に記述いただき、深謝いたします。改めて一人ひとりの肉声の中から、この仙川の街の「魅力」（今までの）と「不安」（これからへの）が浮彫になってきた。



て、『アート・あつと・ホーム』『ウエルエージング』のテーマによる街づくりへの諸意見に続き、本号特集と、「私論」を大いに誌上にて展開していただけてきた。

▼さて、今こそ、地権者・商工業者・市民・専門家及び行政が集い、フランクに議論し、賢明な知恵を出し合っていく、まちづくり協議会といった場が大切となってきた。T・A

▼仙川の街に一年あまり通ってきているが、いつの間にか周りの風景がすっかり変わりました。駅前小さなロータリーができて、駅もきれいになってくるが、夏になると人々にな

涼しさを感じさせてくれた緑がどんどん消えてゆく。あのケヤキ、あの竹林……、もう写真でしか見えない風景になった。駅前を通ると、今年の夏が異常に暑いと感じる。Y・L

### □ 編集後記 □

▼毎年夏になると「ホヤ」を買いに行っていた魚屋さんが店を閉じてしまった。夏だけしか利用しない店ではあったが故郷の味を知りえる大事な店だったのに……仙川の変貌をホヤであらためて知ったしだい、寂しいことだ……。

こやま きょうへい

### 会計報告

○賛助会費受領（一〇五〇千円）  
 松原寛 根岸博宣 武田梅男 榎本照運  
 岡部敏英 金字静枝 高葉宏 野崎侑子  
 奥田道大 川口三八 ゆうき鍼灸整骨院  
 新井八重子 原田亮一 百合女子大学  
 三浦利文 伊藤恭二 加川浩 高野公男  
 佐藤陸雄 山下琢 田辺福次 泉川正興  
 劉雲 小笠原修身 森真三郎 廣田慶一  
 青野友太郎 バレーボールチーム・コスモス 酒井一真 ▼計48口

○維持読者会費受領（一〇千円）  
 加藤廣 目黒はつ枝 西尾君代 新川裕  
 仲田えみ子 田中次郎 吉沢喜美子  
 大河みとこ 前田幸雄 藤丸卓男・陽子  
 中田一志 館野允彦 堀平八 館みつ子  
 須山静夫 大塚矩男 安藤雄三・光枝

中村君子 酒井一真 田中久和 佐野敦  
 小椋雅子 中山尚久 東間紀子 光西寺  
 辻井剛 鈴木千賀子 若林祐之 林通弘  
 三井朝夫 高橋まき子 くつしの近藤  
 中山ゆう子 波多野浩一 仙川不動産  
 岩城多摩江 馬場フミ子 馬場保夫  
 篠山貴之 金井志のぶ 角田陽次郎  
 小山桂子 山口ふみ 山下信男  
 山路春江 大森栄子 ▼計79口

○カンパ誌代（一冊3百円）  
 29名281冊 83400円

○『界限史』カンパ誌代・委託分  
 9件43冊 72800円

○広告収入（第16号）1073千円  
 ○合計1544200円  
 各位のご支援に感謝いたします。

▼冬は寒いのがいい。夏は暑いのがいい。今年は冷夏にはならないらしいので、水害がなければお米は順調でしょう。当方もすこぶる順調。編集長お疲れ様。豪華客船で二カ月の旅って本当ですか？ 加藤純一郎

▼時間と競って、あつという間に企画から半年になりました。刊行が二カ月ほど遅れて、本当に申し訳ございません。今度の雑誌は完全に手作りですが、味の方はいかがでしょうか……。

劉雲

▼「赤（い）字」で印刷したら、との鋭いアドヴァイスあり。やや読みにくいですが本号はワープロ仕上げ。でも中身は濃いのだ!! 青野友太郎

せんがわ・21―第17号  
**せんがわ共和国 特集**  
 発行日 1995年8月1日  
 発行部数 5000部  
 編集長 劉雲  
 発行兼編集人 青野友太郎  
 編集及 せんがわまちニティ情報センター  
 発行所 センター  
 調布市仙川町1・16・18  
 第一杉田ビル3F  
 〒182-3332 02707  
 印刷所 柳和幸印刷  
 製本所 柳和幸印刷



この秋  
第30回白百合祭  
ベストを尽くして  
楽しみたい!!

六月一日は「写真の日」「電波の日」。この秋、10月28、29日一つの節目になる第30回白百合祭の実行委員長を務める町田理彩さんを訪ねました。

実行委員長にならなれたいきさつは？

「入試前に白百合祭に来ました。この大学に入れたら、最初からやりたい事を決めてやって行こうと思っていましたので、一年生の時から実行委員として活動しました。」

学生生活については？

「一年生の時はきつい寮生活でした。二年になってから一人暮らし。静岡雙葉高校の同級生が五人、先輩・後輩も多勢いて、十年近い付き合いになる友人もいますので、高校と

同じような感覚もあります。かなりハードですが、充実した毎日です。好きで始めたアイスホッケーのマネージャー、アルバイト、就職の事もそろそろ考えなくてはならないし、もちろん日頃の勉強の事も。白百合祭が終われば、少しは楽になるかも知れません。」

仙川の街との関わりは？


「朝夕の通学で多勢で歩いたりすると、街の皆様にはご迷惑をおかけしていると思います。次第に都会っぽく、整然とした街になっている感じがします。広告取りで訪ねたりして、意外に知らないお店が沢山ある事に気がきました。知らないお店がない位になるといいなあ、と思います。」

今回の白百合祭のテーマと目標は？

「世代を越えての“一期一会”。街の方々にとの出会いももっと大切にしたい。ノーベル賞作家・大江健三郎氏の講演会があります。独自のコンセプトによる“ミス・コンテスト”も計画中ですが、学校側との交渉でどうなるか分かりません。広告取りで苦戦しています。商店街の方々よろしくお願いします。」

世の中には、見かけ通りでない人が本当にいます。「卒業後は、是非アイスホッケーに関わる仕事をしたい。学生時代に何をやったかという事を、胸を張って言える自分でありたい。それが人生の拠所ともなるから。」

彼女のモットーは、DO MY BEST、情熱豊かな人は美しい。いくつになっても斯りたいもの。  
(聞き手 加藤純一郎・劉雲)



みどり豊かな白百合女子大学

# 調布市消防団第十二分団

分団長 鈴木益雄  
副分団長 清水利彦 元木幹夫  
部長 山内真行 小原泰雄  
班長 清水正美 鈴木定美  
団員 蔵見洋久 小野木朋徳  
小島伸夫 清水信雄 村岡靖一  
元木新一 清水一秀 登坂和利  
大野亮一 新井信隆 山内昭広  
町田明生 森正光

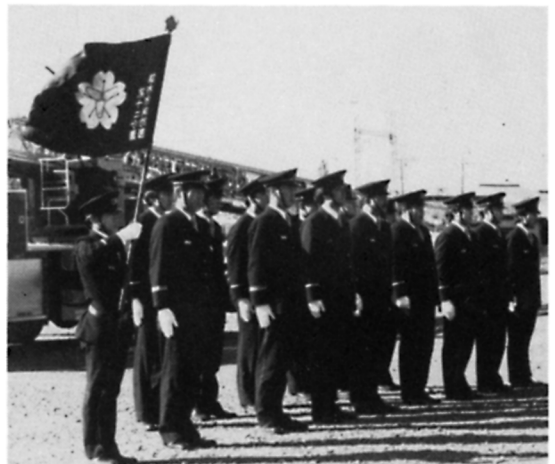
☎ 3307—3992



私が消防団に入団したのは昭和58年のこと  
で、今から12年前のことです。入団するきつ  
かけとなったのは、その一年前に消防小屋が  
家の隣に引っ越してきたことにあります。私  
も地元の人間ということと、家業を手伝って  
いましたので、誘いに来られたら断れないと  
諦めており、入団を決意しました。

調布市消防団は15個分団304名の組織で、  
私が入団したのは若葉町・入間町・東つじ  
ヶ丘を担当している調布市消防団第12分団で  
あり、入団してみると、そこには小学校・中  
学校時代の友人が入団していて安心したこ  
とを覚えています。

さて、皆さんは消防団を御存じですか、多  
分お会いすることしたら火災現場や春・秋  
・歳末の火災予防の広報活動している時だけ  
だと思えます。消防団員は專業を持つたわ



ら地域防災にたずさわわり、月2回の点検日  
他に様々な訓練・練習をしています。地震・  
水害・火災とその訓練の積み重ねが実際の災  
害時に役立ち、市民の生命と財産を守ること  
ができるわけです。

こう話していると大変な団体にみえ、入団  
しようとする人もいないと思われでしょう。  
しかし毎年、家族慰安・分団旅行・ゴルフ・  
スキーと盛り沢山の企画を立てて団員相互の  
親睦を深めています。

私は今年の3月で退団して、今となっては  
楽しい思い出となりました。これからは一市  
民として消防団、そして地域防災に微力なが  
ら、お手伝いできればと思っています。

前分団長 栗山新一

# 調布市消防団第十三分団

分団長 五十嵐正信  
副分団長 伊藤 実 川原慎一  
部 長 佐藤 保 星野 修  
班 長 渡辺浩之 藤戸政彦  
機関員 島田秀幸 伊藤知弘  
          浜島正和 川口三友  
          矢佐間武志  
団 員 小平謙一郎 伊藤富士男  
          小幡治男 渡辺直也 田辺康成  
          田辺国光 圓和之 小幡嘉須幸  
          ☎3309—9499

調布市消防団は、本部（団長、副団長）とそれぞれの地域に根ざした活動をしています。『分団』が十五個で構成された非常備の消防機関です。（各分団は定員二十名ずつ）

その任務は、災害から市民の生命、身体、財産を守ることであり、任務の重大性は、常備消防機関である消防署と変わることがありません。

この為、各分団は、消防ポンプ車一台の他可搬式ポンプ、発電機、投光機など様々な資機材を保有しています。

わが第十三分団は、仙川、緑ヶ丘地域を担当し、分団員二十名は、全て担当地域内に居住しており、万が一の災害に備えています。

第十三分団の詰所建物は、「東部ふれあいの家」と併設され、一階が分団詰所、二階がふれあいの家となっており、土地の有効利用だけではなく、大規模災害の地域防災活動の



拠点としても注目されています。第十三分団の前身は、明治二十七年に発足した神代村消防組であり、時代と共に幾多の変遷を経ながら現在に至っています。消防団員は、それぞれ正業を持ちながらも、ひとたび火災やその他の災害が発生したならば、ただちにそれらに立ち向かうという使命があります。このため我々第十三分団員は、



消防活動の訓練は勿論の事、救急救護訓練や水訓練、震災対応訓練などに励んでいます。

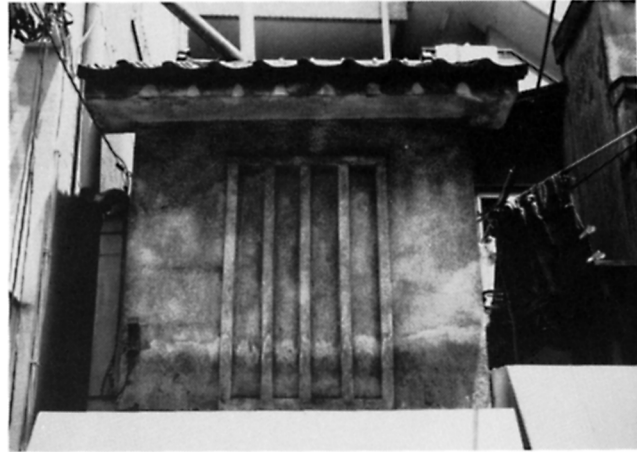
また、火災予防運動や花火大会など各種警備活動の他にも、日常定期的に消防機械器具などの維持管理や消火栓、防火水槽の点検も行っています。

最近では、特に大震災時における、迅速で柔軟な対応が期待されています。我々は、これらの課題に真剣に取り込んで行きたいと思えます。

これからも第十三分団をよろしく願います。前分団長 松本慎一

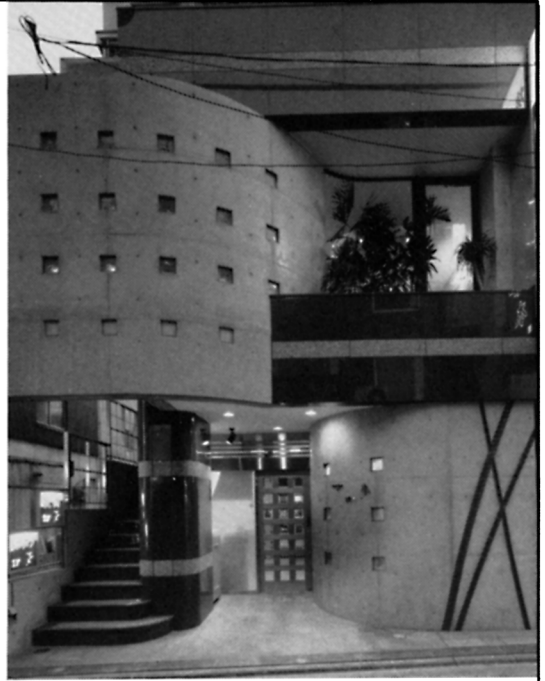
# まちコミ★ あらかと

—某月某日の仙川 PART II—



- 個性あざやかに  
主張ある街づくりを

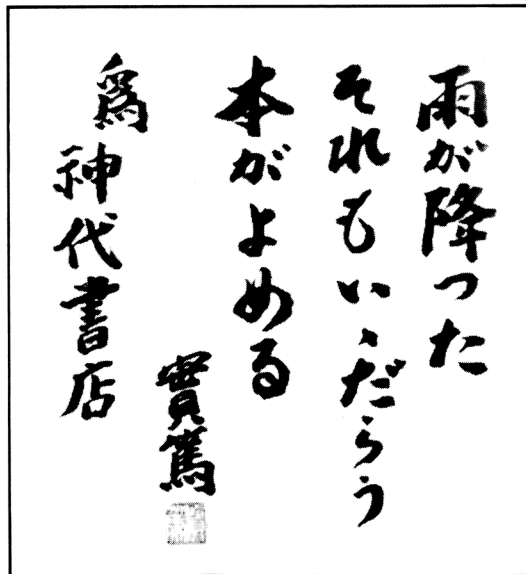
調布市仙川町1丁目15番地47  
ひなたビル  
TEL 03-3300-0081  
FAX 03-3300-7200



仙川・つつじヶ丘作品—その55  
笹本ビル



株式会社 グローバル設計



書籍と文具 神代書店

桐朋学園前

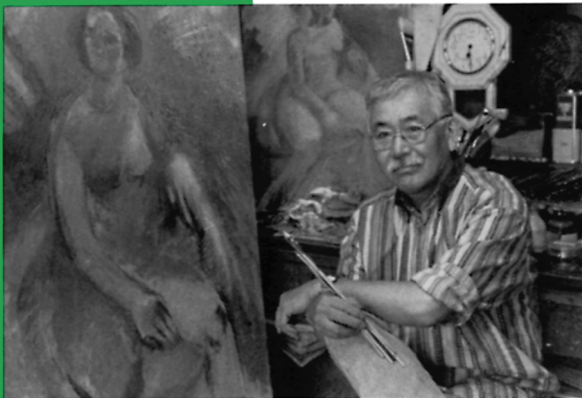
☎ 3300-5633



「静岡大空襲」 1993年二科展出品作

## せんがわギャラリー

「静岡大空襲」  
 一九四五年六月一九日夜半B29の  
 空襲により失った親友杉山増太郎  
 君の霊に捧げるために画いた。今  
 年はその五十周年にあたる。S  
 50  
 号



● 粟田行雄（くりた ゆきお）  
 ただ、ただ、絵が好きで男がここに  
 いるということ、登場させて  
 頂くことになりました。  
 一九三一年静岡市に生まれ、六五  
 年せんがわに移住。銀行員生活一  
 九年を経て……、七四年仙川に画  
 材縁の店モッテ開店。七八年仙  
 川クロッキー道場開始。八七年以  
 降二科展に連続入選。個展六回。  
 若葉町一丁目在住。